

# 北海道議会時報

令和4年第1回定例会

北海道議会議事事務局

# も く じ

追悼演説 .....	1
議会日誌 .....	4
令和3年度北海道補正予算の概要 .....	5
令和4年度北海道一般会計予算等の概要 .....	7

## 第1回定例会

概要 .....	9
本会議 .....	11
提出案件 .....	38
会議案 .....	42
決議案 .....	47
意見案 .....	48
請願 .....	53

## 委員会の動き

議会運営委員会 .....	54
常任委員会 .....	58
総務委員会	
総合政策委員会	
環境生活委員会	
保健福祉委員会	
経済委員会	
農政委員会	
水産林務委員会	
建設委員会	
文教委員会	
特別委員会 .....	71
産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
新幹線・総合交通体系対策特別委員会	
人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会	
少子・高齢社会対策特別委員会	
食と観光対策特別委員会	
北海道地方路線問題調査特別委員会	
予算特別委員会 .....	78

## 資料

第1回定例会において議決を経た条例の公布調 .....	111
北海道議会議席表 .....	113

1月・2月・3月の出来事 .....	114
--------------------	-----

本書においては、便宜上、会派の名称を次のとおり表記した。

自民党・道民会議 ..... 自民  
民主・道民連合 ..... 民主  
北海道結志会 ..... 結志  
公明党 ..... 公明  
日本共産党 ..... 共産





## 川尻 秀之議員 逝去

議員川尻 秀之氏（自民党・道民会議、函館市選出）は、病気のため、1月27日逝去され、2月22日、函館市「花びしホテル」において、お別れの会が執り行われた。享年76歳。なお、2月25日第1回定例会本会議において、吉川 隆雅議員（自民党・道民会議、札幌市北区選出）が追悼演説を行い、次いで、全員起立のうえ黙禱が捧げられた。

## 追 悼 演 説

私は、北海道議会を代表し、去る1月27日に御逝去されました北海道議会議員川尻秀之先生の在りし日の面影をしのび、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

川尻先生に病魔の手が迫ったのは、令和2年4月頃のことです。肺がんと診断され、手術を受けられました。1度は落ち着かれたものの、約半年後に再発。その後は、札幌医大病院に入退院を繰り返しながら、抗がん剤・放射線治療に気丈に立ち向かっておられました。

私には、折に触れ電話をくださり、「議員会は問題ないか」と、仲間のことを気にかけられたり、「あしたからまた抗がん剤治療だ、頑張るよ」と、病状の御報告もいただいております。

昨年4定中に議会にいらした際には、痩せたお姿に、闘病のすさまじさをかいま見た思いでありましたが、先生は元気な声をかけてくださいました。

今思えば、病に立ち向かいながら、私のことも気遣ってくださったのでありましょう。

年末の12月24日には、函館に車で移動しており、年明けから地元の病院に入られること、年明けの委員会は欠席されるとの電話があり、飛行機ではなく、車で帰宅されることに一抹の不安を覚えたのであります。

最後の電話は1月25日。先生は、「隆雅先生、俺はもう、明日、あさってだ、世話になったな、ありがとう、ありがとう」と、息苦しそうに声をかけて何度も繰り返され、その鬼気迫る状況に、私は、「先生、本当にお世話になりました、ありがとうございます」と、お礼の言葉を繰り返すしかありませんでした。

そのような電話をいただいてもなお、またしっかり持ち直されて、いつもの笑顔の先生にお会いできるのではないかと、そんな希望も持っておりましたが、1月27日、先生の訃報に触れることになったのです。

川尻先生との出会いは、私が議員秘書だった時のことでもあります。

20代の若造だった私にも、先生は気さくに声をかけてくださいました。あの軽妙な語り口でした。

私が初当選させていただいた平成23年以来、さらに親しくお付き合いさせていただきました。

議会派遣の海外視察に御一緒させていただいたり、先生の音頭で、会派内の大学同窓の議員と道幹部の皆さんとの懇談の機会も持っていただきました。

平成28年から、北海道・北東北縄文遺跡群の世界遺産登録を目指し、御一緒に活動させていただきました。

同年5月、自民党道連に設置した推進調査会の会長が川尻先生、私は事務局役を担い、当時の菅官房長官をはじめ、国会議員連盟の役員、文化庁などへ要望活動を行いました。

それから、道が実施するフォーラムや、国会議員と4道県の決起集会にも毎年参加をし、世界遺産登録と地域の活性化を目指して、歩みを共にさせていただきました。

精力的に活動をこなす先生の背中、小柄な体に反して頼もしく大きく見え、私も先生の後ろ



1 回定例会では代表質問に立たれ、知事が目指す自立型社会や本道経済の活性化など、道政の各般にわたり、論戦を繰り広げられました。

地元・函館市の基幹産業である水産業の振興には粉骨砕身の思いで尽力されるとともに、経済活性化には特に心を砕かれ、ガゴメ昆布の製品化と産業クラスター形成に黎明期から関わっておられます。

北海道新幹線の誘致にはライフワークとして取り組まれ、道理事者の皆様とも、時には丁々発止のやり取り、時には同心協力した国への要望活動など、精力的に御活躍をされました。

平成16年6月の函館―青森間の新規着工決定、平成28年3月の開業と、長年の悲願が達成されたことは、先生の功績大であることは誰もが認めるところであります。

そして、本道の財産とも言える縄文遺跡群の世界遺産登録に向けては、先ほど申し上げた平成28年5月の国への要請を皮切りに、遺跡群の価値の磨き上げ、政府への要請、関係者間の連携と協働などに腐心され、先頭を切って取り組んでおられました。

平成30年4月には、全道議会議員の参加をもって設立された、縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す北海道議会議員連盟の会長に御就任され、並々ならぬ情熱を傾けられた結果、昨年7月、世界文化遺産への登録が決定。先生は、御地元の皆様とともに歓喜の瞬間を見届けられました。電話口での先生の喜びに弾む声は忘れることができません。

足かけ5年にわたる道のりは平たんなものではありませんでしたが、先生と一緒に取り組んだ時間、経験は、私にとってもかけがえのない財産となりました。

これから、本道の文化と観光の振興、地域の発展に寄与していこうと氣勢を上げていた矢先だっただけに、なおさら無念でなりません。

この追悼の言葉に当たり、先生の思い出、政治家人生を振り返ったとき、困難な課題に果敢に立ち向かうことの高邁さ、信念を曲げず、目標を達成するまで決して諦めないことの大切さを改めて教わった思いがいたします。

コロナ禍はいまだとどまることを知らず、疲弊した本道経済の回復、道民の命と健康を守る取組は、常に、私たち議会の最優先課題として突きつけられております。

一方で、複雑化する国際情勢もあり、また、本道は、ポストコロナを見据え、カーボンニュートラルやSociety 5.0といった新たな社会基軸の構築に向け、知恵を出し合い、一致協力して持続可能な未来へと向かっていかななくてはならない重要なときを迎えております。

このようなときに、道議会の重鎮の一人として、卓越した識見と人を取り込む魅力にあふれた川尻先生を失いましたことは、御遺族、地元・函館市のみならず、道議会、北海道にとっても大きな損失であり、痛恨の極みであります。

私たちは、この北海道の政に関わる身として、先生が生涯をかけて大切にしたい、人の幸せの助けとなり、道民の皆様が心豊かに人生を送れるよう、先生の思いを引き継いで、北海道の発展に努めてまいる決意であります。

今はただ、御霊の安らかな御冥福と、先生が愛してやまなかつた御家族の皆様の前途に限りない御加護を賜りますようお願い申し上げます、北海道議会議長を代表して追悼の言葉といたします。

川尻先生、本当にありがとうございました。

令和4年2月25日

北海道議会議員 吉川 隆雅

## 議 会 日 誌

### ▶ 1 月

12日(水) 各常任委員会  
13日(木) 各特別委員会

### ▶ 2 月

1日(火) 各常任委員会  
2日(水) 各特別委員会  
17日(木) 議会運営委員会  
24日(木) 議会運営委員会  
各常任委員会  
各特別委員会  
25日(金) 議会運営委員会

#### **[第1回定例会開会]**

**本会議** (会期決定〈28日間〉、道政執行方針並びに提出議案説明、教育行政執行方針説明、質疑〈5人〉、議案可決)

### ▶ 3 月

2日(水) 文教委員会  
3日(木) 議会運営委員会  
**本会議** (決議案1件可決、代表質問〈2人〉)  
4日(金) 議会運営委員会  
**本会議** (代表質問〈2人〉)  
7日(月) 文教委員会  
8日(火) 議会運営委員会  
**本会議** (追加提案説明、一般質問〈6人〉)  
9日(水) 議会運営委員会  
**本会議** (一般質問〈6人〉)  
10日(木) 議会運営委員会  
**本会議** (一般質問〈6人〉)  
11日(金) 議会運営委員会  
**本会議** (一般質問〈5人〉、予算特別委員会設置)  
予算特別委員会 (正・副委員長の互選、3分科会を設置)  
予算特別委員会第1・第2・第3分科会 (正・副委員長の互選)

14日(月) 予算特別委員会 (補正予算先議)  
議会運営委員会

**本会議** (予算特別委員長報告、議案可決)

16日(水) 予算特別委員会第1・第2・第3分科会  
(各部所管審査)

17日(木) 予算特別委員会第1・第2・第3分科会  
(各部所管審査)

18日(金) 予算特別委員会第1・第2・第3分科会  
(各部所管審査)

22日(火) 予算特別委員会 (各分科委員長報告、総括質疑、議案可決)

23日(水) 各常任委員会  
各特別委員会

24日(木) 議会運営委員会

**本会議** (各委員長報告、動議1件否決、議案可決、人事案件2件追加提案説明・同意議決、会議案2件可決、意見案5件可決、関係委員会の閉会申請願継続審査及び事務継続調査の決定)

#### **[第1回定例会閉会]**

## 令和3年度北海道補正予算の概要

第1回定例会において、次のとおり補正予算について審議し、可決しました。

### ○令和3年度北海道一般会計補正予算（第8号）

（単位 千円）

歳 入		歳 出	
国庫支出金	64,993,048	総務費	1,532,394
繰入金	32,072	環境生活費	655,089
道債	1,621,000	保健福祉費	3,149,827
繰越金	60,813	経済費	40,711,040
		農政費	15,268,917
		水産林務費	3,849,250
		教育費	1,540,416
計	66,706,933	計	66,706,933

令和4年第1回定例会で可決した一般会計補正予算は、総額約667億600万円。

歳出予算の主なものは、本道の米・野菜等の産地や酪農・畜産業の競争力強化に向けて、必要な施設整備等を支援することとして、産地生産基盤パワーアップ事業費48億9,500万円、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費58億6,200万円、今後の感染状況等を十分に踏まえながら、国内の旅行客を対象とした道内旅行商品の割引等を支援することとして、北海道GOT・トラベル事業費386億8,500万円、感染症による影響の長期化に伴う消費行動や企業活動の変化に対応し、中小・小規模企業が行う新事業の展開や販路開拓等の取組を支援することとして16億800万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、国庫支出金649億9,300万円、道債16億2,100万円。

### ○令和3年度北海道一般会計最終補正予算（第9号）

（単位 千円）

歳 入		歳 出	
道税	41,480,000	議会費 △	43,309
地方消費税清算金	10,817,194	総務費	87,763,289
地方譲与税	25,989,000	総合政策費 △	3,764,486
地方特例交付金	31,994	環境生活費 △	1,583,408
地方交付税	52,935,067	保健福祉費 △	10,510,847
交通安全対策特別交付金	42,000	経済費 △	131,340,786
分担金及び負担金 △	1,951,607	農政費 △	15,291,230
使用料及び手数料 △	426,883	水産林務費 △	3,530,557
国庫支出金 △	39,022,756	建設費 △	4,694,998
財産収入	6,545	警察費 △	946,727
寄附金	436,854	教育費	47,112
繰入金 △	911,595	災害復旧費 △	892,431
諸収入 △	124,759,943	公債費	4,593,371
道債 △	44,433,587	諸支出金	2,978,909
繰越金	2,551,619		
計 △	77,216,098	計 △	77,216,098

○令和3年度北海道特別会計最終補正予算

(単位 千円)

会 計 名	金 額
公 債 管 理 特 別 会 計	8, 3 2 3, 3 2 0
国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計	2 4, 0 2 1, 7 0 8
中 小 企 業 近 代 化 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	△ 1 2 2, 9 7 8
苫 小 牧 東 部 地 域 開 発 出 資 特 別 会 計	5 9 7, 5 2 4
石 狩 湾 新 港 地 域 開 発 出 資 特 別 会 計	4 9, 9 9 8
就 農 支 援 資 金 貸 付 事 業 等 特 別 会 計	△ 1 2, 4 9 9
道 営 住 宅 事 業 特 別 会 計	△ 1 8, 8 1 4
住 宅 供 給 公 社 経 営 健 全 化 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	1, 0 0 0, 0 0 0
地 方 競 馬 特 別 会 計	2, 0 5 5, 7 5 5
公 共 下 水 道 事 業 会 計	1 5, 6 0 5
流 域 下 水 道 事 業 会 計	△ 9 8, 8 0 6
電 気 事 業 会 計	△ 2 6, 4 3 4
工 業 用 水 道 事 業 会 計	△ 6 5, 5 1 3
病 院 事 業 会 計	△ 1, 1 3 3, 2 2 3
計	3 4, 5 8 5, 6 4 3

令和4年第1回定例会で可決した最終補正予算の総額は、一般会計約772億1,600万円の減額、特別会計約345億8,500万円の増額。

一般会計に係る歳出予算のうち増額補正の主なものは、道税収入などの増に伴い、税関係交付金及び地方消費税清算金112億3,600万円、減債基金への積立留保を段階的に解消するため、公債管理特別会計に繰り出すこととして100億円を計上。

また、減額補正の主なものは、事業の確定等に伴い、中小企業総合振興資金貸付金1,255億1,000万円、保健福祉関係義務的経費47億5,500万円。

これらに見合う歳入予算の主なものは、道税414億8,000万円、地方譲与税259億8,900万円、地方交付税529億3,500万円を増額し、国庫支出金390億2,200万円、諸収入1,247億5,900万円、道債444億3,300万円を減額。

## 令和4年度北海道一般会計予算等の概要

第1回定例会において、次のとおり一般会計予算及び補正予算について審議し、可決しました。

### ○令和4年度北海道一般会計予算

(単位 千円)

歳 入	歳 出
道 税	議 会 費
地方消費税清算金	総 務 費
地方譲与税	総合政策費
地方特例交付金	環境生活費
地方交付税	保健福祉費
交通安全対策特別交付金	経 済 費
分担金及び負担金	農 政 費
使用料及び手数料	水産林務費
国庫支出金	建 設 費
財産収入	警 察 費
寄 附 金	教 育 費
繰 入 金	災 害 復 旧 費
諸 収 入	公 債 費
道 債	諸 支 出 金
	予 備 費
計	計

### ○令和4年度北海道特別会計予算

(単位 千円)

会 計 名	金 額
公 債 管 理 特 別 会 計	4 0 2, 6 5 1, 4 0 9
国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計	4 8 2, 9 5 6, 9 0 7
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	1, 2 8 4, 6 0 1
中 小 企 業 近 代 化 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	1, 2 2 8, 6 3 5
苦 小 牧 東 部 地 域 開 発 出 資 特 別 会 計	2 1 7, 0 9 0
石 狩 湾 新 港 地 域 開 発 出 資 特 別 会 計	8, 4 8 3, 5 7 7
就 農 支 援 資 金 貸 付 事 業 等 特 別 会 計	5 2 8, 1 6 4
沿 岸 漁 業 改 善 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	2 5 3, 7 6 8
林 業 ・ 木 材 産 業 改 善 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	3 0 7, 5 6 8
道 営 住 宅 事 業 特 別 会 計	1 5, 7 3 2, 4 8 9
住 宅 供 給 公 社 経 営 健 全 化 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計	3 7, 8 2 7, 5 5 4
地 方 競 馬 特 別 会 計	4 6, 8 6 0, 6 7 9
公 共 下 水 道 事 業 会 計	2, 1 1 7, 7 6 3
流 域 下 水 道 事 業 会 計	7, 9 9 7, 7 4 1
電 気 事 業 会 計	5, 8 2 3, 0 7 1
工 業 用 水 道 事 業 会 計	5, 1 6 6, 4 0 5
病 院 事 業 会 計	1 8, 8 0 0, 7 2 2
計	1, 0 3 8, 2 3 8, 1 4 3

令和4年度予算は、「今後の行財政運営の基本方針」の方向性に沿った取組を着実に進めるとともに、限りある行財政資源の効果的・効率的な配分や国の施策の積極的な活用などにより、新型コロナウイルス感染症対策のほか、ポストコロナを見据えた取組など、道政執行方針の政

策を積極的に展開していくことを基本に編成することとし、一般会計では、前年度当初比で0.8%、額にして267億円減の約3兆2,262億円。

歳出予算の主なものは、本道の社会資本整備を計画的に進めるため、公共事業、特別対策事業、施設等建設事業などを合わせた、投資的経費全体で3,476億6,900万円、総務部関係の施策について、私立学校の経営健全化等を図るため、私立学校等管理運営対策費補助金169億9,800万円、総合政策部関係の施策について、地域づくりの拠点である振興局と市町村等との協働による事業の推進や、地域の創意あふれる取組を支援するため49億3,200万円、経済部関係の施策について、本道観光の需要回復に向けて、国内での誘客促進やデジタルメディアを通じた国外への情報発信のほか、本道におけるアドベンチャートラベルの振興などに取り組むこととして32億4,000万円、農政部関係の施策について、新規就農者が早期に安定した経営を確立することができるよう、就農前後の資金支援の充実を図ることとして農業次世代人材投資事業費23億8,000円。

これらに見合う一般会計の歳入予算の主なものは、道税6,221億8,400万円、地方交付税6,370億円、国庫支出金5,810億4,600万円、道債5,179億1,900万円。

**○令和4年度北海道一般会計補正予算（第1号）**

（単位 千円）

歳 入		歳 出	
繰 入 金	270,205	教 育 費	270,205
計	270,205	計	270,205

令和4年第1回定例会で可決した一般会計補正予算は、総額約2億7,000万円。

歳出予算は、指定管理者により管理を行う道立の公の施設に係る管理費用として約2億7,000万円。

これらに見合う歳入予算は、繰入金2億7,000万円。

# 第 1 回 定 例 会

## ▶総額 4 兆2, 644億5, 200万円余の令和 4 年度当初予算を可決◀

### 概 要

① 令和 4 年度当初予算等を審議する**第 1 回定例会**は、**2 月25日に招集**され、会議録署名議員の指定等を行い、**会期を 3 月24日までの28日間**と決定。

次に、**総額 4 兆2, 644億5, 200万円余の令和 4 年度当初予算案及びこれに関連する議案等74件**が上程され、知事から道政執行方針並びに提出議案に関する説明、教育長から教育行政執行方針に関する説明。

次に、**議案第73号ないし第74号**について先議することに決定した後、**質疑**に入り、委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも異議なく**原案可決**。

その後、議案等調査のため、2 月28日から 3 月 2 日までの本会議を休会することに決定して散会。

② 休会明けの 3 月 3 日は、**決議案第 1 号「ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議」**が提案され、説明及び委員会付託を省略し、採決の結果、異議なく**原案可決**。

次に、**代表質問**に入り、3 月 4 日に終結。議案等調査のため、3 月 7 日の本会議を休会することに決定して散会。

③ 休会明けの 3 月 8 日は、**議案第75号ないし第95号**が追加提案され、知事から提案説明。

次に**一般質問**に入り、3 月11日に一般質問を終結。直ちに**予算特別委員会を設置し、議案第19号を少子・高齢社会対策特別委員会に、議案第42号を北方領土対策特別委員会にそれぞれ付託**することに決定し、残余の議案を各委員会に付託。

次に、**会議案第 1 号「北海道スポーツ推進条例案」**が提案され、**環境生活委員会**に付託。

次に、**請願第24号「北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る概要調査断念についての件」等 3 件を産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会**に付託。

④ 3 月14日、**議案第75号等15件**の先議案件に関する委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも委員長報告のとおり**原案可決**。

その後、各委員会付託議案等審査のため、3 月15日から 3 月18日まで及び 3 月22日から 3 月23日までの本会議を休会することに決定して散会。

⑤ **予算特別委員会**は、3 月11日に正・副委員長の互選を行い、3 分科会を設置。

3 月14日、「**令和 3 年度北海道一般会計補正予算（第 9 号）**」等について先議を行い、質疑、採決の結果、いずれも**原案可決**と決定。

3 月16日から各分科会において各部所管の審査に入り、3 月18日にこれを終了。3 月22日に各分科委員長報告の後、総括質疑を行い、同日、付託議案に対する質疑を終結。討論、採決の結果、いずれも**原案可決**と決定。

⑥ 会期最終日の 3 月24日は、各付託議案に対する委員長報告の後、予算の組み替えを求める**動議 1 件**が提出され、説明、討論を行い、採決の結果、**否決**。次に、各付託議案及び会議案について採決を行い、いずれも委員長報告のとおり**原案可決**。

次に、**北海道監査委員の選任につき同意を求める件等の人事案件 2 件**が追加提案され、知事から提

案説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも**同意議決**。

次に、**会議案第2号「北海道議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案」**が提案され、委員会付託を省略し、採決の結果、異議なく**原案可決**。

次に、**意見案第1号「台湾のCPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）参加を積極的に支援するよう求める意見書」等5件**が提案され、説明及び意見案第1号ないし第3号の委員会付託を省略し、討論の後、採決の結果、いずれも**原案可決**。

最後に、閉会申請願継続審査及び事務継続調査の件について異議なく決定の後、**閉会**。

⑦ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提案者	提出件数	議 決 状 況					報告のみ
		原案可決	同意議決	承認議決	意見を付し 認定議決	否 決	
知 事	104	95	2				7
議員・委員会	9	8				1	
計	113	103	2			1	7

## 本 会 議

○2月25日(金) 午前10時8分開会、小畑保則議長、令和4年第1回定例会の開会を宣し、

**日程第1 会議録署名議員の指定**を行い、諸般の報告の後、議員派遣の報告。

次に、議長から元議員保格博夫氏(1月8日)と川尻秀之議員(1月27日)の逝去について、弔意を表した旨報告の後、吉川隆雅議員(自民)から追悼演説。次いで、全員起立の上黙禱を捧げ、午前10時29分休憩。午前11時1分再開し、

**日程第2 会期決定の件**を議題とし、今期定例会の会期を本日から3月24日までの28日間と決定。

**日程第3 議案第1号ないし第74号**を議題とし、知事から道政執行方針並びに提出議案に関する説明、教育長から教育行政執行方針に関する説明。

日程第3のうち、議案第73号及び第74号を先議することについて異議なく決定。

議事進行の都合により午前11時56分休憩。午後1時2分再開。

議案第73号及び第74号に関する質疑に入り、



**久保秋 雄太議員(自民)**から、

1 中小・小規模企業の新事業展開等への支援について

- ・消費者の嗜好や行動が大きく変化した状況の中で新たな活路を切り開こうとしている道

内の中小・小規模企業への支援

2 観光需要等の喚起拡大について

- ・「北海道Go To トラベル事業」が観光需要の力強い回復に結びつく支援策となるための国への働きかけに係る今後の対応
- ・今回提案のあった複数の観光需要等の喚起策の効果的な展開方法及び効果を最大限発揮させる方策

3 農業の生産基盤の強化について

- ・産地生産基盤パワーアップ事業や畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業を活用した本道農業の競争力や収益力の強化の取組の成果
- ・今回の補正予算の執行を含めた今後の取組の進め方

4 道立学校における感染症対策について

- ・感染症対策の徹底と学びの保障に向けた今後の取組

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。



**宮崎 アカネ議員(民主)**から、

1 国の補正予算に関する認識について

- ・毎年同じ事業において、補正予算に盛り込むよう国に要望していることに対する認識

・真に必要な事業は、地方自治体などの事業主体が計画的に取り組めるよう当初予算で措置するよう国に求めるべきとの考えに係る所見

2 農林水産業関連予算について

- ・小規模農家に対する認識及び今回の補正予算に盛り込まれた農業関連施策の執行に当たっての小規模農家に対する対応
- ・合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策等事業費に係る補正予算の活用も含めた道産材の販路拡大や競争力強化に向けた取組

3 コロナ禍における学びの保障について

- ・オンライン学習のための環境整備について、機器の有効活用に関する課題認識及び課題解決に対する所見
- ・コロナ禍による臨時休校や学級閉鎖などの影響により、不登校等、家庭や学校に居場所がない子どもの増加や低年齢化が進んでいるとの指摘がある中で、子どもの居場所支援に向けた取組

4 北海道Go To トラベル事業費について

- ・5月から執行される事業の繰越明許費を当初予算に先立って議決する必要があると判断した理由
- ・北海道に多くの人を引きつける効果的な取組

5 観光誘客促進道民割引事業費について

- ・どうみん割の再開の条件
- ・事業内容の柔軟な見直しや苦境に立たされている宿泊事業者や観光関連事業者への効果的な支援に向けた今後の展開

6 交通事業者利用促進支援事業費について

- ・ぐるっと割の販売再開の条件
- ・失われた需要の大きさや経営への影響は地域や交通モードによって異なるため、きめ細やかな対応が必要となる中での今後のぐるっと割の執行への反映

7 中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援事業費補助金について

- ・補助対象者の設定の考え方

- ・国の事業再構築補助金の補助対象者との違い
  - ・新事業展開や販売促進の取組を幅広く認定するための取組
  - ・対象となり得る事業者への事業の周知の取組
- 等について質問があり、知事及び教育長から答弁。



**赤根 広介議員（結志）** から、

- 1 誘客促進などについて
  - ・宿泊事業者をはじめとした観光関連事業者の経営状況の認識
  - ・今年度中にも早急に支援策を講じるべきとの考えに対する見解
- ・感染拡大の収束を見据えて、新年度早々にも事業開始が可能となるよう実施時期の柔軟な運用及び割引率や額の引上げについて、早急に国に要請すべきとの考えに対する所見
- ・観光誘客促進道民割引事業費に関する利用者や事業者からの意見及び課題や改善点に対する認識
- ・事業者の負担となっている地域応援クーポン券の検印作業について、これまでの事業成果や課題などを踏まえた負担軽減への対処
- ・年度内の観光需要喚起策に対する所見
- ・北海道Go To Travel事業と観光誘客促進道民割引事業との関連性を含めた需要喚起策の政策効果を最大化するための方策
- 2 交通事業者利用促進支援事業費について
  - ・まん延防止等重点措置の解除後は直ちに事業再開すべきとの考えに対する所見
  - ・これまでの事業実績を踏まえ、事業者の創意工夫のもと、利用者、事業者の双方にとって、より利用しやすく魅力的な商品の造成が可能となるよう取り組むべきとの考えに対する見解
- 3 中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援事業費について
  - ・道内の中小・小規模企業の実情や課題の認識及び事業への反映
  - ・事業者が今年度中に行った設備投資や宣伝広告などの経費も遡及して補助対象とするなど柔軟に対応すべきとの考えに対する所見
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に伴い、人々の生活様式や消費行動、企業活動自体が変化していることを踏まえた今後の支援の在り方に対する所見

- 4 合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策等事業費について
  - ・道産木材の需要拡大の取組目標の達成や北海道森林づくり条例で掲げる100年先を見据えた森林づくりを通じて、環境への負荷の少ない循環型社会の形成や北海道らしい景観づくりを実現していくための取組
- 5 学校感染症対策等支援事業費について
  - ・教育現場におけるデジタル化を進めるためには、知事部局と教育局がこれまで以上に連携を密にして、市町村や学校教育現場と協力のもと、取り組む必要があるとの考えに対する所見

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後2時5分休憩。午後2時7分再開し、



**寺島 信寿議員（公明）** から、

- 1 社会資本整備総合交付金事業について
  - ・道内建設業に対して切れ目のない対策を講じるために計上された債務負担行為の必要性及び限度額の考え方
  - ・事業執行に係る対応
- 2 農業振興について
  - ・農業関連施策を活用した農業振興に向けた取組
- 3 学校の感染症対策について
  - ・今回の補正予算により、全ての道立学校において感染症対策やオンライン学習に必要な環境整備が十分に講じられるかに対する所見
- 4 観光振興について
  - ・現下の厳しい感染状況における旅行割引事業実施の前提条件及び予算執行に係る所見
- 5 中小・小規模企業への支援について
  - ・中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援事業費補助金を活用した道内の中小・小規模企業の取組への支援

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。



**菊地 葉子議員（共産）** から、

- 1 水産業振興構造改善事業費について
  - ・昨年9月に発生した赤潮被害を受けた地域の漁業者も含め、沿岸漁業の持続的な生産体制の構築に向けた支援

- 2 子育て支援対策事業費について
  - ・コロナ禍における子どもたちの学習環境や子育て世帯への影響に対する認識
  - ・実施市町村が15市町村にとどまっていることに対する認識
  - ・全道の多くの市町村で事業を展開できるよう援助すべきとの考えに対する所見
- 3 中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援事業費補助金について
  - ・これまで行ってきた中小・小規模事業者への特別支援金の効果に対する評価
  - ・多様な採択メニューの確保など制度設計の構築に対する所見
  - ・今補正予算は新規事業が対象となっており、支援対象を拡大すべきとの考えに対する所見

等について質問があり、知事から答弁。質疑を終結。

委員会付託を省略し、議案第73号及び第74号を問題とし、採決に入り、いずれも異議なく原案可決。

次に、議案等調査のため、2月28日から3月2日までの本会議を休会することに決定し、午後2時32分散会。

○3月3日(木) 午後1時1分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 決議案第1号**を議題とし、説明及び委員会付託を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

**日程第2 議案第1号ないし第72号**を議題とし、**代表質問**に入り、



**松浦 宗信議員(自民)**から、

- 1 知事の政治姿勢などについて
  - ・感染症との闘いを通じて再確認した道民の力と北海道の価値を今後の北海道づくりの基盤としつつ、ポストコロナに

向けて挑戦していくという考えや目指す北海道のあるべき姿を、来年度の予算や機構改革などを通じて実現するための方策

- ・ワクチンの交差接種の安全性や追加接種の効果に関する理解促進及び職域接種も含めた追加接種の加速化に向けた対応
- ・道内における年少者へのワクチン接種体制及び今後の対応

- ・オミクロン株に対応する保健・医療提供体制の整備や感染防止対策の取組
- ・感染急拡大時における業務継続に関して、社会経済活動の維持を図るために行ってきた取組及び道内の市町村や企業などへの働きかけ
- ・技能実習生や留学生をはじめとする外国人の入国制限の緩和や柔軟な対応を求めるなど、地域の実情を踏まえ、感染症対策の見直しを国に働きかけるべきとの考えに対する見解
- ・現在の感染状況や医療提供体制への負荷に対する認識及び3月7日以降のまん延防止等重点措置への対処
- ・地球温暖化対策推進計画素案に示した脱炭素に向けた新たな2030年度の目標達成に向け、地域の特性や環境にも留意した実効性のある温室効果ガスの排出抑制対策などの今後の対応
- ・太陽光発電の導入拡大に向けたP P Aモデルの普及など、新たな行動計画で掲げた省エネルギーや新エネルギーの導入目標の実現に向けた取組の進め方
- ・エネルギーの地産地消や新エネルギーの導入拡大を図るための新エネルギー導入加速化基金の規模及び活用方法
- ・2月に公表した森林吸収源対策推進計画素案における森林吸収量の目標値設定の考え方及び目標達成に向けた施策の展開
- ・S o c i e t y 5.0の推進について、新たな段階を迎えるスマート道庁の取組の新年度からの展開
- ・職員はもとより、道民にもスマート道庁の取組の成果が具体的に実感できるようにするための取組
- ・データセンターの拠点整備の実現に向けた取組
- ・中小・小規模企業を取り巻く経営環境や今後の見通しに対する認識
- ・中小企業への今後の支援及び本道経済の回復につなげていくための方策
- ・世界的な経済動向による影響や多額の収支不足が生じる中期展望の中で、減債基金への積み戻しや財政課題への取組により、厳しい状況が続く行財政運営の健全化に向けた取組
- ・指定管理者の選考過程において、担当部局職員による不正行為があったことに対する認識

- ・指定管理者制度を進める中での再発防止策の取組
  - ・4月からの次期指定管理期間が迫る中、施設の利用者に影響を与えないための対応
  - ・北方四島地域を管轄する北海道知事としてのウクライナをめぐるロシアの一連の行動に対する認識及び本道への影響並びに今後の対応
  - ・我が国の長期的な発展にも寄与する可能性のある第二青函多用途トンネル構想に対する認識及び今後の対応
  - ・相次いで道央圏を直撃した記録的な降雪により大規模な交通障害を発生させた雪害やJR北海道をはじめとする関係者の対応に対する認識及び今後の対応
  - ・このたびの経験を次の雪害に生かすための検証作業及びスケジュール
  - ・日本海溝と千島海溝周辺で発生が見込まれる巨大地震に関する市町村別の被害想定公表時期
  - ・被害想定や減災目標に関する今後の対応
  - ・現時点で国から津波断層モデルが示されていないオホーツク海沿岸部の浸水想定の設定に早急に取り組む必要があるとの考えに係る所見
  - ・冬季オリンピック・パラリンピックの招致に向けた札幌市との協議の進捗状況及び今後の取組
  - ・条例制定を踏まえたケアラー支援の今後の取組
  - ・医療的ケア児支援センターの開設への取組
  - ・医療的ケア児やその家族への支援の充実に向けた今後の取組
  - ・農業構造の変化に伴う課題を抱えた本道農業の状況に対する認識
  - ・本道農業の将来像に対する所見
  - ・主要魚種の漁獲量の減少やコロナ禍による消費需要の減少、昨年赤潮の被害によるウニなどへの大きな被害など、水産業を取り巻く厳しい状況を踏まえ、令和5年度から始まる次期北海道水産業・漁村振興推進計画の策定に向けた検討の進め方
  - ・漁業関係者の赤潮の再発生や影響の長期化への不安を解消し、生産や経営の回復が着実に進むための今後の取組
- 2 教育問題について

- ・中高生やその保護者に対するアンケート調査、関係市町村への意見照会なども踏まえた高校づくりに関する指針の検証結果の受け止め及び今後の指針見直しの方向性

### 3 公安問題について

- ・道民の安全、安心の確保に向けた無差別テロ対策などの取組
- 等について質問があり、午後1時55分休憩。午後1時58分再開し、知事、副知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から発言があつて、議事進行の都合により午後3時4分休憩。午後3時31分再開し、



### 笹田 浩議員（民主）から、

#### 1 知事の政治姿勢について

- ・コロナ禍に明け暮れたこの一年の道政運営に対する評価及び達成できなかった点に関する所見
  - ・任期最後となる向こう一年間の取組
  - ・コロナ禍が長期化し、収束の兆しも見えない中、疲弊した人々の日々の営みを再生しつつ、残された任期中に公約を実現させる可能性に対する所見
  - ・道財政が依然として厳しい状況が続く中での新たな政策展開への取組
  - ・過去に策定されて検証や見直しがなされていない計画や実効性に疑義がある計画に対する指導監督の状況
  - ・計画等の進捗状況や成果の把握及び課題への対処
  - ・各取組の実効性を高めていくための今後の方策
  - ・国による統制を強めるべきとの意見がある一方で、全国知事会は、現場を抱える自治体の権限を強化すべきだと主張していることに対する所見
  - ・道と市町村との連携の在り方及び役割分担の明確化に対する所見
  - ・機構改革による成果について、新たな組織を設置するにあたっての考え方や具体的な成果目標に関する所見
- #### 2 行財政運営について
- ・令和4年度当初予算編成に向けて行った民間資金獲得に対する具体的な取組及び予算編成への反映並びにその成果に対する評価
  - ・道財政の中期展望では、計画期間である令和

4年度から令和7年度までの間、300億円以上の収支不足を見込んでおきながら、収支対策は令和4年度と5年度の2年間しか示していないことに対し、計画期間を通じた対策を示すことが必要との考えに対する所見

### 3 地方創生の推進について

- ・目標としている、世界の中で輝き続ける北海道の目指す場所
- ・目標達成に必要な施策等を早期に示すべきとの考えに対する所見
- ・テレワークの環境づくりの骨格が見えてきた中で、人口一極集中の回避や地域の特性や生活の充実につなげるためにも、しっかりとした目標を定め推進していく必要があるとの考えに対する所見

### 4 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・今回のまん延防止等重点措置の再延長を全道域とした理由及び飲食店に対する時短営業の効果を疫学的なエビデンスに基づき明確に示すべきとの考えに対する所見
- ・まん延防止等重点措置の要請にあたり、あらかじめ解除基準を示し、全道民がその目標に向け協力する機運をつくり、その基準に基づき解除するべきとの考えに対する所見
- ・昨年12月に作成した感染対策の指標がオミクロン株には対応していなかったにもかかわらず、これまでどおりの対策で後手に回ってしまったために感染の拡大を招いた責任
- ・新たな変異株を含めた道独自の分析、検証の上での新しい指標の作成や、場合によっては独自の対策を取るなど、迅速かつ柔軟な対応が必要との考えに対する所見
- ・円滑なワクチン接種の実施に向け、3回目接種の課題を把握の上、市町村間のワクチン融通に向けた具体的な対応を行うなどの取組が必要との考えに対する所見
- ・3回目接種の意義や知見の周知徹底に努めるなどの取組が必要との考えに対する所見
- ・4回目以降の接種の必要性など、今後の方針を早期に示すべきとの考えに対する所見
- ・小児へのワクチン接種の効果とリスクの周知及び子どもや保護者の不安や疑問解消に向けた今後の対応
- ・経口治療薬や中和抗体薬による適切な治療ができるよう早急な体制整備が必要との考えに

対する所見

- ・今回の感染急拡大に伴い行った積極的疫学調査の重点化は、恒常的なものなのか限定的なものなのかに対する所見
- ・検査を必要とする道民がすぐに受検できる体制整備と検査件数の拡充を早急に進めるべきとの考えに対する認識と今後の取組
- ・まん延防止等重点措置期間内の飲食店に対する指導について、不公平感のない厳正な対応が必要との考えに対する所見
- ・感染拡大時における飲食店への協力支援金等の措置は、長期化や延長による影響への支援としては妥当ではなく、要請期間に応じて割増しするなどの新たな基準づくりや、別途、支援策が必要との考えに対する所見

### 5 医療・福祉課題について

- ・妊よう性温存療法の支援対象となる指定病院は札幌圏に集中しており、地方居住者にとってはハードルが高い状況を踏まえ、治療を必要とする方が円滑に利用できるよう支援体制の充実を図るべきとの考えに対する所見
- ・広域な本道の状況をカバーするための医療的ケア児支援センターの機能及び対応
- ・医療的ケア児等に係る課題やニーズの把握及び医療的ケア児の支援に係る今後の取組
- ・成年後見制度に対する正しい理解に向けた周知への取組
- ・後見人の不祥事など様々なトラブルに発展する事案に対応できない現制度の見直しが必要との考えに対する所見

### 6 経済と雇用対策について

- ・第三者認証制度について、取得店と未取得店に大差がないことや、まん延防止等重点措置期間中と特別対策期間中における時短等の要請内容が変わらないなど、制度の矛盾を改善する必要があるとの考えに対する所見
- ・長引くコロナ禍で事業の立て直しが遠のく中、ゼロゼロ融資の返済が始まり、多くの事業者が再び窮地に立たされる状況下において、返済開始の猶予など柔軟な対応が必要との考えに対する所見
- ・道内市町村が擁する観光資源を世界に発信し、認知度を高め、誘客につなげていく施策の展開への取組
- ・建設産業における就業者の高齢化と慢性的な

- 担い手不足により公共工事の入札にも支障が出始めている現状の認識
- ・技能労働者の安定的な確保と処遇改善及び建設現場における生産性の向上を図る今後の取組
  - ・燃油価格高騰はガソリンや灯油を多く使用する事業者にとって死活問題であり、一時的でもガソリン税の低減を国に求めるなどの取組をすべきとの考えに対する所見
  - ・現在苦境に置かれている業種別の支援策や生活困窮者への支援を速やかに措置すべきとの考えに対する所見
- 7 エネルギー政策について
- ・高レベル放射性廃棄物最終処分場の選定における概要調査に移行する際の「北海道における特定放射性廃棄物に関する条例」の遵守に対する所見
  - ・道民全体の意思決定に向けた学習、議論の場を設けることが急務との考えに対する所見
- 8 防災・減災対策について
- ・日本海溝・千島海溝巨大地震に対する各自治体への支援など今後の取組
  - ・今回の雪害に対する認識及び対応への見解
  - ・道路の除排雪がなかなか進まず、優先順位としてバス路線、幹線道路から行き、生活道路は後回しとされた状況に対する見解及び今後の対応
- 9 交通政策について
- ・これまで本道の持続的な鉄道網の確立に向けて積極的に取り組むと議会答弁していたにもかかわらずJR根室線の富良野―新得間の廃止方針が決定された現状に対する受け止め
  - ・知事が自ら発言した持続的な鉄道網の確立に向けた今後の取組
  - ・JR北海道の単独では維持困難な線区についての地域との協議と国交省で立ち上げた有識者検討会との関わり
  - ・有識者検討会への意見反映
  - ・鉄道の除排雪対策について、安全、安心な移動手段の確保に向けて必要な対策を講ずるべきとの考えに対する所見
- 10 第1次産業の振興について
- ・本道農業が持続的に営農できるよう、生産基盤強化はもとより、価格安定化、消費喚起等の複合的な対策が課題である状況下での対応及び具体策
  - ・水田活用の直接支払交付金制度の厳格化による影響額
  - ・新条件の期間延長や例外規定の新設、除外水田の復活、制度の柔軟な運用などの要望に対する対応
  - ・農業次世代人材投資事業の見直しに対する認識
  - ・経営継承・発展等支援事業については地域間で差がつかないように全額国費で賄う支援制度であるべきとの考えに対する国への要請も含めた所見
  - ・森林整備事業等に必要な予算を十分に確保した上で具体的な施策を展開すべきとの考えに対する所見
  - ・次期北海道水産業・漁村振興推進計画の策定に向けては、サケ、イカなどのさらなる減少や、昨年発生した赤潮の被害、地球規模での気候変動の影響などの諸課題の解決を目指す内容とすべきとの考えに対する所見
- 11 人権等施策について
- ・新年度における施策や事業内容
  - ・これまでの取組の評価と今後の進め方
  - ・人権施策を推進する立場の環境生活部における啓発活動以外の取組
  - ・人権施策の推進に理解のある事業者等に道の発注工事や指定管理者選定に一定のインセンティブを与えるなどして加速化させることも必要との考えに対する所見
  - ・札幌市に次いで江別市がパートナーシップ制度の導入を決定し、函館市や帯広市、苫小牧市なども検討を始めるなど、社会情勢に対応した各市の動きに対する認識
  - ・道内の市町村に遅れることなく、道が率先して制度の導入を推し進めるよう強いリーダーシップを求めることへの所見
- 12 環境政策について
- ・北海道地球温暖化対策推進計画の見直しについて、再エネ導入や事業者や道民など、削減活動促進等の施策に係る部門別の目標数値を追加記載する根拠
  - ・分野別の具体的な数値目標及び森林吸収源における具体的な数値目標
  - ・海洋における海藻などで吸収、固定されるCO<sub>2</sub>ブルーカーボンの取組も推進すべきと

の考えに対する所見

- ・第2期北海道ヒグマ管理計画で行う対策
  - ・野生鳥獣対策の今後の取組
- 13 2030北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会について
- ・札幌市とどのような協議を行い、支援をどう行っていくのかを明らかにし、説明する責任があるとの考えに対する所見及び今後の取組
  - ・大会活用が見込まれている真駒内の道有施設に係る改修費などの負担に対する所見
  - ・老朽化している真駒内競技場に対する今後の対策
- 14 北方領土問題について
- ・コロナ禍で困難な状況に加え、ロシアによるウクライナ侵攻という極めて困難な社会情勢の中、北方領土返還要求運動に取り組む姿勢に対する所見
  - ・今後もコロナ禍との共存が想定される中、北方四島の交流等事業の再開に向けた具体的な取組の進め方
- 15 教育課題について
- ・慢性的な教員の欠員の解消や良質な教員の確保といった課題に対し、これまでの取組の総括及び新年度の取組への反映
  - ・学校における働き方改革の取組を支援する教職員テレワークを全国に先駆けて導入することで、教員の欠員の解消の一助になるとの考えに対する所見
  - ・ヤングケアラーに対する相談支援について、学校において直接相談できる体制が必要であるため、派遣型ではなく配置型のスクールソーシャルワーカーを任用すべきとの考えに対する所見
  - ・中学2年生の約85%、全日制高校2年生の約40%、定時制高校2年生の約50%が、小学校段階からケアを始めているという調査結果を踏まえ、早急に小学生に対してヤングケアラーの実態調査をすべきとの考えや小学生への相談強化も必要との考えに対する所見
  - ・北海道ケアラー支援条例に基づく具体的な取組及び支援の進め方
  - ・学校徴収金の実態
  - ・教育の格差拡大を是正するためにも学校徴収金の上限の目安を設定すべきとの考えに対する所見

- ・いじめ問題について、調査等に時間がかかり、その間、いじめか否かも明確にされず、原因究明や再発防止もされない状況を解決するため、いじめ問題に専門的に取り組む、いじめ対策担当教員を設置するなど、十全に対応できる環境整備をすべきとの考えに対する所見
- ・道教委職員が指定管理者候補の選定過程において不正行為を働いた問題について、追加の調査と防止策を早期に示すべきとの考えに対する所見
- ・組織の長として自らの処分に対する所見

等について質問があり、午後4時22分休憩。午後4時25分再開し、知事、副知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後5時44分休憩。午後6時1分再開し、同議員から再質問があって、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があって、知事から答弁。議事進行の都合により午後6時47分散会。

○3月4日(金) 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第72号を議題とし、代表質問を継続。**



**赤根 広介議員(結志) から、**

1 知事の基本姿勢について

- ・公約の達成状況に対する認識
  - ・積み残した課題の実現に向けた決意や施策の執行方針及び令和4年度当初予算への反映
- ・まん延防止等重点措置の再延長を要請するに当たり行った、これまでの対策の効果の検証
  - ・1月21日以降レベル2に据え置かれた北海道のレベル分類について、小樽市など一部の地域で病床使用率が50%を超え、感染が全道に拡大している時点で、道民と危機感を共有するためにも、レベル3まで引き上げるべきだったとの考えに対する見解
  - ・外来診療前検査キット配付事業について、検査キットの配布元を医療機関だけに絞った理由
  - ・「医療機関への受診に一定の時間を要する状況」にあるとの判断に至る根拠データ
  - ・これまでの高齢者対策が功を奏していない原因の検証及び今後の対処方針
  - ・保育所や認定こども園等に対し、少人数に分散した保育や児童に対して可能な範囲で一時的にマスク着用を促すことなどを新たに要請

するに当たり聴取した現場の声及び要請を実行可能とするために講じる支援策

- ・必要な救急医療提供体制の確保について、困難事案が解消されない理由及び原因の分析並びに対策
- ・第三者認証制度の普及が進まない原因の分析及び打開策
- ・国が示したデジタル田園都市国家構想関連施策の来年度の道予算への反映及び北海道創生への活用に係る見解
- ・第2期創生戦略について、長期間にわたり人の往来が制約されるコロナ禍における関係人口の創出・拡大に対する所見
- ・市町村におけるSDGsへの取組の広がりが見受けられない状況の認識及び今後の対策の進め方
- ・企業価値の維持向上とビジネスチャンスの拡大にも役立つ企業のSDGsへの取組の推進
- ・奨学金返済支援制度創設に対して、消極的な姿勢であることに変わりはないかに係る所見
- ・札幌市との人口減少対策共同プログラムの取組について、コロナの収束が見通せない状況下で、札幌市との連携強化を図るための具体的な取組の進め方
- ・北海道地球温暖化対策推進計画で掲げる2030年度の温室効果ガス排出量目標と施策の相関性に係る所見
- ・省エネ・新エネ促進行動計画の改定素案について、より高い目標値を達成するために追記した取組の施策への反映
- ・北海道森林吸収源対策推進計画における森林吸収量について、見直し後の目標値の実現に向けた具体的道筋
- ・地域脱炭素化促進事業における促進区域の設定基準の制定時期及び取扱い並びに区域選定の目標
- ・国における空港の脱炭素化に向けた取組に対する認識及び道管理空港における取組
- ・国の支援措置を活用した公営企業における脱炭素化の取組
- ・新年度から実施予定の北海道インフラゼロカーボン試行工事に期待するゼロカーボン北海道の実現への貢献度
- ・推進計画改訂版における家庭分野の温室効果ガス排出量削減目標値の引き上げに伴う目標

達成に向けた新たな具体的方策

- ・サステナビリティ・リンク・ボンドの発行に関する認識
  - ・2030年度までの温室効果ガス排出量の50%削減に向けて、早急に年次計画を作成し、計画的に取組を進めるべきとの考えに対する所見
  - ・日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震について、スピード感を要する対策への取組
  - ・自然災害と感染症の拡大が同時、複合的に発生する場面の想定や、スマート道庁の取組による職員の執務環境の変化に合わせた新たな業務継続計画を策定する必要があるとの考えに対する所見
  - ・スマート道庁の取組について、来年度以降の重点的な取組及び進め方
  - ・臨時財政対策債発行の考え方
- 2 道政の諸課題について
- ・各振興局、とりわけ若手職員の発想や提案を具体的な施策に結びつけていくための場や機会の設定
  - ・これまでに出されたアイデアの中から令和4年度予算に反映された施策
  - ・国内最大規模の次世代データセンターの実現に向けた具体的な取組
  - ・10兆円規模の大学ファンド創設などを踏まえた次期北海道科学技術振興計画の策定に係る所見
  - ・道総研の在り方に関する認識
  - ・本道の科学技術向上のため、新年度から道総研理事長に就任する小高氏に期待すること
  - ・北海道グローバル戦略の推進に向けた施策の優先順位の考え方及び来年度予算への反映
  - ・「外国人材の受入れ拡大・共生に向けた対応方向」の一部改定に当たり、道内居住の外国人との共生社会の実現に向けた環境整備の充実に結びつけるために留意した点及び「対応方向」のこれまでの成果
  - ・北海道小規模企業振興条例及び振興方策が本道の持続的な経済の活性化に果たしてきた役割の総括及び今回の改正により充実を図った点
  - ・北海道雇用創出基本条例に基づく令和4年度推進計画の取組方針
  - ・現在のバリアフリー観光の推進状況の認識
  - ・バリアフリー観光の取組強化に向けた次年度

以降の方策

- ・北海道らしい I R コンセプトの構築に向けた検討状況や具体的な取組案の提示時期
- ・地域医療介護総合確保基金による遠隔医療促進事業の活用状況及び遠隔医療の充実・拡大に向けた方策
- ・医療的ケア児支援センターに配置する医療的ケア児等コーディネーターの就任条件及びセンターの支援体制並びにセンターの実際の稼働時期
- ・みどりの食料システム戦略に沿った道としてのロードマップを策定する必要があるとの考えに対する見解
- ・主要魚種が依然として不漁である状況下において、漁業者が経営を維持できるための漁業生産の回復・安定や消費拡大に向けた取組
- ・指定管理者選定に関わる不正行為に関して、2年前のキタデミー賞問題から再び、道民や懸念に指定管理を担う事業者の信頼を大きく裏切る問題が発生したことに対する受け止め
- ・道民及び事業者の信頼回復に向けた徹底した原因究明と実効性のある再発防止策に係る今後の取組及びスケジュール
- ・コロナ禍の長期化により厳しい状況が続くネイパルの運営に係る今後の取組

### 3 教育行政について

- ・第6次学校図書館図書整備等5か年計画の目標実現に向けた取組及び児童生徒の基礎的知力・学力向上に繋げる方策

### 4 警察行政について

- ・サイバー攻撃対策に向けたサイバー攻撃の手法やサイバーセキュリティに関する知識及び技術を有する人材の養成及び拡充に対する対処
- ・サイバー攻撃に対する防御策の具体的な方法

等について質問があり、午前10時45分休憩。午前10時48分再開し、知事、副知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午前11時49分休憩。午後1時1分再開し、同議員から再質問があって、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があって、知事から答弁。議事進行の都合により午後1時53分休憩。午後2時21分再開し、



**阿知良 寛美議員（公明）** から、

#### 1 知事の政治姿勢について

- ・1期4年の仕上げを迎えるに当たっての、これまでの成果と課題に対する認識
- ・今後、展開する具体的な取組
- ・これまでの感染再拡大防止に向けた取組に対する受け止め
- ・道民の命と暮らしを守り、誰もが希望する社会経済活動の再スタートに向けて、一日も早く、これ以上の再拡大の防止に向けた取組を加速すべきとの考えに対する所見
- ・新型コロナウイルスの新たな変異株の感染拡大に備え、一層の医療・検査体制の整備に取り組むべきとの考えに対する所見
- ・高齢者が在宅で重症化することがないように、健康観察や診療等の体制強化、自宅療養者への支援医療機関の拡大、きめ細やかなケア体制の確立やパルスオキシメーターの十分な提供などに取り組むとともに、軽症・無症状者の受入れ宿泊施設の十分な確保を図るべきとの考えに対する所見
- ・高齢者施設へのワクチンの追加接種の促進に向けた課題
- ・一日でも早くワクチン接種の促進に向けて取り組むべきとの考えに対する所見
- ・ゼロカーボン北海道のスタートに当たり、削減目標の実現に向けた課題認識及び課題解決に向けた今後の具体的な取組並びにロードマップ
- ・新エネルギー導入加速化基金を活用した事業の成果及び新エネルギーの導入拡大に当たっての地域の課題の把握
- ・ゼロカーボン北海道の一層の実現に向けて、基金の見直しも含め、幅広い視点から早急に検討すべきとの考えに対する所見
- ・脱炭素化の取組の必要性を伝え、道民や事業者が積極的に取り組む仕組みづくりが重要との考えに対する所見
- ・ブルーカーボン等の吸収源対策に係る今後の具体的な取組
- ・本道経済の活性化と併せてバックアップ構想の推進を図るため、第2青函トンネルの実現に向けた具体的な取組を展開すべきとの考えに対する所見

- ・札幌圏の大雪に関する関係機関の対応検証を本年5月を目途に行うことに対し、迅速に検証することができない理由と検証方法
  - ・札幌市と密な連携を図るため、道市懇談会を開催して災害対策について議論することが必要との考えに対する所見
  - ・国が設置した鉄道に関する有識者検討会に対する受け止め及び持続的な鉄道網の確立に向けた今後の取組
- 2 経済対策について
- ・ものづくり産業やIT産業への支援、リスク分散に対応した企業誘致活動などの産業振興について、今後展開していく取組内容
  - ・国内外からデータセンターを誘致するに当たっての課題の認識
  - ・国のデータセンターの地方拠点整備事業との連携及び次世代のデータセンター誘致の進め方
  - ・地域経済を担う中小・小規模企業の支援に関する取組
- 3 観光振興について
- ・観光関連産業の回復に向けた新年度に展開する重点的な取組
  - ・アドベンチャートラベルについて、オールシーズンでの計画や方針を策定して取り組むべきとの考えに対する所見
- 4 保健福祉問題について
- ・道民の健康づくりの推進に当たり、学校教育との連携や、働き方改革が叫ばれている企業、事業者などの各関係機関と連携した取組を展開すべきとの考えに対する所見
  - ・本道の合計特殊出生率が全国と比較しても低い現状である中での本格的な少子化対策への取組
  - ・国のこども家庭庁に対応した受皿に対する所見及び今後の重点的な取組の展開
- 5 水田活用の直接支払交付金の見直しについて
- ・地域の実情を踏まえた本道の水田農業の体質強化に向けた今後の対応
- 6 赤潮対策の推進について
- ・当初予算に計上した赤潮対策
  - ・赤潮発生メカニズムの解明や海洋モニタリングなどの国の研究機関と連携した取組が急務との考えに対する所見
- 7 水道事業について
- ・道内の水道事業の現状及び将来の見通し並びに課題に対する認識
  - ・水道事業における課題解決や基盤強化に向け、これまで行った取組及び今後の取組
  - ・広域連携の推進方針を定めるプランの策定及び広域連携の取組
- 8 2030北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会の開催について
- ・開催招致に係る所見
  - ・道と市の連絡会議の早期開催に対する所見
- 9 北海道博物館について
- ・北海道博物館を拠点施設として、機能の充実や情報発信の強化などを図り、国内外からの利用客の増加につなげていくべきとの考えに対する見解
- 10 多文化共生社会について
- ・最近の国の動きや地域の実情を踏まえ、海外との人的交流に向けた今後の取組
- 11 教育問題について
- ・高等学校改革で取り上げられているSTEAM教育の内容及び今後の取組
  - ・幼児教育施設と小学校との接続における諸課題の解決に向けた今後の取組
- 12 公安問題について
- ・飲酒運転に起因する悲惨な交通事故を防ぐための取組
- 等について質問があり、知事、副知事、教育長及び警察本部長から答弁。
- 議案等調査のため、3月7日の本会議を休会することに決定し、午後3時30分散会。
- 3月8日(火) 午前10時1分開議、諸般の報告の後、
- 日程第1 議案第75号ないし第95号**を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明。
- 日程第1の議案第75号ないし第95号にあわせ、
- 日程第2 議案第1号ないし第72号**を議題とし、**一般質問**に入り、
- 檜垣 尚子議員(自民)**から、
- 1 高度化PICSについて
- ・信号機から視覚障がい者のスマートフォンに信号の色を音声で伝える、いわゆる高度化PICSの導入を速やかに整備していくべきとの考えに係る所見

- 2 職業実践専門課程について
  - ・専修学校における職業実践専門課程の取組を推進するためのこれまでの対応及び今後の対応
- 3 私立学校の耐震化について
  - ・道内の私立高校における耐震化率が全国平均を下回っている現状に対する認識
  - ・耐震化が進まない各学校の事情等をより詳細に把握すべきとの考えに係る所見
  - ・私立学校の耐震化に向けたこれまでの取組及び今後の進め方
- 4 子育て支援の充実について
  - ・子育て世帯訪問支援臨時特例事業の実施主体となる市町村への支援
- 5 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・感染拡大で休園する保育所等が増加する中、保護者が継続して働くことができるよう、地域の保育所等が果たす社会的機能を維持するための対策
- 6 保育現場の働き方改革について
  - ・保育士が安心して働ける職場や働きやすい職場環境づくりなど、保育現場における働き方改革に向けた支援
- 7 HPVワクチン接種の積極的勧奨について
  - ・本年4月からの個別勧奨の再開に向けた接種対象者や保護者、市町村等への支援
- 8 在宅医療の推進について
  - ・広域分散型の本道の状況や課題を踏まえた在宅医療の推進に向けた今後の取組
- 9 道産食品の付加価値向上について
  - ・ヘルシーD o について、これまでの取組と成果
  - ・ヘルシーD o の開発に向けた今後の取組
- 10 ホッカイドウ競馬について
  - ・インターネット発売だけでなく、誘客促進を図るために実施する令和4年度の開幕に向けた取組
  - ・老朽化が著しい厩舎施設に対する今後の整備の進め方
- 11 「北海道Society5.0」の実現に向けた取組について
  - ・デジタル化を担う人材確保・育成に向けた認識及び今後の取組
  - ・北海道Society5.0の推進にあたり、官民連携の取組等を活用しながら、高校におい

て将来のデジタル人材を育成していくことも検討が必要との考えに対する所見

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総合政策部次世代社会戦略監、保健福祉部長、保健福祉部少子高齢化対策監、経済部食産業振興監、農政部長、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午前10時50分休憩。午前10時52分再開し、



**木葉 淳議員（民主）**から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・道民に対し、ワクチン接種に関する強要や差別が起こらないよう対処すべきとの考えに

対する所見

- ・北海道コロナ通知システムを見直し、保健所機能を支援、完補しながら、道民の命を守るべきシステムとすべきとの考えに対する所見
- 2 地方への支援について
    - ・雪害発生時の自治体への支援について、今年の各自治体への支援と連携及び災害級の降雪時の除排雪等の体制の確保
    - ・今後想定される雪解け時の水害に対する各自治体との連携及び今後の対策
    - ・豪雪時の住民への要請について、テレワークの推奨や夕方以降の外出自粛、出退勤時間の調整等の呼びかけ、スムーズな排雪への協力依頼、対象地域に居住する道職員へのテレワーク徹底など、企業、住民への協力要請をもっと強く行うべきだったのではないかと考えに対する所見
    - ・除排雪の担い手確保について、排雪作業の担い手不足に対するこれまでの取組及び今後の取組
    - ・保育の担い手育成に向けた施策が必要との考えに対する所見
    - ・地元の中小企業の受注機会確保に向け、道が行う公共事業に地元の中小企業がより参画できるための取組
  - 3 交通政策について
    - ・自転車の一般利用者への交通安全対策について、これまでの実施状況と現状認識及び今後の取組
    - ・高度化PICSシステムの設置と普及に向けた今後の取組及び道民への周知に係る所見
    - ・北海道無電柱化推進計画上の課題への取組

- 4 道民の森の利活用について
  - ・道民の森でのワーケーション利用について、リモートワークを可能とする通信環境の整備状況及び今後の取組
  - ・トレッキング等のフィールド利用促進に向けた整備状況及び今後の取組
  - ・閉鎖施設に残る遊具等の有効利用に係る今後の対応
- 5 保育課題について
  - ・病児保育拡充への課題認識及び今後の取組
  - ・少子・高齢化が進む本道の幼児教育の質の確保及び今後の具体的な取組
- 6 教育課題について
  - ・G I G Aスクール構想1年目の成果と課題及び新年度の改善策
  - ・道立高校における1人1台端末の実施に向け、道が責任を持ち、小中学校と同様の支援体制を組むべきとの考えに対する所見
  - ・教職員の時間外勤務の縮減について、勤務時間内の研究時間の確保に向けて、業務の精選及び1人当たりの持ち授業時数削減のための教職員増員が必要との考えに係る現状認識及び今後の対策

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、保健福祉部少子高齢化対策監、環境生活部長、経済部長、水産林務部長、建設部長、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午前11時51分休憩。午後1時1分再開し、



**佐々木 大介議員（自民）** から、

- 1 水田活用の直接支払交付金の見直しについて
  - ・今回の見直し方針に伴う影響の認識及び対応
  - ・米の需要が減少する中、生産者が中長期的な展望を持てる水田農業の振興に向けた取組
- 2 高病原性鳥インフルエンザへの対応について
  - ・道内の養鶏場における高病原性鳥インフルエンザの発生を予防するための取組
- 3 再生可能エネルギーの導入に係る環境アセスメント手続について
  - ・再生可能エネルギーの導入に係る環境アセスメント手続における地域の声の受け止め及び対応

- 4 プラスチック資源のリサイクル促進について
  - ・プラスチックの資源循環の促進に対する所見及び今後の取組
- 5 医療的ケア児の日常生活に対する支援について
  - ・医療的ケア児の日常生活に対する支援の確保及び市町村で支援に格差が生じないための今後の取組
- 6 大雪時の除排雪体制について
  - ・今冬の大雪への対応について、地域の幹線道路の役割を担う道道の円滑な交通を確保するための対応及び幹線道路とつながる市町村道への支援並びに今後の対応
  - ・冬期の災害発生時における路線確保の優先性や緊急時の除雪方法の在り方など、緊急事態に備えた交通確保の在り方などを検討する必要があるとの考えに対する所見
  - ・広大な北海道のインフラの整備や除排雪などを維持するためには、本道建設業の若手人材の確保などに向けた支援を拡充していくことも必要との考えに対する所見
- 7 北海道新幹線の整備について
  - ・新函館北斗－札幌間の建設工事の進捗状況の把握
  - ・新函館北斗－札幌間の建設工事における今後の地方負担額の見込み及び地方負担額の軽減を国に求めることも必要との考えに係る所見
  - ・発生土の選別地や受入れ地の確保について、2030年度末の札幌開業に向け、円滑な工事の推進を図るため、沿線自治体との調整で果たすべき役割及び対応
- 8 職員の働き方について
  - ・職員個人が地域振興や地域貢献に取り組みやすい環境づくりを進めるため、兼業の許可基準を明確にすべきと考えに対する所見

等について質問があり、知事、総務部職員監、総合政策部交通企画監、環境生活部長及び建設部長から答弁。議事進行の都合により午後1時38分休憩。午後1時40分再開し、



**壬生 勝則議員（民主）** から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・自宅療養者の生活支援を効果的に行うための市町村との連携に係る今後の対応
  - ・安心して利用できる相談支援体制を確保すべ

きとの考えに係る所見

- ・オミクロン株の感染拡大に伴う罹患後症状、いわゆる後遺症に悩む方々からの相談内容及び対応
- 2 産業振興策について
    - ・赤潮への対応について、漁業従事者への救済措置の確立に向けた今後の取組
    - ・アキサケ資源の回復に向けた今後の取組
    - ・道内農産物のブランド化、高付加価値化の向上、ネット販売などの販路拡大、地産地消の推進等、消費拡大に向けた今後の取組
    - ・第2次産業の振興について、道内外からの製造業の誘致及びSDGsの実践やSociety 5.0の実現も踏まえた先進企業の積極的な誘致に向けた今後の取組
  - 3 防災対策について
    - ・大地震や大規模自然災害に備えるための道民や各市町村に対する対策
  - 4 アドベンチャートラベルについて
    - ・アドベンチャートラベル・ワールドサミットの開催を契機とした道内のアドベンチャートラベルに対する振興策の展開
  - 5 交通インフラの整備について
    - ・道内の高速道路の4車線化実現に向けた今後の取組
    - ・JR北海道や国に対する黄色線区存続に向けた今後の取組
  - 6 食品ロス削減の取組について
    - ・消費者団体やNPO法人のフードバンク活動などを支援し、賞味期限が短くなった食品を必要とする人に結びつける仕組み構築に向けた今後の取組
  - 7 若者の人材育成について
    - ・コロナ禍におけるほっかいどう未来チャレンジ基金事業の寄附金や事業の実施状況及び来年度の事業実施に係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部交通企画監、総合政策部地域振興監、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、農政部食の安全推進監及び水産林務部長から答弁。同議員から再質問があって、知事から答弁。議事進行の都合により午後2時24分休憩。午後3時1分再開し、



植村 真美議員（自民）から、

- 1 MICEの誘致について
  - ・MICEの現状に係る認識及びポストコロナを見据えた今後の取組
- 2 林業・木材産業の振興について

て

- ・クリーンラーチの苗木やコンテナ苗等の優良な種苗の安定的な供給に向けた今後の取組
  - ・多くの公共施設が建替え時期を迎えるこの機会を捉え、木造建造物の優位性を広く周知し、公共施設の木造・木質化を広めるべきとの考えに係る所見
  - ・家庭や地域の公共施設、民間施設で、木質バイオマスエネルギーの熱利用を高めることが必要との考えに係る所見
  - ・観光、アドベンチャーツーリズムの拡大に向け、観光分野での森林資源の活用促進の取組が重要との考えに係る所見
- 3 雪の活用について
    - ・最大の厄介者の雪を、今後、再生可能エネルギーの資源として活用促進を図るべきとの考えに係る所見
  - 4 地域における社会機能の維持について
    - ・感染症対策に関する社会機能維持者の取扱いについて、濃厚接触者の待機期間の特例的な解除に対するこれまでの取組と今後の対応
  - 5 人口減少や高齢化が加速する地域への対策について
    - ・地域の特性を踏まえた地域包括ケアシステムの推進に向けた取組
    - ・地域での見守り活動推進への取組
  - 6 地域と連携した高校教育の在り方について
    - ・経済的理由や自宅の立地的理由で高校生活が充実できないことのないよう、高校の配置も通学環境を踏まえ考えることが必要との考えに係る所見
    - ・少人数体制でも、子どもや地域にとって魅力ある高校や地域連携特例校を評価すべきとの考えに係る所見
    - ・望ましい勤労観や職業観を育成することができる、高校と企業と地域が連携した人材育成への取組

等について質問があり、知事、保健福祉部長、経済部長、水産林務部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時

42分休憩。午後3時45分再開し、



**大河 昭彦議員（結志）** から、

1 地方行政のデジタル化と関連する諸問題について

- ・道や道内市町村のデジタル化の状況に係る認識
- ・デジタル社会の実現に向けた

関係機関との連携には、これまで以上の気配りと相互の情報交換が必要との考えに係る所見及び心構え

- ・これからのデジタル行政の業務量とこれを取り扱う職員を含めた体制整備に係る見解
- ・国と同様に、必要に応じ民間のデジタル関連業務に精通した人材採用も考慮するかに対する所見
- ・各地域の社会的課題解決などの取組を支援するデジタル田園都市国家構想の実現についての受け止め及び評価
- ・デジタル田園都市国家構想への着手には、今後、相当大きな人的・財政的負担が伴うことに係る所見
- ・道内で必要となるデジタル人材の確保及びデジタルを活用して地域の課題解決に取り組む自治体数を増やす構想に対する見解
- ・道内における地方データセンターの立地の候補地に係る見解
- ・道内の地域が抱える様々な課題について、地域、市町村とよく話し合い、地域の望ましい姿を計画として取りまとめ、具体的な北海道版デジタル田園都市国家構想づくりに取り組むべきとの考えに係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部次世代社会戦略監及び総合政策部地域振興監から答弁。議事進行の都合により午後4時11分散会。

○3月9日（水） 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第72号及び第75号ないし第95号**を議題とし、**一般質問**を継続。



**星 克明議員（自民）** から、

1 農業行政について

- ・国の水田活用の直接支払交付金の見直しにより抽出された多くの課題や、第6期北海道農業・農村振興推進計画の変

更に対する今後の対応

- ・生乳生産者が安定的に経営できるための、全国的な生乳調整機能の早期整備と、継続的な需要拡大に向けた取組に係る見解
- 2 消防団員の確保について
- ・減少する消防団員の状況及び今後の消防団員の確保に係る見解
- 3 新型コロナウイルス感染症対策について
- ・新型コロナウイルス感染症疑いの事案も含め、救急搬送困難事案全体が高止まりの状況への対応及び救急搬送困難事案の減少に向けた今後の対応
- 4 アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023に向けた対応について
- ・アドベンチャートラベル対応ガイド制度の新設に向けた今後の対応
  - ・アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023の開催に向けて通訳案内士に協力を依頼すべきとの考えに対する見解
- 5 デジタル化に対応する人材の育成確保について
- ・デジタル人材育成の前に、必要な人材像の明確化、取組内容や指標設定の検討が必要との考えに係る見解
- 6 動物愛護管理センターの運用について
- ・動物愛護管理センターの早期の運用開始に係る見解
- 7 学力向上の取組について
- ・小中高等学校全てで新学習指導要領が完全実施という新局面における、今後の学力向上への取組

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、経済部観光振興監、農政部長及び教育長から答弁。同議員から発言があつて、議事進行の都合により午前10時39分休憩。午前10時42分再開し、



**田中 英樹議員（公明）** から、

1 骨髄ドナー対策について

- ・骨髄移植の実施状況について、ドナーが骨髄提供を辞退する状況に対する認識
- ・ドナー休暇制度導入企業等を

評価する仕組みの制度化への取組及び今後のスケジュール

2 道産食品の販路拡大について

- ・東京と大阪で開催した道産品取引商談会の実

施方法及び出展者の反応などの状況

- ・今回の取引商談会の結果を踏まえた、今後のバイヤーとの商談機会の確保
- ・食の北海道ブランドの推進について、北のハイグレード食品の取組状況及び今後の展開

3 生乳の需給緩和について

- ・酪農家の不安を払拭するための生乳の需給緩和への取組

4 防災対策について

- ・広域行政を担う道として、各自治体の好事例等の情報提供を行うなど、道内自治体の防災に対するレベルアップを図るべきとの考えに対する所見

5 猛禽類の鉛中毒について

- ・鉛弾が及ぼす野生動物への影響を全国に発信する必要があるとの考えに対する所見

6 北方領土問題について

- ・今後の四島交流等事業の再開に向けた取組

等について質問があり、知事、環境生活部長、保健福祉部長、経済部食産業振興監及び農政部長から答弁。議事進行の都合により午前11時12分休憩。午後1時1分再開し、



**村田 光成議員（自民）** から、

- 1 北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区について
  - ・特区が関与した食品の輸出額や企業との連携プロジェクト数など、1期、2期を通じた

これまでの取組と成果

- ・事務局機能を果たしてきたフード特区機構の事業継承に係る今後の受皿に対する見解
- 2 若年層における献血の推進について
    - ・道立高等学校での献血に関する授業実践研究事業について、平成29年度から3か年の取組実績と成果
    - ・授業実践研究事業の成果を保健授業や特別活動などへ生かしていくための今後の取組
  - 3 森林環境譲与税の活用について
    - ・森林環境譲与税の市町村の活用状況及び今後の執行率の見込み
    - ・森林環境譲与税を活用した市町村による森林整備などへの今後の取組
  - 4 通学路の安全確保について
    - ・通学路の安全対策について、ハードとソフトの両面の取組
  - 5 児童虐待について

- ・児童虐待の未然防止、早期発見に向けた今後の取組

等について質問があり、知事、経済部食産業振興監、水産林務部長、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後1時34分休憩。午後1時37分再開し、



**山根 理広議員（民主）** から、

- 1 観光政策と民泊業の推進について

- ・委託先のどうみん割事務局に対する事務手続の効率化に向けたデジタル化促進への指示

や協議内容及び今後の進め方に係る所見

- ・宿泊助成制度の構築時には、今後想定される宿泊税の応用も意識した内容とすることで、最小の経費で最大の効果をもたらしながら事業者支援を行べきとの考えに対する所見
  - ・民泊施設における規制緩和が民泊事業者にもたらすメリット及び今後の取組
  - ・民泊条例について、住宅宿泊事業の3か年の推移、条例施行による生活環境悪化事例の発生程度、生活環境の悪化想定内容との差異の程度及び条例の見直しに関する所見
- 2 eスポーツの推進について
    - ・eスポーツにおける市場規模の拡大や、道内外の動きなども踏まえ、今後、観光振興、地方創生の観点などからも、eスポーツを活用した施策を推進していくべきとの考えに係る所見
  - 3 本道スポーツの推進について
    - ・北海道スポーツ推進条例案に設けられたスポーツ推進に関する基本的施策の今後の取組
  - 4 デジタル化の推進について
    - ・Smart道庁の取組として4月に整備されるシステムの導入効果の見込に対する所見
    - ・デジタル化の取組推進に対するスケジュール感も含めた所見
  - 5 PCR等検査無料化推進事業の実施について
    - ・感染症の疑いがある者が登録事業所に殺到し、検査キットの不足により登録事業者が予約受付停止を余儀なくされないよう、道が責任を持ち検討し、事業を推進することが重要との考えに係る所見
  - 6 万引き対策の強化について
    - ・万引き対策の強化に対する今後の具体的な取組

## 7 ヒグマ対策について

- ・2022年度ヒグマ対策関連事業におけるヒグマとの共存を見据えた具体的な取組及び各市町村との連携
- ・ヒグマとの共存には、地域の一般市民に対して共存への理解のための普及活動を行うことが必要であり、それが道民自身を守る対策にるとの考えに係る所見

## 8 災害時の備えについて

- ・積雪寒冷地である本道の各市町村に対する災害時の業務継続に向けた非常用電源の確保等への取組支援及び民間企業に対する事業継続への支援についての所見

## 9 学校図書館の充実について

- ・第6次学校図書館図書整備等5か年計画の目標達成に向けた具体的な取組
- ・子どもたちの学びの向上に資するために、学校規模にかかわらず、専門的な知識を有する正規採用の学校司書職員及び専任司書教諭を配置すべきとの考えに対する所見

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、環境生活部長、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、経済部観光振興監及び教育長から答弁。同議員から再質問があって、知事から答弁。同議員から発言があって、議事進行の都合により午後2時33分休憩。午後3時1分再開し、



### 浅野 貴博議員（自民）から、

#### 1 積極的疫学調査の重点化によって生じた影響について

- ・オミクロンにより過去最大の感染拡大局面となったことを受け、従来の積極的疫学調査の対象を感染者本人、家族等の同居者に限定、感染者本人が濃厚接触者に連絡するなどの重点化措置を講じたことについて、重点化措置の継続の見込み、新たに生じた課題の認識及び今後の対応

等について質問があり、知事、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、農政部長、水産林務部長、建設部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時43分休憩。午後3時46分再開し、

#### 2 経済安全保障について

- ・閣議決定された経済安全保障の在り方に関する現時点の認識及び法案の成立を見据えた今後の対応

#### 3 本道農業の持続的発展について

- ・食料安全保障の認識と、本道農業を国の食料安全保障を牽引する産業として発展させることに係る認識及び今後の取組
- ・本道農業におけるコスト上昇の現状把握及び

## 今後の対応

- ・具体的な数字を示した発信が道民の需要喚起に効果的だとの考えに対する所見及び米と生乳の需要減少への今後の対応

- ・新規就農者増加に向けた市町村との連携

## 4 密漁対策について

- ・罰則適用の現状と効果に係る認識及び来年度の密漁防止の取組

## 5 ゼロカーボン北海道について

- ・ゼロカーボン北海道の実現を本道経済の発展に結びつける方法及びゼロカーボン推進局が担う役割と推進に向けた取組
- ・北海道インフラゼロカーボン試行工事の実施に当たっては、道内建設業に対して丁寧な説明を行い、理解を得て、ゼロカーボン工事の試行から十分な効果を得られる取組にすべきとの考えに係る認識及び今後の対応

## 6 難病対策について

- ・難病手帳の作成・配布、患者と家族に寄り添う支援の継続に対する今後の取組

## 7 本道教育の課題について

- ・地域連携特例校立地自治体に、高校再編整備留保の適用期間を5年間とする案を提示したことに対する現状認識及び高校存続に向けた取組を行う地域連携特例校と立地自治体への支援
- ・道立学校廃校舎や未利用地の利活用のホームページ発信に対するこれまでの反応及び具体的な成果
- ・遊休教育施設の財産管理者として、具体的な対策を講じるべきとの考えに対する認識と今後の対応

等について質問があり、知事、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、農政部長、水産林務部長、建設部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時43分休憩。午後3時46分再開し、



### 池端 英昭議員（民主）から、

#### 1 北海道オルレについて

- ・魅力ある体験型ツーリズムを含めたオルレの構築やルートマップ化を図るなど、観光振興に向けた積極的な取組

#### 2 半農半Xについて

- ・働き方の一つとして注目を浴びている半農半Xの捉え方及び推進に係る所見

- 3 道産食品需要拡大について
  - ・有機農産物の販売可能量の情報公開や、ネット販売による販路拡大などを旨とした生産者向けのセミナー開催に加え、農水省のオーガニックビレッジ事業による学校給食への活用などを積極的に進め、有機農産物も含めた道産食品の需要拡大に取り組むべきとの考えに係る所見
- 4 生乳廃棄問題について
  - ・加工品の生産体制の増強など、乳牛の頭数を減らさず廃棄を回避できる抜本的な対策が必要との考えに係る所見
- 5 水田活用の直接支払交付金について
  - ・現状や課題を踏まえ、地域の実情に合った制度転換や激変緩和が必要との考えに係る所見及び農業者の切実な声への対応
- 6 マイクログリッドについて
  - ・石狩市が、地域内電力を賄う小規模送電網などの事業を想定して、日本総合研究所と脱炭素の取組を包括的に推進するための連携協定を締結したことに係る所見
- 7 DXの地方支援について
  - ・地方自治体のDX化への具体的な支援
- 8 新幹線発生土について
  - ・新幹線工事に伴う発生土の対応について、石狩湾新港西地区の海面処分用地が判定仮置場候補地として検討されていることに対する認識
- 9 除排雪体制について
  - ・今回の豪雪で課題となったダンプの手配、雪堆積場の追加及び運用期間の柔軟な対応について、除排雪に対する市町村への支援及び今後の取組
- 10 ドローンの活用促進について
  - ・地域に有用なドローンの活用に係る産官学などと連携した積極的な取組
- 11 登山届の電子申請導入について
  - ・登山届のアプリ導入は、入山者の把握や、遭難発生時のGPS追跡による地点特定に極めて効果的であるとの考えに係る所見
- 12 信号機・横断歩道等の整備について
  - ・住民から設置要望が出されている危険箇所にも対応できるような安全施設が必要との考えに対する所見

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、総合政策部

次世代社会戦略監、総合政策部交通企画監、経済部長、経済部観光振興監、農政部長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があって、知事から答弁。同議員から再々質問があって、知事から答弁。議事進行の都合により午後4時48分散会。

○3月10日(木) 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第72号及び第75号ないし第95号**を議題とし、**一般質問**を継続。



**滝口 直人議員(自民)**から、

- 1 日本海溝、千島海溝沿いの巨大地震対策について
  - ・ハード、ソフトの両面にわたりこれまで道が提案した防災対策について、国が取りまとめるワーキンググループ報告への反映状況
  - ・想定できない災害に備え、自治体や住民に対して避難体制の準備や避難行動を促すための取組
- 2 地域包括ケアシステムについて
  - ・国が待遇改善により人材確保を進めている中での介護保険事業の人材確保に向けた取組
- 3 北海道がん対策推進計画について
  - ・北海道のがん死亡率が全国より高い水準であることの受け止め及び死亡率改善に向けた実効性ある対策への取組
  - ・がんゲノム医療の周知への取組
  - ・国が指定したがんゲノム医療中核拠点病院や連携病院の所在地以外の地域におけるがんゲノム医療提供体制の取組
- 4 道産ワインについて
  - ・ワイン産業を支援するプラットフォームの構築及び北海道が世界的に通用するワイン産地として持続的に発展するための取組
  - ・ワイナリーを核としたワインツーリズムを観光資源とすることに関する所見
  - ・地元のワインや食、地域資源を組み合わせた地域づくりの取組
- 5 製造業等に係る企業誘致について
  - ・製造業のサプライチェーン再編に向けた生産拠点の誘致への取組
  - ・本道経済の再生と地域産業の活性化の推進に向け、市町村と連携して実施する道外企業の設備投資などの情報に基づく企業訪問等への取組

- 6 北海道いじめの防止等に関する条例について
  - ・条例やいじめ防止基本方針に基づき、学校がいじめを積極的に認知し、迅速に対応することを徹底する必要があるとの考えに対する所見
- 7 財務会計トータルシステムの見直しについて
  - ・財務会計トータルシステムの見直しに係る今後の進め方

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、経済部産業振興監及び教育長から答弁。議事進行の都合により午前10時39分休憩。午前10時42分再開し、



**藤川 雅司議員（民主）** から、

- 1 18歳成年について
  - ・18歳成年を意識した若者向けの消費者契約の基本に係る啓発方法
  - ・18歳成年を意識した消費者契約のトラブルに係るサポート体制
- ・18歳成年に向けた高校における消費者教育及び国の副教材「社会への扉」の活用方法と今後の取組
- 2 人権施策について
  - ・人権施策推進基本方針の見直しを踏まえた各部署における施策の点検結果について、特徴的な施策の見直し内容及び今後の施策への反映方法
  - ・ネットによる誹謗中傷などの被害対策及びネットリテラシーの啓発方法
  - ・高校の校則の見直しについて、人権の視点から見直された点及び見直し作業における生徒や保護者、地域の意見聴取の有無
- 3 地域活性化と高校について
  - ・市町村、小中学校、地元企業、協力校、教育局、総合振興局を構成員とした、地域の活性化と高校の在り方についての協議の場の設置に係るこれまでの取組と今後の取組
  - ・高校の在り方は、地域創生に深く関係するため、知事部局においても有識者から意見を伺うなどして議論すべき問題であるとの考えに係る所見
- 4 知事公邸・近代美術館エリアの在り方について
  - ・エリア一帯がより魅力ある場所となるよう、知事部局と道教委が歩調を合わせ、スケジュール感を持ち検討すべきとの考えに係る所見

- 5 森林環境譲与税の活用による森林吸収源対策について

- ・森林環境譲与税を積極的に活用して、CO<sub>2</sub>吸収源を増やしていくよう市町村への助言や支援を行うべきとの考えに係る所見
- ・地域の植林面積の例示や、住宅に木材を使用した場合のCO<sub>2</sub>吸収量などについて、具体的に分かりやすく明示してはどうかに係る所見

- 6 児童相談所の機能強化について

- ・児童相談所の体制強化や虐待の未然防止に向けた相談機能の充実をさらに進めていくための今後の取組
- ・児童相談所で措置される児童の権利擁護の取組

等について質問があり、知事、環境生活部長、保健福祉部少子高齢化対策監、水産林務部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午前11時21分休憩。午後1時1分再開し、



**清水 拓也議員（自民）** から、

- 1 宇宙産業振興について
  - ・大樹町における宇宙港整備の取組に対する支援
  - ・他産業への波及効果のみならず、観光や企業誘致などに大きな効果が期待される宇宙産業の振興への取組
- 2 企業誘致について
  - ・新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に広がったテレワークなどの新しい働き方について、時期を逸することなく、サテライトオフィスの誘致を効果的に進めるための取組
  - ・市町村と連携し、本道の優位性を生かした企業誘致の積極的な取組
- 3 医療的ケア児に対する支援について
  - ・地域での相談体制の確保に向けた取組及び課題の認識
  - ・医療的ケア児の家族会などの団体と連携した地域における相談体制の充実に係る認識
  - ・昨年度、医療的ケア児の受入れを実施した地域の保育所が13市町村にとどまっている現状の認識及び今後の取組
  - ・受け入れ体制が整っていない学校に対する今後の体制整備への取組
- 4 新たなスポーツ振興施策について

- ・本道のスポーツ振興への今後の取組
- 5 道産水産物の消費拡大について
  - ・道内ではなじみが薄い魚種の増加や消費動向の変化などを前向きに捉え、水産加工品も含めた道産水産物の差別化、高付加価値化、競争力の強化及び消費拡大に取り組むべきとの考えに係る所見
- 6 赤潮対策について
  - ・赤潮発生によるウニの種苗確保への対応及びウニの種苗放流に対する今後の取組
- 7 持続可能な畑作農業について
  - ・人口減少や食の多様化などに加え、コロナ禍により小麦や砂糖の在庫が増加するなど農産物の需要動向が大きく変化している状況に係る認識及び今後の畑作農業の在り方に係る所見
  - ・本道の基幹作物であるてん菜生産を停滞させないための砂糖の消費拡大への取組
- 8 北海道の和牛振興について
  - ・北海道和牛の振興についての今後の取組
  - ・牛肉の輸出拡大に向けた認識及び今後の輸出拡大への取組

等について質問があり、知事、経済部長、農政部長、水産林務部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後1時43分休憩。午後1時46分再開し、



**白川 祥二議員（結志）** から、

- 1 財政健全化について
  - ・コロナ後を見据えた新たな政策展開について、関係部が共同して取り組むことや、類似事業、不要不急事業の見直しを行うことにより財政健全化を進めるべきとの考えに係る所見
- 2 地域の保健体制の充実・強化について
  - ・コロナ終息後も新たな感染症が流行するおそれが常にあることから、脆弱な保健所体制の充実強化を急ぐべきとの考えに係る所見
- 3 公共施設の老朽化について
  - ・道有施設を耐用年数で一律に建て替えるよりも、部分改修などで対応した上で建て替えると費用を削減できるという外部監査による試算に対する認識及び今後も厳しい財政状況が続くと見込まれる中での対応に係る所見
- 4 道の事業再委託について
  - ・道の事業再委託のルールが曖昧として、明確な規則の整備を求めた包括外部監査人の指摘への対応
- 5 J R 北海道の路線維持問題について
  - ・全国23知事が昨年の夏に行った鉄道網を守る緊急提言を受けた、公共交通の在り方の方向性をまとめるとした国土交通省の動きに係る所見
  - ・コロナ禍もあって、道内の全ての路線が赤字となっている鉄道網に対する認識及び持続的な鉄道網の確立に向けた今後の取組
- 6 農業政策について
  - ・農畜産物の過剰在庫を余儀なくされている現状を踏まえ、今回発効のRCEPを含め、大型貿易協定発効後における国内農業への影響を総合的、複合的に検証する必要があるとの考えに係る所見
  - ・農林水産省が示した水田活用の直接支払交付金の見直しについて、今後5年間で起こり得る地域での問題や課題を共有するとともに、地域事情を十二分に考慮し、地域の特色を生かした農業が振興できる制度にする必要があるとの考えに係る所見
  - ・水田活用の直接支払交付金が前提で策定されている人・農地プランについて、今回の水田活用の見直しは既に取り組んでいる、または完了している、今後策定する市町村に重大な影響が及ぶ可能性があることに対する認識
  - ・人口減少や食の多様化、米の国内消費量が毎年減少し続けていることに伴う過剰米について、国が主体的に対策を施すべきとの考えに係る所見
- 7 不感農地対策について
  - ・優良農地の一部で携帯が通じない、いわゆる不感農地の実態に対する認識及び今後の対応
- 8 教育予算の確保について
  - ・北海道の未来を見据え、昨今のSociety 5.0などによる産業構造の変化やICT技術の進展による社会システム、働き方などの急激な変化に対応していかななくてはならないなど、今こそ教育への積極的な投資が必要との考えに対する認識
- 9 教員不足について
  - ・教員不足について、長時間労働と教員の成り手不足という負の連鎖を断ち切り、教育の充実強化を図っていくことに係る所見

## 10 特殊詐欺への取組について

- ・道民の体感治安を確保する上で、特殊詐欺への対策は引き続き重要な課題との考えに係る所見

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総合政策部交通企画監、保健福祉部長、農政部長、建設部建築企画監、会計管理者兼出納局長、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後2時39分休憩。午後3時11分再開し、



### 千葉 英也議員（自民）から、

#### 1 道財政について

- ・財政調整基金は、予期せぬ歳出の増加や経済事情の変動などによる大幅な歳入の減少といった不測の事態への対応を

はじめ、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うため、今後とも可能な限りの基金の確保に努めなければならないとの考えに対する見解

- ・道税の確保に向けた企業誘致の取組について、税収確保や雇用確保の視点からも、輸出産業も含めた企業誘致は大変重要との考えに対する見解

#### 2 カーボンニュートラルに向けたエネルギー政策について

- ・国のカーボンニュートラル宣言に係る所見及び今後の産業・社会構造の転換やゼロカーボン北海道を目指すための考え方

- ・魅力のあるゼロカーボン北海道のブランド構築を官民挙げて早急に構築し、環境投資の拡大を促す新産業の開発に力を入れなければならないとの考えに対する見解

- ・ゼロカーボン北海道を目指す上で、未利用熱エネルギーの有効活用にも力を入れるべきとの考えに対する見解

- ・道民にゼロカーボンの実践に取り組んでもらうための意識変容とライフスタイルの転換に向けた取組及びCO<sub>2</sub>を出さないことに対する経済的なインセンティブをつくり出す仕組みも検討する必要があるとの考えに係る所見

#### 3 知事の政治姿勢について

- ・道民の先頭に立ち、自らの言葉で北海道の未来について道民一人一人に語りかけ、希望を与え、共に行動をしていくべきとの考えに係る所見

## る所見

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、環境生活部ゼロカーボン推進監及び経済部長から答弁。議事進行の都合により午後3時38分休憩。午後3時41分再開し、



### 志賀谷 隆議員（公明）から、

#### 1 医療問題について

- ・自宅療養者支援について、重症化リスクの高い方々が自宅療養となり、体調が急変した場合においても対応できる医

療体制の充実が必要との考えに係る所見

- ・今後のさらなる感染拡大を見据えた保健所職員のさらなる増員や通常業務も含めた業務の効率化の徹底的など、地域の健康危機管理を担う保健所体制を一層強化すべきとの考えに係る所見

- ・ドクターヘリや消防防災ヘリ、受入れ側の医療機関との連携など、救急搬送体制の充実に向けた今後の取組

- ・本道の災害医療の課題に対する認識及び今後の対応

- ・札幌医科大学において、災害時に医療活動を行うDMATの派遣や災害時対応に向けた研修、感染症対応に当たる人材育成など、災害医療感染症支援センター（仮称）が必要との考えに係る所見

#### 2 北海道創生総合戦略について

- ・コロナ禍における地域づくりの現状に対する認識及びポストコロナを見据えた振興局の機能強化に向けた取組

#### 3 縄文世界文化遺産について

- ・世界に認められた縄文遺跡群の価値を積極的に活用し、地域のにぎわいを創出していくために、情報発信や人材育成などを図る拠点機能の整備に向けた検討を進めていくべきとの考えに係る所見

#### 4 農業問題について

- ・北海道米の消費拡大について、米価を安定させ、生産者の不安を払拭するためには、一層の消費拡大を進め、在庫を減らしていくことが重要との考えに係る所見

- ・北海道有機農業推進計画（第4期）（案）での北海道農業における有機農業の位置づけ及び今後の有機農業の推進に係る所見

#### 5 水産物の漁獲量減少対策について

- ・これまでの主要魚種の生産減少と、これまであまり取れなかった魚種の増加といった変化に対して講じる対策
- 6 ホッカイドウ競馬の振興等について
    - ・門別競馬場における今後の施設整備の方向性に係る所見
    - ・軽種馬産業が今後とも持続的に発展していくためには、競馬場や軽種馬産地を支える外国人労働者が生活しやすく、働きやすい環境づくりが必要との考えに係る所見
    - ・ホッカイドウ競馬がこれからも長きにわたり競馬ファンから愛されるための今後の振興に係る所見
  - 7 道道の維持管理体制について
    - ・長大な道道を今後とも健全な状態で維持管理していくため、将来に向けた効率的な道路維持管理の体制整備などについて、在り方を検討すべきとの考えに係る所見

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、保健福祉部長、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、農政部長、水産林務部長及び建設部長から答弁。議事進行の都合により午後4時22分散会。

○3月11日（金） 午前10時1分開議、諸般の報告の後、議長から、議場において東日本大震災による犠牲者に対し黙禱する旨の発言があり、全員起立の上黙禱。

**日程第1 議案第1号ないし第72号及び第75号ないし第95号**を議題とし、**一般質問**を継続。



**大越 農子議員（自民）**から、

- 1 国土強靱化について
  - ・大規模自然災害への備えについて、本道の強靱化を早急に進めるためにこの1年間行ってきた取組及び今後の本道の強靱化に向けた取組
- 2 雪害対策について
  - ・今季の冬に発生した降雪による都市機能の麻痺と交通障害などの事態に対する認識
  - ・雪解けの時期を迎え、今すぐ迫っている雪崩の危険から道民を守るための、札幌市ほか関係機関との連携や情報収集、発信などの雪害対策に対する取組
  - ・雪捨場自体が満杯となっているところが多く、作業スペースに深刻な影響が生じている状況

- を踏まえた札幌市へのこれまでの支援及び今後札幌市をはじめとする市町村と連携した雪害対策に対する取組
- 3 まんが・アニメの推進について
    - ・漫画・アニメ文化の振興を図るために創設した北のまんが大賞の充実に向けた取組
  - 4 道産木材の利用促進について
    - ・道庁1階ロビーの木質化に向けた取組及び完成後はその魅力を積極的に発信するなど、民間施設にも波及させていく必要があるとの考えに係る所見
  - 5 道営住宅の利活用について
    - ・道営住宅の空き住戸を地域振興や地域の実情に応じた課題解決に役立てていくべきとの考えに係る所見
  - 6 食品ロス削減に向けた食育の取組について
    - ・官民を挙げた消費拡大の運動など、食品ロス削減に向けた食育に対する今後の取組
  - 7 新規就農者への支援について
    - ・本道農業が持続的に発展していくための新規就農者の確保に向けて、新規就農者の受入れ状況を分析するとともに、対象者を明確にした対策を講じることが必要との考えに対する認識
    - ・本道農業の将来を支える農家後継者や新規参入者などを確保するための今後の新規就農者対策に係る所見
  - 8 自殺対策について
    - ・今年度から実施しているSNSを活用した相談事業について、相談が多い年代や相談が多い内容などの相談実施結果に対する受け止め
    - ・社会全体の自殺リスクを低下させるためのゲートキーパーの養成をはじめ、地域ごとの自殺対策への取組を促進するなどの対策を強化する必要があるとの考えに係る所見
  - 9 女性活躍推進について
    - ・女性が自己肯定感を持って自分の望む道を選択し、自立し活躍できる北海道の実現に向けた課題に対する認識及び女性活躍の推進に向けた今後の取組
    - ・女性がキャリアアップや安定した雇用に移行することを支援するために行ってきた取組
    - ・本道の男性の家事関連時間や育児休業取得率に対する全国と比較した状況及び課題に対する認識

- ・子育て世帯の育児休業取得率の改善や働き方改革に向けた取組
- ・道庁の女性管理職の登用が進んでいないことと、道の女性活躍の必要性に対する認識及び道庁の女性活躍推進に向けた今後の取組
- ・国家公務員において義務付けられている管理職によるプッシュ型の男性育休取得の効果を正しく評価し、道の男性職員の育児休業取得に向けた取組を強化することが求められるとの考えに係る所見

#### 10 特殊詐欺の防止について

- ・道内の特殊詐欺の被害について、件数が少なくなつたのに被害額が多くなつた理由及び近年の被害の傾向
- ・特殊詐欺の防止に向け、道民へより効果的な情報を発信するための取組

#### 11 国際情勢について

- ・ロシア軍によるウクライナへの侵攻について、避難を余儀なくされたウクライナの方々に対する認識及び今後の対応

等について質問があり、知事、総務部職員監、保健福祉部長、経済部長、農政部長、農政部食の安全推進監、建設部長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午前10時55分休憩。午前10時57分再開し、



**広田 まゆみ議員（民主）** から、

#### 1 子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）について

- ・持続可能な開発目標、いわゆるSDGsについて、SD—持続可能な発展の在り方として

描く北海道の未来像

- ・ユニセフ日本などとも連携し、子どもにやさしいまちづくり事業の概念の浸透や、道内における参加自治体を増やしていくことに係る所見
  - ・子どもや高校生による地域政策への参画に係る道内事例の把握方法及び子どもや高校生などの道政参画への機会の保障に係る所見
  - ・道内各地域における政策への高校生の参画機会の創出に係る所見
- #### 2 森と自然を活用した保育、幼児教育、子育ての推進について
- ・子どもの精神的幸福度について、低さが課題とされた子どもの自己効力感や自己信頼感を高めるために必要な調査研究の実施の有無及び

実施してきた場合の子どもたちの自己信頼感や効力感が低い要因の分析結果並びに環境改善のための努力と取組の実効性に係る所見

- ・子どもの自己信頼感や自己肯定感を高める環境を保障する取組を北海道総合教育大綱の最優先課題に掲げ、ライフステージの各段階や全道のあらゆる地域において、子どもの学びや自然体験などに、経済格差、地域間格差を生じさせない支援の在り方を検討するべきとの考えに係る所見

- ・道内の民間幼稚園において、全国的にも注目される外遊び環境づくりに取り組んでいる園に対する評価及び民間幼稚園における森や自然の中での遊びや子育て環境づくりを積極的に支援すべきとの考えに対する見解

- ・森や自然の中での保育の重要性などに対する認識及び自然保育、野外保育などを推進する他府県の状況に対する認識

- ・道内の森や自然を活用した保育現場などの現状や課題の把握方法

- ・北海道の強みを生かし得る森や自然を活用した保育の支援や推進の検討に向けて、これまで消極的であったことに対する課題の内容及び今後の取組

- ・木育発祥の地である北海道における森のようちえんなどの活動実態や、それぞれの団体が抱えている課題の把握方法及び木育発祥の地・北海道として恥ずかしくない支援策を検討するべきとの考えに対する見解

#### 3 有機農業推進計画と学校給食などについて

- ・新しい有機農業推進計画、みどりの北海道オーガニックアクションプランについて、実際に草取りや農作業体験をした消費者を増やすことこそが、新たな流通や有機農業を支援するネットワークをつくる助けにもなるとの考えに対する見解

- ・学校給食のオーガニック化について、農政、教育の両サイドから、学校給食における有機農産品の活用などに積極的に取り組むべきとの考えに係る所見

- ・公共施設や学校の除草剤、殺虫剤などの農薬散布への対応及び学校現場における農薬散布の状況把握に係る所見

#### 4 北海道の障がい者雇用などの現状と公共発注の在り方について

- ・障がい者雇用に積極的な姿勢を明確にするために、障がい者雇用に積極的であり、法を遵守する企業を発注対象とすべきとの考えに対する見解
  - ・障がい者就労施設などからの物品等の調達実績の推移及び課題と今後の取組
  - ・障がい者就労支援企業認証制度における認証企業数の推移とこれまでの取組の課題及びその課題の解決に向けた今後の取組
- 5 木質バイオマスの熱利用の促進について
- ・北海道における木質チップのうち、製紙利用とエネルギー利用の内訳
  - ・木質バイオマス発電について、2030年以降順次終了する予定であるFITの影響に対する認識及び木材産業の持続可能な発展のための対応
  - ・バイオマスエネルギー熱利用の具体的な支援策における、森林づくり基本計画の関連指標の算出根拠に係る所見
  - ・従来の林業・木材産業の枠を超えた森林関連産業とするための、官民を挙げた地域における木質バイオマスの熱利用を進める体制づくりに係る所見
  - ・木質バイオマスの熱利用に参入する中小・小規模企業への支援に係る所見
- 6 官民連携と協働推進の在り方について
- ・政策立案型の協働推進のための職員の意識づくりに係る所見及び官民様々な関係者との対話を深めるための方法
  - ・地域の課題解決に取り組む協働推進のネットワークの構築など、協働推進に向けた地域の人材づくりに対する取組
  - ・ほっかいどう応援団会議の今後の在り方について、新しい価値観を北海道の未来にもたらす先進的な企業、団体などと協働推進協定を結ぶための視点
  - ・シングルマザーへの支援や、不登校や若い人たちへの支援など、当事者支援を行っている団体から直接学ぶ場を確保する仕組みが重要との考えに係る所見

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総合政策部地域振興監、保健福祉部長、保健福祉部少子高齢化対策監、経済部長、農政部長、農政部食の安全推進監、水産林務部長、会計管理者兼出納局長及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。議事進行の都合により午後

零時11分休憩。午後1時16分再開し、



**道見 泰憲議員（自民）** から、

1 行財政改革について

- ・稼ぐ企業局となり得るための挑戦的な取組に対する進捗状況
- ・企業局の強みと弱みに対する

自覚及び分析

- ・企業局の長期借入金等の返済見通し
- ・企業局が電気事業でつくり出している新エネルギーについて、道庁関係の全ての施設を新エネルギーによって運営させることができるのは、ゼロカーボン北海道を掲げる私たちにとって、あるべき姿となるとの考えに対する見解
- ・現経営戦略について、新エネルギーの要素を含んだものに直ちに改定していくことに係る所見
- ・経営戦略室の新設について、道庁全体の財政やエネルギー政策に資するものであることから、知事部局からも人材を集めた全庁横断的な組織づくりを検討すべきとの考えに対する見解
- ・企業局の収益を活用することにより、財政改革を一層加速すべきとの考えに対する見解

2 丘珠空港について

- ・国との間で進められている札幌丘珠空港の整備計画及び現時点における到達度合いの見込み
- ・札幌丘珠空港の整備計画について、2030年の札幌オリパラの開催を目指した国との調整の範囲及び札幌市との役割分担に対する自覚
- ・北海道の活力につなげるために期待する札幌丘珠空港の仕掛けを札幌市に示すことが必要との考えに対する見解

3 アドベンチャートラベル・ワールドサミットについて

- ・バーチャル開催となった9月のアドベンチャートラベル・ワールドサミット2021の総括の実施及び公開についての予定
- ・アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023のより効果の高い開催に対する見解
- ・アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023の参加者に提供される道内エクスカージョンについて、プレ・サミット・アドベンチ

ヤー15コースとデイ・オブ・アドベンチャー29コースは、アドベンチャートラベル・ワールドサミット2021のメニューの継続となるのか否か及び44コースの概要と道内での選定経緯、コースの企画者に係る所見

- ・地域による観光コンテンツの発掘に対する見解及び決意

等について質問があり、知事、公営企業管理者、総合政策部交通企画監及び経済部観光振興監から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午後2時1分休憩。午後2時4分再開し、



**船橋 賢二議員（自民）** から、

1 防災対策等について

- ・日本海溝・千島海溝沿いの地震・津波対策について、巨大地震の被害を軽減するための対策に係る所見

- ・道が認定してきた地域の防災リーダーとしての役割を担う地域防災マスターの今後の活用に係る所見

- ・東日本大震災など、自然災害の発生を契機として創設された地区防災計画制度について、地区ごとの特性を踏まえた地区防災計画の策定促進に向けた考え及び今後の取組

- ・新年度から民間と道警察とで共同運航される消防防災ヘリの効果に係る所見

- ・航空搬送拠点臨時医療施設、いわゆるSCUについて、優先的に整備された空港以外のその他の道内空港との協議の状況及び不測の事態に備えるための今後の取組

- ・火山噴火を想定した防災対策への取組

- ・災害時要配慮者に対する支援体制を確立するための官民協働による支援ネットワークの構築と、高齢者などの福祉ニーズに対応する災害派遣福祉チーム、いわゆるDWA Tについて、被災地で北海道DWA Tが有効で効果的に活動してもらうための今後の取組

2 エゾシカ捕獲対策について

- ・捕獲対策の一つである指定管理鳥獣捕獲等事業の実施により、これまで得られた成果及び成果の今後の活用

- ・北海道エゾシカ管理計画の目標達成に向けた今後の取組

- ・エゾシカの捕獲対策に係る財源の確保に向けた今後の取組

3 公立高等学校の在り方について

- ・少子化等の状況を踏まえ、一定の学校規模を保つための高校の再編など、適切な高校配置の在り方などに係る所見

- ・高校の配置が地域に与える影響、高校に対する地域の期待や取組なども十分に勘案して適切な高校配置に向けて行ったこれまでの取組に対する検証及び今後の学校配置計画に対する取組

- ・道教委が意図する地域別検討協議会に係る所見及びこれまでの成果

- ・高校の再編によりこれまで募集停止を判断してきた基準及び今後の考え方

- ・令和5年度の募集停止を決定したとされる留辺蘂高等学校の取組の把握と評価及び北海道の将来を見据えた北海道らしい公立高等学校のあるべき姿に対する認識

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、環境生活部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、教育長から答弁。議事進行の都合により午後2時53分休憩。午後3時16分再開し、



**真下 紀子議員（共産）** から、

1 知事の政治姿勢について

- ・ロシアによるウクライナへの侵略に対して、反対の声を明確に意思表示するとともに、抗議と即時攻撃停止や部隊の撤収を働きかけるべきとの考えに対する見解

- ・ウクライナ危機に乗じて核保有の議論を行おうとすること自体、非核三原則を国是とする我が国の根本原則を踏みにじる重大な発言との考えに対する認識

- ・知事公約について、鳴り物入りでスタートしたほっかいどう応援団会議の実績が人口減少をはじめとする諸課題にもたらしたプラスの効果に係る所見

- ・2022年度予算案と重点政策について、道独自の財政支援なしに、道民の命と暮らしを守り、感染症に強い地域づくりができるとの判断に至った根拠及び国の予算の枠組みにとどまらず、道の独自施策によって前に進めるべきとの考えに対する見解

2 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・まん延防止等重点措置の延長について、飲食店に特化した対策を継続することの効果に対する根拠の説明に係る所見

- ・感染が広がっているのは、高齢者施設、保育園や学校、医療機関、家庭であるため、飲食店中心の対策では限界があることから実態に合わせた対策に練り直しが必要との考えに対する見解
  - ・地域医療構想による病床削減を進めるのではなく、医療介護総合確保基金を財源に、余力を持って、医療体制、医療現場を支えるために削減見直しの方向へ転換すべきとの考えに係る所見
  - ・公衆衛生のとりでである保健所の充実強化について、常勤職員の増員を示し、レスパイト対策も取るべきとの考えに係る所見
- 3 気候危機対策について
- ・地球温暖化対策推進計画によるCO<sub>2</sub>削減目標の設定根拠及び省エネ・新エネ促進行動計画に伴うCO<sub>2</sub>削減効果
  - ・日本の脱炭素化をリードする野心的なCO<sub>2</sub>削減目標として60%削減を掲げている長野県の高い目標との違いに対する受け止め及び脱炭素化をリードすべき本道の役割と果たす責任に係る所見
  - ・再生可能エネルギーの宝庫である本道の地球温暖化対策について、地方公共団体の実行計画・区域施策編の策定が進まない理由及び今後のサポートに係る所見
  - ・CO<sub>2</sub>排出の見える化のために今予算案に盛り込まれたアプリ開発について、利用者数の目標や効果の検証の考え、CO<sub>2</sub>削減の意識づけ、インセンティブの仕組みに係る所見
- 4 北海道新幹線等について
- ・北海道新幹線の札幌延伸について、道の事業費負担に対する今後の見込みに対する考え方及びその額
  - ・道の事業負担金の範囲の考え方や基準、詳細な内容の説明などの情報開示へのこれまでの対応及び地方負担金の使途や対象範囲の見直しの国への要求に係る所見
- 5 ジェンダー平等の推進について
- ・ジェンダー平等の取組について、あらゆる施策にジェンダー平等の視点を持つことに対する新年度の取組及び得ようとしている成果に係る所見
  - ・道庁における女性職員の活躍と登用をさらに推進していく目標について、新年度の目標達成に向けた取組
- 6 女性の健康支援等について
- ・衛生用品であるトイレットペーパーについて、道立高校におけるトイレットペーパーは生徒負担だとの見解を示した翌年に公費による設置が実現したことに対する変更に至った経過と理由
  - ・生命の誕生にとって不可欠な公衆衛生用品である生理用品の道立学校や道立施設などへの設置状況及び道が率先して、道立学校や道立施設などのトイレに生理用品を公費で設置することに係る所見
- 7 痴漢・盗撮被害撲滅の取組について
- ・被害に遭っても声を上げにくい痴漢や、気づきにくい盗撮に対する認識及びこれまで行ってきた対策
  - ・道警察が把握している痴漢・盗撮被害の実態及び他府県の動向及び撲滅に向けた公共交通機関との連携も含めた今後の取組
- 8 難聴者支援について
- ・高齢化が早い速度で進む本道において、難聴者支援施策一聞こえのバリアフリーは不可欠であり、補聴器の早期からの使用は、日常生活の質の向上を図る上で有効との考えに対する認識
  - ・自治体による補聴器購入補助事業の意義に係る所見及び新年度予算案に高齢者補聴器購入補助制度の事業導入に向けた検討をすべきとの考えに対する見解
- 9 農業政策について
- ・水田活用の直接支払交付金の見直しに対する影響の把握及び今後の対応
- 10 指定管理者制度について
- ・ネイパルの指定管理者選定において、道教委の複数の職員が特定事業者を支援した悪質な不正の発覚に対する受け止め
  - ・当初の不正発覚における調査を道教委の顧問弁護士に依頼した選定基準と選任した理由及び今後新たに設置する第三者委員会における当初調査との選定基準と目的等の違い
  - ・ネイパルの指定管理者の選定委員について、選定の過程で公正、公平、透明性を確保するための基準及び利害関係者が含まれる理由並びに道営住宅の選定も含めた同様の事例の有

無

- ・指定管理者への天下りの状況
- ・15年が経過した指定管理者制度について、指定管理者の指定の動向及び負担金額の推移
- ・指定管理者制度を今後改善するため、担当部局任せではなく、公共性に鑑みた客観的かつ総合的な検証をすることに係る所見

11 福島第一原発汚染水の海洋放出等について

- ・放射能汚染水に対する認識及び海洋放出は、被災地も含め、国民の理解を得られていると認識しているのかということに係る所見
- ・被災地では海洋放出を認めていない中、一方的に安全を強調したチラシが国から直接学校へ配付されたことを適切と判断した理由

12 教育課題について

- ・教職員の働き方改革に伴う労働実態の正確な把握について、時間外の上限を超えないために、特に打刻後の見えない残業が多くなっている実態の把握及び働き方改革の目的が果たされていると胸を張れるのかということに係る所見
- ・道庁のデジタル化として、全職員にスマホ1万6000台を支給する一方、教育庁においては、高校の新1年生に必要となるコンピューター端末には自己負担を求めていることについて、デジタル化における公平性に対する見解
- ・コンピューター端末の保護者負担について、コロナ下でオンライン授業を進める本道において、子どもの権利に照らすと、公平性に反し、教育を受ける権利を保障しているとは言えないとの考えに対する見解
- ・コンピューター端末を公費負担できる府県と、拒否する道教委の違い及び思い切って公費負担に踏み切るべきとの考えに対する見解

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部職員監、総合政策部次世代社会戦略監、総合政策部交通企画監、環境生活部長、環境生活部ゼロカーボン推進監、保健福祉部長、経済部長、農政部長、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があって、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があって、知事から答弁。質疑並びに質問を終結。

議長から、予算に関する案件について、本議会に46人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、関係案件を付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（46人）

寺島 信寿（公明）	小泉 真志（民主）
武田 浩光（民主）	滝口 直人（自民）
星 克明（自民）	宮下 准一（自民）
村田 光成（自民）	渡邊 靖司（自民）
浅野 貴博（自民）	内田 尊之（自民）
渕上 綾子（民主）	松本 将門（民主）
宮崎アカネ（民主）	宮川 潤（共産）
中野渡志穂（公明）	荒当 聖吾（公明）
新沼 透（結志）	小岩 均（民主）
菅原 和忠（民主）	中川 浩利（民主）
桐木 茂雄（自民）	佐藤 禎洋（自民）
清水 拓也（自民）	千葉 英也（自民）
丸岩 浩二（自民）	笠井 龍司（自民）
花崎 勝（自民）	三好 雅（自民）
吉川 隆雅（自民）	沖田 清志（民主）
松山 丈史（民主）	赤根 広介（結志）
佐藤 伸弥（結志）	安藤 邦夫（公明）
滝口 信喜（結志）	須田 靖子（民主）
高橋 亨（民主）	平出 陽子（民主）
富原 亮（自民）	八田 盛茂（自民）
角谷 隆司（自民）	中司 哲雄（自民）
藤沢 澄雄（自民）	大谷 亨（自民）
本間 勲（自民）	高橋 文明（自民）

議案第19号を少子・高齢社会対策特別委員会に、議案第42号を北方領土対策特別委員会に、それぞれ付託することについて異議なく決定し、残余の議案については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の常任委員会に付託。

**日程第2 会議案第1号**を議題とし、藤沢澄雄議員（自民）から会議案第1号に関する説明の後、会議案第1号を環境生活委員会に付託することを決定。

**日程第3 請願第24号ないし請願第26号**を議題とし、いずれも産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会に付託することに決定し、午後5時9分散会。

○3月14日（月） 午後4時1分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第75号ないし第89号**を議題とし、予算特別委員長から、委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

討論に入り、菊地葉子議員（共産）から、議案第79号及び第80号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第79号及び第80号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、議案第75号ないし第78号及び第81号ないし第89号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、いずれも異議なく原案可決。

各委員会付託議案等審査のため、3月15日から3月18日まで及び3月22日から3月23日までの本会議を休会することに決定し、午後4時12分散会。

**○3月24日（木）** 午後1時5分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第72号、第90号ないし第95号及び会議案第1号**を議題とし、予算特別委員長、少子・高齢社会対策特別委員長、農政副委員長、総務委員長、総合政策委員長、環境生活委員長、保健福祉副委員長、経済副委員長、建設委員長、北方領土対策特別委員長、水産林務副委員長、文教委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

須田靖子議員（民主）から、議案第1号については撤回し、組替えの上、再提出を求める動議に関する説明。

討論に入り、宮川潤議員（共産）から、議案第1号、第3号、第6号、第7号、第11号、第12号、第14号、第17号、第22号、第27号、第69号及び第90号ないし第95号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、北口雄幸議員（民主）ほか4人提出の動議を問題とし、起立採決の結果、起立少数により否決。

次に、議案第1号を問題とし、委員長報告（可決）のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、議案第3号、第6号、第7号、第11号、第12号、第14号、第17号、第22号、第27号、第69号及び第90号ないし第95号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、議案第2号、第4号、第5号、第8号な

いし第10号、第13号、第15号、第16号、第18号ないし第21号、第23号ないし第26号、第28号ないし第68号、第70号ないし第72号及び会議案第1号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて、いずれも異議なく原案可決。

**日程第2 議案第96号及び第97号**を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略。

採決に入り、議案第96号及び第97号を問題とし、いずれも異議なく同意議決。

**日程第3 会議案第2号**を議題とし、富原亮議員（自民）から会議案第2号に関する説明の後、委員会付託を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

**日程第4 意見案第1号ないし第5号**を議題とし、説明及び意見案第1号ないし第3号の委員会付託を省略し、討論に入り、北口雄幸議員（民主）及び菊地葉子議員（共産）から、意見案第1号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、意見案第1号を問題とし、起立採決の結果、起立多数により原案可決。

次に、意見案第2号ないし第5号を問題とし、いずれも異議なく原案可決。

閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに議会運営委員長、産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員長及び少子・高齢社会対策特別委員長から申出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、すべて議了し、午後2時29分閉会。

# 提出案件

## 第1回定例会において知事から提出のあった案件

### 議案

提出年月日	番号	件名	付託委員会	議決年月日	議事結果
4. 2. 25	1	令和4年度北海道一般会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	2	令和4年度北海道公債管理特別会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	3	令和4年度北海道国民健康保険事業特別会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	4	令和4年度北海道母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	5	令和4年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	6	令和4年度北海道苫小牧東部地域開発出資特別会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	7	令和4年度北海道石狩湾新港地域開発出資特別会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	8	令和4年度北海道就農支援資金貸付事業等特別会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	9	令和4年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	10	令和4年度北海道林業・木材産業改善資金貸付事業特別会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	11	令和4年度北海道営住宅事業特別会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	12	令和4年度北海道住宅供給公社経営健全化資金貸付事業特別会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	13	令和4年度北海道地方競馬特別会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	14	令和4年度北海道公共下水道事業会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	15	令和4年度北海道流域下水道事業会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	16	令和4年度北海道電気事業会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	17	令和4年度北海道工業用水道事業会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	18	令和4年度北海道病院事業会計予算	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	19	北海道ケアラー支援条例案	少子・高齢社会対策	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	20	畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律施行条例案	農政	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	21	北海道職員のサービスの宣誓条例及び北海道公安委員会及び方面公安委員会の委員並びに北海道地方警察職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例案	総務	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	22	北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例案	予算	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	23	北海道職員等の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	総務	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	24	北海道恩給条例等の一部を改正する条例案	総務	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	25	北海道総合政策部手数料条例の一部を改正する条例案	総合政策	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	26	住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例案	総合政策	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	27	北海道立自然公園条例の一部を改正する条例案	環境生活	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	28	北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案	保健福祉	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	29	北海道後期高齢者医療財政安定化基金条例の一部を改正する条例案	保健福祉	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	30	北海道国民健康保険財政安定化基金条例の一部を改正する条例案	保健福祉	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	31	北海道経済部手数料条例の一部を改正する条例案	経済	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	32	北海道小規模企業振興条例の一部を改正する条例案	経済	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	33	北海道労働審議会条例の一部を改正する条例案	経済	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	34	北海道農政部手数料条例の一部を改正する条例案	農政	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	35	北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案	建設	4. 3. 24	原案可決

提 出 年 月 日	番 号	件 名	付 託 委 員 会	議 決 年 月 日	議 事 結 果
4. 2. 25	36	北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例案	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	37	都市計画法施行条例の一部を改正する条例案	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	38	北海道公安委員会手数料条例の一部を改正する条例案	総 務	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	39	北海道高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	総 務	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	40	国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	41	訴えの提起に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	42	公の施設の指定管理者の指定に関する件	北方領土対策	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	43	公の施設の指定管理者の指定に関する件	環境生活	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	44	公の施設の指定管理者の指定に関する件	環境生活	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	45	公の施設の指定管理者の指定に関する件	環境生活	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	46	公の施設の指定管理者の指定に関する件	環境生活	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	47	公の施設の指定管理者の指定に関する件	環境生活	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	48	公の施設の指定管理者の指定に関する件	経 済	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	49	公の施設の指定管理者の指定に関する件	経 済	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	50	公の施設の指定管理者の指定に関する件	経 済	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	51	公の施設の指定管理者の指定に関する件	経 済	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	52	公の施設の指定管理者の指定に関する件	水産林務	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	53	公の施設の指定管理者の指定に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	54	公の施設の指定管理者の指定に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	55	公の施設の指定管理者の指定に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	56	公の施設の指定管理者の指定に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	57	公の施設の指定管理者の指定に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	58	公の施設の指定管理者の指定に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	59	公の施設の指定管理者の指定に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	60	公の施設の指定管理者の指定に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	61	公の施設の指定管理者の指定に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	62	公の施設の指定管理者の指定に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	63	公の施設の指定管理者の指定に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	64	公の施設の指定管理者の指定に関する件	文 教	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	65	公の施設の指定管理者の指定に関する件	文 教	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	66	公の施設の指定管理者の指定に関する件	文 教	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	67	公の施設の指定管理者の指定に関する件	文 教	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	68	公の施設の指定管理者の指定に関する件	文 教	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	69	公の施設の指定管理者の指定に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	70	包括外部監査契約の締結に関する件	総 務	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	71	河川法に基づく一級河川の指定についての意見に関する件	建 設	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	72	地方独立行政法人北海道立総合研究機構の定款の変更に関する件	総合政策	4. 3. 24	原案可決
4. 2. 25	73	令和3年度北海道一般会計補正予算（第8号）	付託省略	4. 2. 25	原案可決
4. 2. 25	74	北海道安心子ども基金条例の一部を改正する条例案	付託省略	4. 2. 25	原案可決

提 年 月 日	番 号	件 名	付 委 員 託 会	議 年 月 日	議 結 事 果
4. 3. 8	75	令和3年度北海道一般会計補正予算（第9号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	76	令和3年度北海道公債管理特別会計補正予算（第1号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	77	令和3年度北海道国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	78	令和3年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	79	令和3年度北海道苫小牧東部地域開発出資特別会計補正予算（第1号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	80	令和3年度北海道石狩湾新港地域開発出資特別会計補正予算（第2号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	81	令和3年度北海道就農支援資金貸付事業等特別会計補正予算（第1号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	82	令和3年度北海道営住宅事業特別会計補正予算（第2号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	83	令和3年度北海道住宅供給公社経営健全化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	84	令和3年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第2号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	85	令和3年度北海道公共下水道事業会計補正予算（第1号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	86	令和3年度北海道流域下水道事業会計補正予算（第1号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	87	令和3年度北海道電気事業会計補正予算（第2号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	88	令和3年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第3号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	89	令和3年度北海道病院事業会計補正予算（第1号）	予 算	4. 3. 14	原案可決
4. 3. 8	90	令和4年度北海道一般会計補正予算（第1号）	予 算	4. 3. 24	原案可決
4. 3. 8	91	公の施設の指定管理者の指定に関する件	文 教	4. 3. 24	原案可決
4. 3. 8	92	公の施設の指定管理者の指定に関する件	文 教	4. 3. 24	原案可決
4. 3. 8	93	公の施設の指定管理者の指定に関する件	文 教	4. 3. 24	原案可決
4. 3. 8	94	公の施設の指定管理者の指定に関する件	文 教	4. 3. 24	原案可決
4. 3. 8	95	公の施設の指定管理者の指定に関する件	文 教	4. 3. 24	原案可決
4. 3. 24	96	北海道監査委員の選任につき同意を求める件	付託省略	4. 3. 24	同意議決
4. 3. 24	97	北海道海区漁業調整委員会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	4. 3. 24	同意議決

## 報 告

提 年 月 日	番 号	件 名	付 委 員 託 会	議 年 月 日	議 結 事 果
4. 2. 25	1	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
4. 2. 25	2	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
4. 2. 25	3	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
4. 2. 25	4	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
4. 2. 25	5	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
4. 2. 25	6	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
4. 2. 25	7	専決処分報告の件	報告のみ	—	—

## 第1回定例会において議員又は委員会から提出のあった案件

### 会 議 案

提 出 日 年 月 日	番号	件 名	提 出 者	議 決 日 年 月 日	議 結 事 果
4. 2. 25	1	北海道スポーツ推進条例案	八田 盛茂議員外13人	4. 3. 24	原案可決
4. 3. 23	2	北海道議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案	八田 盛茂議員外10人	4. 3. 24	原案可決

### 決 議 案

提 出 日 年 月 日	番号	件 名	提 出 者	議 決 日 年 月 日	議 結 事 果
4. 3. 3	1	ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議	三好 雅議員外4人	4. 3. 3	原案可決

### 意 見 案

提 出 日 年 月 日	番号	件 名	提 出 者	議 決 日 年 月 日	議 結 事 果
4. 3. 23	1	台湾のCPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）参加を積極的に支援するよう求める意見書	三好 雅議員外3人	4. 3. 24	原案可決
4. 3. 23	2	地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書	三好 雅議員外4人	4. 3. 24	原案可決
4. 3. 23	3	北方四島へのロシア法令に基づく「特惠制度」に対する意見書	三好 雅議員外4人	4. 3. 24	原案可決
4. 3. 23	4	水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書	農政委員長 船橋 賢二	4. 3. 24	原案可決
4. 3. 23	5	豪雪地帯における介護事業所への適切な評価を求める意見書	少子・高齢社会特別委員長 松山 丈史	4. 3. 24	原案可決

### 動 議

提 出 日 年 月 日	件 名	提 出 者	議 決 日 年 月 日	議 結 事 果
4. 3. 23	議案第1号令和4年度北海道一般会計予算については撤回し、組替えの上再提出を求める動議	北口 雄幸議員外4人 (賛成者 5人)	4. 3. 24	否 決

# 会 議 案

## 会議案第1号

### 北海道スポーツ推進条例案

〔 4年1定  
八田 盛茂議員外13人提出  
令和4年3月24日 原案可決 〕

#### 北海道スポーツ推進条例

##### 目次

##### 前文

##### 第1章 総則（第1条－第5条）

##### 第2章 スポーツ推進計画（第6条）

##### 第3章 スポーツの推進に関する基本的施策（第7条－第21条）

##### 附則

スポーツは、心身の健全な発達<sup>かん</sup>、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、「する」ことで体を動かす楽しさや喜び、健康増進や生きがいをもたらし、「みる」ことで選手の活躍する姿を通して感動と応援する楽しさ、さらには活力を人々に与え、「ささえる」ことでスポーツをする人と共に喜びや達成感、地域への一体感を醸成し、「しる」ことでスポーツの様々な効果への理解と、意欲や自主性を育む。

このスポーツとの「する」、「みる」、「ささえる」、「しる」といった多様なかわり方を通じて、これらが相互に「つながる」ことにより好循環が生まれ、さらには、人と人とのつながりを深めることができる。

このようなスポーツの持つ力を最大限に活用し、社会教育や学校教育などのあらゆる場面において、生涯にわたり、誰もが、それぞれの体力や年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、目的に応じてスポーツに親しみ、ひいては社会に参画することができる環境づくりを促進していくことが重要である。

北海道は、夏は冷涼な気候、冬は良質な雪などに恵まれ、スポーツをする者にとって好条件がそろっており、こうした豊かな自然環境を生かし、これまで、国際舞台等で活躍する選手を数多く輩出してきた。

北海道で育った選手が国際的又は全国的な規模のスポーツの競技会で活躍する姿は、道民に夢と感動を与えるとともに、スポーツへの関心を高めるものである。

また、北海道を本拠地とするプロスポーツチームも複数生まれ、子どもから高齢者に至るまでの幅広いファン層が試合を観戦し、ボランティアとしてチームを支えるなど、応援の輪が広がっている。

こうした本道の特性を生かし、スポーツを通じた健康で豊かな生活の形成と魅力ある人づくりや地域づくりを推進するとともに、将来にわたる持続可能な社会の実現を目指して、道民の総意としてこの条例を制定する。

##### 第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、スポーツの推進に関し、基本理念を定め、及び道の責務等を明らかにするとともに、道のスポーツの推進に関する施策の基本となる事項を定めることにより、その施策を総合的かつ計画的に推進し、もって道民の心身の健康の保持増進を図り、併せて地域の特性を生かした魅力ある持続可能な社会の実現に寄与することを目的とする。

(基本理念)

第2条 スポーツの推進は、次に掲げる事項を基本として行われなければならない。

- (1) 全ての道民が生涯にわたりスポーツに親しむことにより、心身の健康の保持増進及び健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間をいう。第8条において同じ。）の延伸が図られること。
- (2) 子どもの心身の健全な発達及び体力の向上が図られるとともに、豊かな人間性が育まれるよう配慮されていること。
- (3) 障がい者が自主的かつ積極的にスポーツに参加することができるよう必要な配慮がされていること。
- (4) 道民がスポーツに親しむ機会の確保が図られること。
- (5) 道、市町村及びスポーツ団体（スポーツの振興のための事業を行うことを主たる目的とする団体をいう。第5条及び第9条において同じ。）等の相互の連携協力の下、地域間の交流及び国際交流を促進することにより、地域の活性化が図られること。
- (6) 選手のスポーツに関する競技水準の向上が図られるとともに、スポーツの指導者その他スポーツの推進に寄与する人材（以下「指導者等」という。）が養成されること。
- (7) 自然環境、観光資源等を活用したスポーツの振興が図られること。

(道の責務)

第3条 道は、前条に定める基本理念にのっとり、スポーツの推進に関する施策を総合的かつ計画的に策定し、及び実施し、並びに市町村に対して、情報の提供、技術的な助言その他の必要な支援を行うものとする。

(道民の役割)

第4条 道民は、スポーツに対する関心及び理解を深め、自主的かつ積極的にスポーツに親しみ、又はスポーツを楽しむことにより、心身の健康の保持増進及び体力の向上に努めるものとする。

(関係者相互の連携及び協働)

第5条 道は、第2条に定める基本理念の実現を図るため、道民及びスポーツ団体その他の関係者と相互に連携を図りながら協働するよう努めるものとする。

第2章 スポーツ推進計画

第6条 知事は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条第1項の規定に基づき、スポーツの推進に関する計画（以下この条において「スポーツ推進計画」という。）を策定するものとする。

- 2 知事は、スポーツ推進計画を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、北海道スポーツ推進審議会の意見を聴かななければならない。
- 3 知事は、スポーツ推進計画を策定し、又は変更したときは、速やかに、これを公表しなければならない。

第3章 スポーツの推進に関する基本的施策

(ライフステージに応じたスポーツの推進)

第7条 道は、豊かな自然環境及び観光資源等に恵まれた北海道に特有の環境を生かしながら、道民のそれぞれのライフステージ（少年期、青年期、壮年期、高年期等の各段階をいう。）に応じたスポーツの推進を図るために必要な施策を講ずるものとする。

（健康づくりの推進及び健康寿命の延伸）

第8条 道は、道民のスポーツを通じた心身の健康の保持増進、体力の向上、疾病の予防、介護の予防等の健康づくりを推進するとともに、健康寿命の延伸を図るために必要な施策を講ずるものとする。

（子どものスポーツの推進）

第9条 道は、子どもの心身の健全な発達及び体力の向上が図られるよう、学校、スポーツ団体、家庭等と連携し、子どもに対するスポーツの機会の提供及び充実に向けた取組を促進するために必要な施策を講ずるものとする。

（障がい者のスポーツの推進）

第10条 道は、障がい者が自主的かつ積極的にスポーツに参加することができるよう、その障がいの種類及び程度に応じたスポーツへの参加の機会を提供するとともに、障がい者のスポーツを推進する人材及び団体等の育成を図るために必要な施策を講ずるものとする。

（スポーツでつくる優しい共生社会）

第11条 道は、体力、年齢、性別その他の事情にかかわらず、様々な人が自主的かつ積極的にスポーツに参加することができるよう、スポーツへの参加の機会を提供するために必要な施策を講ずるものとする。

（スポーツに親しむ環境の整備）

第12条 道は、道民が地域の差異にかかわらず等しくスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の効果的な管理運営及び有効活用並びに指導者等の活用その他のスポーツに親しむ環境の整備を図るために必要な施策を講ずるものとする。

（スポーツの観戦等に係る気運の醸成）

第13条 道は、道内に活動の拠点をもつスポーツチームとの連携により、道民のスポーツの観戦及びスポーツチームの応援に係る気運を醸成するために必要な施策を講ずるものとする。

（スポーツを通じた地域の活性化等）

第14条 道は、スポーツを通じて地域間の交流及び国際交流を促進し、地域の活性化を図るため、道民と選手等との交流、国際的又は全国的な規模のスポーツの競技会及び合宿の誘致、道民及び道外からの来訪者に対するスポーツに親しむための情報の提供その他必要な施策を講ずるものとする。

2 道は、地域経済の活性化を図るため、スポーツに関連する地域産業の振興その他必要な施策を講ずるものとする。

（競技水準の向上）

第15条 道は、国際的又は全国的な規模のスポーツの競技会において、選手が優秀な成績を収めることができるよう、選手の育成及び指導者等の養成並びにこれらの者となり得る人材の発掘等の推進を図るために必要な施策を講ずるものとする。

（冬季スポーツの振興）

第16条 道は、本道の優位性を生かした冬季スポーツ（スキー、スケート、アイスホッケー、カーリング等の主に冬季に行われるスポーツをいう。以下この条において同じ。）の振興を図ることができるよう、冬季スポーツの競技人口の

増加及び競技水準の向上を図るために必要な施策を講ずるものとする。

(スポーツに携わるボランティアの育成等)

第17条 道は、スポーツの観戦等を通じたスポーツに携わるボランティアの育成及びボランティア活動への参加意識の向上を図るために必要な施策を講ずるものとする。

(セカンドキャリアの形成の促進)

第18条 道は、選手が安心して競技活動に取り組むことができるよう、その有する能力、技術及び経験を、生涯にわたり社会の各分野において又は次の世代の選手の育成に当たって生かすことができる環境の形成を図るために必要な施策を講ずるものとする。

(スポーツにおける体罰及び暴力の根絶等)

第19条 道は、道民が安心してスポーツを行うことができるよう、スポーツにおける体罰及び暴力を根絶するとともに、スポーツ事故その他スポーツによって生じる外傷及び障がい等の防止並びにこれらの軽減を図るため、指導者等に対する研修の実施、スポーツにおける安全の確保に関する知識の普及その他必要な施策を講ずるものとする。

(顕彰)

第20条 道は、スポーツの競技会において優秀な成績を収めた者及びスポーツの発展に寄与した者の顕彰を行うものとする。

(財政上の措置)

第21条 道は、スポーツの推進に関する施策を推進するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 知事は、この条例の施行の日から起算して5年を経過するごとに、社会経済情勢の変化等を勘案し、この条例の施行の状況等について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

説 明

スポーツの推進に関し、基本理念を定め、及び道の責務等を明らかにするとともに、道のスポーツの推進に関する施策の基本となる事項を定めることにより、その施策を総合的かつ計画的に推進し、もって道民の心身の健康の保持増進を図り、併せて地域の特性を生かした魅力ある持続可能な社会の実現に寄与することとするため、この条例を制定しようとするものである。

## 会議案第2号

### 北海道議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案

〔 4年1定  
八田 盛茂議員外10人提出  
令和4年3月24日 原案可決 〕

北海道議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例

北海道議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例（平成14年北海道条例第66号）の一部を次のように改正する。

別表釧路市の項中「4人」を「3人」に改め、同表恵庭市の項中「1人」を「2人」に改める。

附 則

この条例は、次の一般選挙から施行する。

説 明

本道における人口の減少及び人口減少地域が抱える様々な課題に鑑み、北海道議会議員の各選挙区において選挙すべき議員の数について所要の改正を行うこととするため、この条例を制定しようとするものである。

# 決 議 案

## 決議案第1号

### ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

〔 4年1定  
三好 雅議員外4人提出  
令和4年3月3日 原案可決 〕

北海道はこれまで、国境隣接地域として、また、北方領土問題を抱える地域として、長きにわたり、経済交流や人的交流等を通じて、ロシアとのつながりを深めてきた歴史がある。

しかしながら、2月24日に開始されたロシア軍によるウクライナへの侵略は、明らかに同国の主権及び領土の一体性を侵害し、武力行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反であって、断じて許されない行為である。

こうした力による一方的な現状変更は欧州にとどまらず、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態であり、隣接地域である本道としても看過できるものではない。また、これまで積み上げてきた本道とロシアとの関係を無にしかねない。

よって、北海道議会は、今般のロシアの侵略行為に対し強く非難するとともに、ロシア軍の攻撃停止と即時撤退、及び国際法の遵守を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和 年 月 日

北 海 道 議 会

# 意見案

## 意見案第1号

### 台湾のCPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）参加を積極的に支援するよう求める意見書

〔 4年1定  
三好 雅議員外3人提出  
令和4年3月24日 原案可決 〕

台湾と日本は深い信頼と友情で結ばれており、これまで我が国が大規模自然災害など甚大な被害に見舞われるたび、台湾から多くの支援が届けられてきた。このたびの新型コロナウイルス感染症に対しても、台湾から多くの支援物資が寄せられ、世界的な感染拡大という事態の中にあって、両国の絆は一層強いものとなっている。

また、経済分野では、令和2年の日台双方の貿易総額は7兆6000億円に達し、我が国にとって世界第4位の輸出入先となっており、本年2月には、台湾において平成23年以降導入されていた輸入規制が緩和されるなど、日本産の農林水産物・食品のさらなる輸出拡大が期待されるほか、多くの日本企業が台湾に進出しており、日本と台湾との技術連携が図られるなど重要な貿易パートナーとなっている。

本道との関係においては、観光では令和元年は約50万人の方が台湾から北海道を訪れており、また、貿易ではナガイモやホタテガイ等の道産農水産物や紙、鋼材等が道内から輸出され、令和2年の輸出額は約119億円に上り、国・地域別では7位となっている。こうした観光・貿易での交流のほか、スポーツ、青少年交流など、様々な交流が行われており、本道の発展においても恩恵は大きいものとなっている。

このような関係にある台湾がCPTPPに加盟することは、我が国の経済はもとより、アジア太平洋地域の経済貿易に活力を注ぎ、地域の経済に好循環を生み出すものである。

去る9月22日に正式に加入申請をした台湾は、CPTPPの加入交渉において日本の継続的な参加支持に期待しており、現在の枠組みにおいて日本は重要かつ影響力を持ったメンバーであることから、その支持は大きな意義を持つこととなる。

よって、国においては、早急に台湾のCPTPP参加を積極的に支援するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
外務大臣  
財務大臣  
農林水産大臣  
経済産業大臣  
内閣官房長官  
経済再生担当大臣

各通

北海道議会議長 小畑保則

## 意見案第2号

### 地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書

〔 4年1定  
三好 雅議員外4人提出  
令和4年3月24日 原案可決 〕

少子高齢化や人口減少の進展により、あらゆる現場で人手不足や後継者不足が叫ばれる中、今後は、新型コロナウイルス感染症などの感染症の蔓延を防ぐ上で、人と人との直接的な接触を低減させることが必要となり、働き方や教育、医療や福祉といった、日常生活の現場の変容が求められている。

そして今、政府の「デジタル田園都市国家構想」への取組をはじめ、社会のデジタル化への流れが加速する中で、「誰一人取り残されないデジタル社会」の実現を目指して、地域の課題解決に資するデジタル化を、適切かつ迅速に推進し、全ての住民がその恩恵を享受できる社会を構築する時代が到来した。

よって、国においては、子どもたちの学びの継続、医療への適時適切なアクセス、新しい分散型社会の構築、持続可能な地域の医療と介護、地域住民の安全で安心な移動など、特に地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進について特段の取組が進められるよう、次の事項について要望する。

#### 記

- 1 全ての地域で、感染症の拡大防止や不登校児童生徒への柔軟な対応など、誰もがどこでも安心して学びが継続できるように、オンライン学習を可能にするための通信環境等の整備、デジタル教材や通信料の無償化など、各家庭の状況に配慮した対応ができるよう、所要の措置を講ずること。
- 2 地域住民の誰もが安心して医療にアクセスできるよう、オンライン診療等を必要なときに受けられるように、現在、オンライン診療を適切に実施する前提となっている「かかりつけの医師」について、各地域に適切に配備すると同時に、その存在と役割を周知する広報活動の充実など、全ての住民が「かかりつけの医師」につながるための取組を強化すること。
- 3 地域の新しい兼業農家やデジタル人材の確保に向け、「転職なき移住」を実現するためのテレワークの拡大や、サテライトオフィスの整備等に対する補助金等の拡充や税制の優遇、さらに移住者への住宅取得支援や通信料金の軽減など、分散型社会の構築への総合的な取組を強化すること。
- 4 住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、介護及び看護分野における人材不足の解消に資するICT技術を用いた支援機器の開発と実証実験への支援を拡充するとともに、当該支援機器の現場への適時的確な導入を促進するための取組を強化すること。
- 5 政府では、高齢化が進行する中山間地域における生活の足の確保等のため「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの実証実験を平成29年度より全国18箇所を実施してきた。こうした技術面やビジネスモデル等に関する実験結果を踏まえ、各地域への実装配備が進められるように、導入要件の検討や補助事業の創設などに早急に取り組むこと。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
デジタル大臣  
内閣府特命担当大臣(地方創生)  
新型コロナ対策・  
健康危機管理担当大臣  
デジタル田園都市国家構想担当大臣

各通

北海道議会議長 小畑保則

## 意見案第3号

### 北方四島へのロシア法令に基づく「特惠制度」に対する意見書

〔 4年1定  
三好 雅議員外4人提出  
令和4年3月24日 原案可決 〕

プーチン・ロシア大統領は、昨年9月の東方経済フォーラムにおいて、ロシア法令に基づくことを前提とした北方四島を含む地域の経済開発に関する「特惠制度」の導入を発表し、今般、ロシア側では、日本及び第三国企業等を対象とし、関税及び主要な税の免除などにより投資を呼び込む「特惠制度」の導入に関する法令を成立し、発効させた。

ロシア法令に基づくことを前提にした制度を北方四島へ導入することや、日本企業及び第三国企業等へ経済開発への関与を広く呼びかけることは、北方領土に関する日本の一貫した立場や首脳間の合意に基づき日ロ間で議論してきた北方四島における共同経済活動の趣旨と相入れないものである。

日本の立場はこれまでもロシア側に対して累次、申し入れてきたにもかかわらず、今般、ロシア側が一方的に我が国固有の領土でありロシアに不法占拠されている歯舞、色丹、国後、択捉の北方四島への「特惠制度」の導入に踏み切ったことは、北方領土を行政区域とする北海道として、到底容認できず遺憾である。

よって、国においては、ロシア政府に対し、ロシア法令に基づく「特惠制度」の導入について断固抗議するとともに、日本企業及び第三国企業等から北方四島への投資が行われないよう、国内はもとよりロシア側及び第三国に対して働きかけるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
外務大臣  
沖縄及び北方対策担当大臣

各通

北海道議会議長 小畑保則

## 意見案第4号

### 水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書

〔 4年1定  
農政委員長 船橋 賢二提出  
令和4年3月24日 原案可決 〕

国は、昨年12月、水田活用の直接支払交付金について、令和4年度から今後5年間に一度も水張りが行われない農地は、令和9年度以降、交付対象水田としない方針であることや、多年生牧草について、収穫のみを行う年の助成単価を見直すことなどを決定したところであるが、今回の見直しは、水田農業を営む生産者の経営にとどまらず、本道の地域農業に対して様々な影響が懸念される。

本道の水田農業は、これまで、行政や農協系統団体、集荷団体などが連携して水田のフル活用や麦・大豆などの畑作物への作付転換を進め、需要に応じた米生産を推進し、地域の社会・経済を支える重要な産業として発展してきたところであり、将来に向けて、こうした役割を果たし、今後とも持続的に発展していくことが何よりも重要である。

よって、国においては、今後5年間で現場の課題を検証するとしていることから、見直しを進めるに当たっては、次の事項について十分配慮するよう、強く要望する。

#### 記

- 1 本道の水田農業は、長年にわたり、水田活用の直接支払交付金などを活用し、主食用米の作付転換を推進してきたところであるが、今回の見直しにより、各地域では今後5年間で将来的な産地形成の検討を進めていくことになることから、その中で明らかになった様々な課題をしっかりと受け止め、確実に検証を行うとともに、生産現場の実情を十分踏まえた上で必要な支援を行うこと。
- 2 地域において、持続可能な水田農業の将来像を描くことができるよう、情報の早期提供や丁寧な説明などを行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
農林水産大臣 } 各通

北海道議会議長 小畑保則

## 意見案第5号

### 豪雪地帯における介護事業所への適切な評価を求める意見書

〔 4年1定  
少子・高齢社会特別委員長 松山 丈史提出  
令和4年3月24日 原案可決 〕

介護サービスは、利用者や家族の方々の生活を支える上で欠かすことのできないものであり、介護サービス事業所については感染症や災害等の発生している場面でもサービスの継続が求められている。

このような中で、豪雪地帯に所在する介護サービス事業所では、光熱水費や除排雪経費、送迎に必要な利用者宅での除雪などサービス提供に多くの経費と労力を負担している。豪雪地帯に対する介護報酬の評価としては、加算制度が設けられているが、この加算は厚生労働大臣が指定する地域に限定され、札幌市など一部の地域が対象とならないことのほか、サービス種別が限定されているなど、必ずしも地域の実情が反映されたものとなっていない。

全域が豪雪地帯である北海道では、例年積雪による交通障害に伴い、介護サービス利用者の送迎遅延や遅延に伴うサービス提供時間の確保が困難になる状況が発生しており、今年度も、暴風雪や大雪により、道央圏などにおいて道路の除排雪が間に合わず、自動車の渋滞や立往生が多発し、介護サービス事業所の送迎が長時間となるなど、介護サービスの提供に大きな影響が生じている。

よって、国においては、豪雪地帯における介護サービスの確保を図る観点から、次の事項について対策を講ずるよう強く要請する。

記

- 1 豪雪地帯に所在する全ての介護事業所を加算の対象とするなど、積雪寒冷である本道の特殊性を踏まえた制度の見直しを行うこと。
- 2 暴風雪や大雪などの雪害にあっても、地震や台風等の災害時の取扱いと同様に、人員等の配置基準や介護報酬の算定要件の柔軟な取扱いを可能とするよう早急に対応すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
厚生労働大臣 } 各通

北海道議会議長 小畑保則

## 請 願

### ① 第1回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの

文書表 番 号	件 名	付 託 委 員 会	審 査 の 結 果
22	北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める件	文 教	継続審査
23	新登別大橋への高欄設置を求める件	保 健 福 祉	継続審査
24	北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る概要調査断念についての件	産炭地域振興・ エネルギー問題調査	継続審査
25	北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る調査中止及び最終処分地の受入れをしないことを求める件	産炭地域振興・ エネルギー問題調査	継続審査
26	寿都町・神恵内村での特定放射性廃棄物最終処分施設建設地選定に係る文献調査の取りやめについての件	産炭地域振興・ エネルギー問題調査	継続審査

## 委員会の動き

### 議会運営委員会

○2月17日(木) 開議 午後1時4分  
散会 午後1時9分  
議会運営委員会室  
委員長 村木 中(自民)

- ① 同僚議員の逝去について
  - ・1月27日、自民党・道民会議川尻秀之議員が逝去され、議長が弔意を表したことを報告。
- ② 追悼演説について
  - ・川尻秀之議員の逝去に伴う追悼演説について、第1回定例会招集日の本会議において行うこととし、追悼演説者については、自民党・道民会議、吉川隆雅議員となったことを報告。
- ③ 各派所属議員数について
  - ・各派の所属議員数は、自民党・道民会議51名、民主・道民連合27名、北海道結志会9名、公明党8名、日本共産党3名となったことを報告。
- ④ 議席について
  - ・同僚議員の逝去に伴う議席は配付の議席表のとおり空席とすることに決定。
- ⑤ 委員会構成について
  - ・所属議員数の変更に伴い、特別委員会の副委員長配分数に変更が生じたことに伴い、関係会派間で協議した結果、配付のとおり調整されたことを報告。
- ⑥ 元議員の逝去について
  - ・保格博夫氏(十勝支庁選出、第20期～第24期、1月8日逝去)について報告。
- ⑦ 令和4年第1回定例会について
  - ・総務部長から招集日を2月25日(金)とする旨発言があり、これを了承。
  - ・総務部長から、提出予定の主要案件について説明。
  - ・会期について28日間とすることに決定。
  - ・日程について、次のとおり取り進めることに決定。  
〔第1回定例会〕  
2月25日 本会議(提案説明)  
2月28日～3月2日 休会

3月3日～3月4日 本会議(代表質問)  
3月7日 休会  
3月8日～3月10日 本会議(一般質問)  
3月11日 本会議(一般質問、予算特別委員会設置)  
3月14日 本会議(補正予算議決)  
3月15日～3月18日 休会  
3月22日～3月23日 休会  
3月24日 本会議

- ⑧ 議場コンサートについて
  - ・今定例会での実施は見合わせることに決定。
- ⑨ 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・今定例会についてもマスクの着用や手洗い、手指消毒の実施、感染リスクを回避する行動のさらなる徹底や発熱や咳があるなど体調が悪い場合には、外出を控えるなど、引き続き、感染拡大防止に向けた協力を願う。
  - ・本会議については、これまでと同様に、1時間程度を目安に、演壇の消毒作業を行うことから、議場内に残ったままでの休憩を加えることとする。

○2月24日(木) 開議 午前9時18分  
散会 午前9時24分  
議会運営委員会室  
委員長 村木 中(自民)

- ① 提出議案の事前説明について
  - ・総務部長から説明。
  - ・先議要請があった議案第73号の補正予算並びにこれに関連する議案第74号の条例案について、明日の本会議において、先議することに決定。
  - ・本件に関する質疑について、5名の通告があったことを報告。
  - ・質疑の順位については、配付の通告一覧のとおりとすることに決定。
  - ・先議の方法については、明日の本会議において、提出議案に関する説明の後、先議することを議決した上、本会議を一旦休憩し、再開後、質疑を行い、委員会付託を省略し、議決する扱いにすることに決定。
- ② 北海道スポーツ推進条例案について
  - ・第1回定例会に議員発議により、提出される予定である旨、議長から通知があったことを

報告。

- ③ 代表質問及び一般質問の通告について
  - ・代表質問は、3月1日（火）、一般質問は、3月4日（金）のそれぞれ正午までとする。
- ④ 予算特別委員会について
  - ・委員会構成及び正副委員長の配分は、協議事項に記載のとおりとする。
  - ・委員名簿の提出は、3月9日（水）の正午までとする。
- ⑤ 議員派遣について
  - ・配付のとおり、議長において、派遣の中止を決定し、明日の本会議において、議長から報告することとする。
- ⑥ 休会について
  - ・議案等調査のため、2月28日から3月2日までは本会議を休会し、3月3日（木）に再開することに決定。
- ⑦ 2月25日の本会議議事順序について
  - ・明日の委員会において協議する。

○2月25日（金） 開議 午前9時16分  
散会 午前9時18分  
議会運営委員会室  
委員長 村木 中（自民）

- ① 会議案について
  - ・配付のとおり、会議案第1号の提出があったことを報告。
- ② 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- ③ 本会議の欠席について
  - ・総務部長から中島総合政策部次世代社会戦略監が同居者の体調不良のため、また、宮腰選挙管理委員会事務局長が体調不良のため、本日の本会議欠席の発言があり、これを了承。
- ④ 本会議開議時刻について
  - ・午前10時開会とする。

○3月3日（木） 開議 午前11時49分  
散会 午前11時51分  
議会運営委員会室  
委員長 村木 中（自民）

- ① 決議案の取扱について
  - ・配付のとおり、決議案第1号の提出があり、

本日の本会議冒頭において、議決することを決定。

- ② 代表質問について
  - ・4名の通告があり、順位については、配付の通告一覧のとおりとする。
  - ・代表質問の進め方について、本日は1番松浦宗信議員、2番笹田浩議員の2名、明4日（金）は、3番赤根広介議員、4番阿知良寛美議員の2名を行うことに決定。
- ③ 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について
  - ・午後1時開会とする。

○3月4日（金） 開議 午前9時15分  
散会 午前9時16分  
議会運営委員会室  
委員長 村木 中（自民）

- ① 代表質問について
  - ・代表質問の通告内容等の変更について了承。
  - ・本日は3番から4番までの2名を行う。
- ② 休会について
  - ・議案等調査のため、3月7日（月）は本会議を休会することとし、一般質問を3月8日（火）から行うことに決定。
- ③ 本日の本会議議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について
  - ・午前10時開会とする。

○3月8日（火） 開議 午前9時15分  
散会 午前9時20分  
議会運営委員会室  
委員長 村木 中（自民）

- ① 追加提出議案の事前説明について
  - ・総務部長から令和3年度最終補正予算、令和4年度補正予算関係等の追加提出議案について説明。
  - ・追加提出議案については、本日の本会議において、提案説明を行った後、一括議題として、一般質問に入ることに決定。
  - ・先議要請があった最終補正予算は、従前の例により、他の案件に先がけて取り扱うことと

する。

議会運営委員会室

委員長 村木 中（自民）

② 一般質問について

- ・23名の通告があり、個人別の順位については、配付の通告一覧のとおりとする。
- ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ・本日は1番から6番までの6名、  
3月9日（水）は7番から12番までの6名、  
3月10日（木）は13番から18番までの6名、  
3月11日（金）は19番から23番までの5名の  
予定で取り進めることに決定。

③ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

④ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。

○3月9日（水） 開議 午前9時15分

散会 午前9時16分

議会運営委員会室

委員長 村木 中（自民）

① 本日の本会議について

- ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ・本日の一般質問は、7番から12番までの6名  
を行う。

② 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

③ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。

○3月10日（木） 開議 午前9時15分

散会 午前9時16分

議会運営委員会室

委員長 村木 中（自民）

① 本日の本会議について

- ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ・本日の一般質問は、13番から18番までの6名  
を行う。

② 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

③ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。

○3月11日（金） 開議 午前9時16分

散会 午前9時21分

① 本会議における黙とうについて

- ・本日は東日本大震災から11年となり、犠牲となられた方々に対し、弔意を表するため、本日の本会議冒頭において黙とうを行うことに決定。

② 本日の本会議について

- ・一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ・本日の一般質問は、19番から23番までの5名  
を行う。

③ 予算特別委員会について

- ・本日、一般質問終了後、設置する。
- ・分科会の委員数は、配付の協議事項のとおり  
決定した旨報告。
- ・委員の選任については、配付の名簿のとおり  
とする。

④ 議案の各委員会付託について

- ・配付資料のとおり付託することに決定。
- ・付託議案のうち、先議要請があった議案第75  
号ないし第89号の令和3年度補正予算等につ  
いては、関係委員会の審査終了後、3月14日  
（月）の本会議において議決することに決定。

⑤ 会議案第1号の取り扱いについて

- ・本日の本会議において、知事提出議案の関係  
委員会付託後、議題とし、提出者の説明の後、  
環境生活委員会に付託することに決定。

⑥ 請願の特別委員会への付託について

- ・配付の請願第24号ないし第26号は、本日の本  
会議において、産炭地域振興・エネルギー問  
題調査特別委員会に付託することに決定。

⑦ 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

⑧ 本会議開議時刻について

- ・午前10時開会とする。

⑨ 3月14日の本会議開議時刻について

- ・午後4時開会予定とする。

○3月14日（月） 開議 午後3時15分

散会 午後3時16分

議会運営委員会室

委員長 村木 中（自民）

① 先議案件の審議状況について

- ・ 予算特別委員会において、審査を終了したことを報告。
  - ・ 先議案件については、本日の本会議において、議決する。
- ② 休会について
    - ・ 各委員会付託議案等審査のため、3月15日から18日まで及び22日から23日までは本会議を休会することとし、3月24日（木）に再開することに決定。
  - ③ 本日の本会議議事順序について
    - ・ 事務局説明のとおりとする。
  - ④ 本会議開議時刻について
    - ・ 午後4時開会とする。
  - ⑤ 3月24日の本会議開議時刻について
    - ・ 午後1時開会とする。
- ⑦ 本日の本会議議事順序について
    - ・ 事務局説明のとおりとする。
  - ⑧ 専決処分について
    - ・ 総務部長から発言のあった専決処分について、了承することに決定。
  - ⑨ 年間の各定例会の招集予定日について
    - ・ 総務部長から発言のあった年間の各定例会の招集予定日について了承。
  - ⑩ 本会議開議時刻について
    - ・ 午後1時開会とする。

○3月24日（木） 開議 午後零時16分  
 散会 午後零時22分  
 議会運営委員会室  
 委員長 村木 中（自民）

- ① 各委員会付託議案の審議状況について
  - ・ すべて（予算20件、少子・高齢1件、農政3件、総務6件、総合政策3件、環境生活7件、保健福祉3件、経済7件、建設17件、北方領土1件、水産林務1件、文教10件）議了したことを報告。
- ② 動議の取扱いについて
  - ・ 北口雄幸議員ほか4名から、動議の提出があり、本日の本会議において議決することに決定。
- ③ 追加提出議案の事前説明について
  - ・ 総務部長から、追加提出議案について説明。
  - ・ 追加提出議案については、本日の本会議において、委員会付託を省略し、議決することに決定。
- ④ 会議案の取扱いについて
  - ・ 配付のとおり、会議案第2号の提出があり、本日の本会議において、議決することに決定。
- ⑤ 意見案の取扱いについて
  - ・ 配付のとおり、意見案第1号ないし第5号の提出があり、本日の本会議において、議決することに決定。
- ⑥ 継続調査の申し出について
  - ・ 配付の申出書のとおり、議長に閉会中継続調

# 常任委員会

## 総務委員会

○1月12日(水) 開議 午後1時13分  
散会 午後1時54分  
第5委員会室  
委員長 吉田 祐樹(自民)

### 開議前

1. 新年の挨拶  
[委員長、総務部長、道警察本部総務部長]

### 議事

1. 令和4年度国の施策及び予算に関する提案・要望に対する予算政府案の概要に関する報告聴取の件  
[総務部長、道警察本部総務部長報告]
1. 令和3年の交通死亡事故発生状況と本年の抑止対策に関する報告聴取の件  
[道警察本部交通部長報告]
1. 令和3年度北海道防災総合訓練(厳冬期)の実施結果に関する報告聴取の件  
[危機対策局長報告]
1. 国の日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による被害想定公表に関する報告聴取の件  
[危機対策局長報告]

### 質疑

1. 渡邊 靖司委員(自民)  
～国の日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による被害想定公表について

### 質問

1. 渡邊 靖司委員(自民)  
～土地信託事業について

○2月1日(火) 開議 午後1時7分  
散会 午後1時15分  
第5委員会室  
委員長 吉田 祐樹(自民)

### 議事

1. 令和3年度(2021年度)代替オフサイトセンター開設・運営訓練の実施に関する報告聴取

- の件 [原子力安全対策担当局長報告]
1. 北海道の犯罪情勢(令和3年)に関する報告聴取の件 [道警察本部刑事部長報告]

○2月24日(木) 開議 午前10時10分  
散会 午前11時40分  
第5委員会室  
委員長 吉田 祐樹(自民)

### 議事

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件  
[総務部長、道警察本部総務部長説明]
1. 「行財政運営の基本方針」の改訂に関する報告聴取の件 [総務部長報告]
1. 包括外部監査の結果に関する報告聴取の件  
[総務部次長兼行政局長報告]
1. 北海道史の刊行に関する報告聴取の件  
[総務部次長兼行政局長報告]
1. 道有地信託事業に関する報告聴取の件  
[総務部次長兼行政局長報告]
1. 北海道消防防災ヘリコプターに係る北海道警察との共同運航に関する報告聴取の件  
[危機対策局長報告]
1. 札幌圏の大雪に係る対応等に関する報告聴取の件  
[危機対策局長報告]

### 質疑

1. 渡邊 靖司委員(自民)  
～札幌圏の大雪に係る対応等について
1. 富原 亮委員(自民)  
～札幌圏の大雪に係る対応等について
1. 武田 浩光委員(民主)  
～札幌圏の大雪に係る対応等について

### 質問

1. 浅野 貴博委員(自民)  
～多様な経験を有する北海道職員の活用について

○3月23日(水) 開議 午前10時17分  
散会 午前10時55分  
第5委員会室  
委員長 吉田 祐樹(自民)

## 付託案件の審査

### 議案第21号

北海道職員のサービスの宣誓条例及び北海道公安委員会及び方面公安委員会の委員並びに北海道地方警察職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

### 議案第23号

北海道職員等の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

### 議案第24号

北海道恩給条例等の一部を改正する条例案 (原案可決)

### 議案第38号

北海道公安委員会手数料条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

### 議案第39号

北海道高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

### 議案第70号

包括外部監査契約の締結に関する件 (原案可決)

## 請願の審査

### 請願第2号

北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に係る同性パートナーを持つ北海道職員の処遇の改善(平等化)を求める件 (継続審査)

## 開議前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

## 議事

1. 付託議案審査の件
1. 地方税法の改正に伴う北海道税条例等の一部改正の専決処分に関する報告聴取の件 [財政局長報告]
1. 令和3年度(2021年度)代替オフサイトセンター開設・運営訓練の実施結果に関する報告聴取の件 [原子力安全対策担当局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 質問

1. 浅野 貴博委員(自民)  
～現在の国際情勢を踏まえた道の危機対策について
1. 村田 憲俊委員(自民)  
～防火対策の推進について

## 総合政策委員会

- 1月12日(水) 開議 午後1時12分  
散会 午後1時37分  
第4委員会室  
委員長 佐藤 伸弥(結志)

## 開議前

1. 新年の挨拶 [委員長、総合政策部長]

## 議事

1. 令和4年度予算政府案等の概要に関する報告聴取の件 [計画局長報告]
1. 北海道過疎地域持続的発展計画(案)に関する報告聴取の件 [地域創生局長兼官民連携推進室長報告]

## 質問

1. 三好 雅委員(自民)  
～レベル分類について

- 2月1日(火) 開議 午後1時7分  
散会 午後1時25分  
第4委員会室  
委員長 佐藤 伸弥(結志)

## 議事

1. 日露地域・姉妹都市交流年開会式出席報告の件 [委員長報告]
1. 北海道におけるまん延防止等重点措置に関する報告聴取の件 [政策局次長報告]

## 質疑

1. 菊地 葉子委員(共産)  
～北海道におけるまん延防止等重点措置について

- 2月24日(木) 開議 午前10時11分

散会 午前10時29分  
第4委員会室  
委員長 佐藤 伸弥（結志）

## 議 事

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [総合政策部長説明]
1. 北海道強靱化アクションプラン2022（案）に関する報告聴取の件 [計画局長報告]
1. S m a r t道庁の推進に向けたデジタル化取組方針（案）に関する報告聴取の件 [次世代社会戦略局 I C T推進担当局長報告]
1. 特定有人国境離島地域の地域社会の維持に関する北海道計画（案）に関する報告聴取の件 [地域創生局長兼官民連携推進室長報告]

○3月23日（水） 開議 午前10時15分  
散会 午前10時36分  
第4委員会室  
委員長 佐藤 伸弥（結志）

## 付託案件の審査

議案第25号

北海道総合政策部手数料条例の一部を改正する  
条例案 (原案可決)

議案第26号

住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例  
案 (原案可決)

議案第72号

地方独立行政法人北海道立総合研究機構の定款  
の変更に関する件 (原案可決)

## 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 稚内水産試験場試験調査船「北洋丸」竣工式出席の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 質 問

1. 三好 雅委員（自民）  
～ウクライナからの避難民への支援について
1. 荒当 聖吾委員（公明）  
～ウクライナ関連ワンストップサポート窓口の設置について

## 環境生活委員会

○1月12日（水）開議 午後1時17分  
散会 午後1時46分  
第12委員会室  
委員長 阿知良 寛美（公明）

## 開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、環境生活部長]

## 議 事

1. 随時調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和4年度予算政府案等の概要に関する報告聴取の件 [環境生活部長報告]
1. 「北海道地球温暖化対策推進計画」に基づく令和2（2020）年度の施策の実施状況等に関する報告聴取の件 [ゼロカーボン推進局気候変動対策担当局長報告]
1. 令和3年交通事故発生概況及び令和4年における交通安全運動の推進方針に関する報告聴取の件 [くらし安全局長報告]

## 質 問

1. 滝口 直人委員（自民）  
～第4次北海道犯罪被害者等支援基本計画について

○2月1日（火）開議 午後1時8分  
散会 午後2時  
第12委員会室  
委員長 阿知良 寛美（公明）

## 議 事

1. 指定管理者の候補者選定に関する報告聴取の件 [環境生活部長報告]

## 質 問

1. 笠井 龍司委員（自民）  
～ゼロカーボンの推進について
1. 高橋 亨委員（民主）  
～道内に埋設されている「枯れ葉剤」について

○2月24日（木）開議 午前10時14分

散会 午後零時29分  
第12委員会室  
委員長 阿知良 寛美 (公明)

## 議 事

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [環境生活部長説明]
1. 盛土による災害防止に向けた総点検結果に関する報告聴取の件 [環境局長報告]
1. 北海道循環資源利用促進税事業の検討に関する報告聴取の件 [環境局長報告]
1. 第13次北海道鳥獣保護管理事業計画(案)等に関する報告聴取の件 [環境局自然環境担当局長報告]
1. 北海道地球温暖化対策推進計画(第3次)の改定(素案)に関する報告聴取の件 [ゼロカーボン推進局気候変動対策担当局長報告]
1. 北海道文化振興指針の改正に関する報告聴取の件 [文化局長報告]

## 質 問

1. 道見 泰憲委員(自民)  
～北海道百年記念塔について
1. 須田 靖子委員(民主)  
～希少猛禽類の鉛中毒対策について
1. 高橋 亨委員(民主)  
～道内に埋設されている枯れ葉剤について

○3月23日(水) 開議 午前10時17分  
散会 午前10時45分  
第12委員会室  
委員長 阿知良 寛美 (公明)

## 付託案件の審査

- 議案第27号  
北海道立自然公園条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)
- 議案第43号ないし第47号  
公の施設の指定管理者の指定に関する件  
(原案可決)
- 会議案第1号  
北海道スポーツ推進条例案 (原案可決)

## 請願の審査

請願第3号  
北海道人権施策推進基本方針のさらなる推進に係るパートナーシップ宣誓制度の創設を求める件  
(継続審査)

## 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 「北海道地球温暖化対策推進計画(第3次)」(改定案)に関する報告聴取の件 [ゼロカーボン推進局気候変動対策担当局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 質 問

1. 道見 泰憲委員(自民)  
～北海道百年記念塔について

## 保健福祉委員会

○1月12日(水) 開議 午後1時12分  
散会 午後2時36分  
第6委員会室  
委員長 笹田 浩(民主)

## 開 議 前

1. 新年の挨拶  
[委員長、保健福祉部長、道立病院部長]

## 議 事

1. 令和4年度(2022年度)予算政府案の概要に関する報告聴取の件 [保健福祉部次長報告]

## 質 問

1. 村田 光成委員(自民)  
～新型コロナウイルス感染症対策について  
～小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存療法について
1. 平出 陽子委員(民主)  
～江差高看におけるパワハラ問題について
1. 田中 英樹委員(公明)  
～新型コロナウイルス感染症対策について  
～障がいのある子どもへの支援について

1. 木葉 淳委員（民主）  
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 真下 紀子委員（共産）  
～オミクロン株急増への対応について

第6委員会室  
委員長 笹田 浩（民主）

**○2月1日（火）** 開議 午後1時7分  
散会 午後3時41分  
第6委員会室  
委員長 笹田 浩（民主）

### 議 事

1. 食中毒発生状況等に関する報告聴取の件  
[健康安全局長報告]
1. 北海道におけるまん延防止等重点措置に関する報告聴取の件 [感染症対策局長報告]
1. 北海道ケアラー支援条例（仮称）（素案）に係る道民意見提出手続き（パブリックコメント）実施結果に関する報告聴取の件  
[福祉局障がい者支援担当局長報告]

### 質 疑

1. 平出 陽子委員（民主）  
～北海道ケアラー支援条例（仮称）（素案）に係る道民意見提出手続き（パブリックコメント）実施結果について

### 質 問

1. 村田 光成委員（自民）  
～献血の状況について  
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 平出 陽子委員（民主）  
～江差高看におけるパワハラ問題について
1. 滝口 信喜委員（結志）  
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 木葉 淳委員（民主）  
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 田中 英樹委員（公明）  
～新型コロナウイルス感染症対策について  
～新型コロナワクチンについて
1. 真下 紀子委員（共産）  
～生活保護における除雪費について  
～コロナ感染症急拡大への対応等について

**○2月24日（木）** 開議 午前10時10分  
散会 午前11時35分

### 議 事

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件  
[保健福祉部長、道立病院部長説明]
1. 北海道病院事業改革推進プランの収支計画及び数値目標（案）に関する報告聴取の件  
[道立病院局次長報告]

### 質 問

1. 木葉 淳委員（民主）  
～HPVワクチン接種について
1. 滝口 信喜委員（結志）  
～新型コロナウイルス感染症対策について
1. 平出 陽子委員（民主）  
～江差高看におけるパワハラ問題について
1. 真下 紀子委員（共産）  
～新型コロナウイルス感染症対策について  
～道立江差高看のパワハラ問題への対応について

**○3月23日（水）** 開議 午前10時15分  
散会 午前11時38分  
第6委員会室  
委員長 笹田 浩（民主）

### 付託案件の審査

- 議案第28号  
北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)
- 議案第29号  
北海道後期高齢者医療財政安定化基金条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)
- 議案第30号  
北海道国民健康保険財政安定化基金条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

### 請願の審査

- 請願第8号  
精神障がい者の運賃割引を求める件  
(継続審査)
- 請願第15号  
北海道重度心身障がい者医療給付事業への精神

障がい者の適用と新型コロナウイルス感染症から障がい者の命と暮らしを守る対策を求める件  
(継続審査)

請願第17号

「沖縄戦犠牲者の遺骨が眠る土砂を辺野古基地建設の埋立てに使用しないよう求める意見書」の提出を求める件  
(継続審査)

請願第19号

「沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を辺野古基地建設の埋立てに使用しないよう求める意見書」の提出を求める件  
(継続審査)

請願第23号

新登別大橋への高欄設置を求める件  
(継続審査)

## 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件  
[決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

## 質 問

1. 平出 陽子委員 (民主)  
～江差高看におけるパワハラ問題について
1. 田中 英樹委員 (公明)  
～手話通訳について
1. 真下 紀子委員 (共産)  
～江差高看学生の事故報告等について  
～道立旭川総合療育センターに関する問題について

## 経 済 委 員 会

○1月12日(水) 開議 午後1時13分  
散会 午後2時38分  
第7委員会室  
委員長 梶谷 大志 (民主)

## 開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、経済部長]

## 議 事

1. 令和4年度予算政府案の概要に関する報告聴

取の件 [経済部次長兼経済企画局長報告]

1. 北海道小規模企業振興条例・方策検討部会の検討結果に関する報告聴取の件  
[地域経済局長報告]
1. 第11次北海道職業能力開発計画の策定に関する報告聴取の件  
[労働政策局長兼産業人材担当局長報告]

## 質 問

1. 宮下 准一委員 (自民)  
～飲食店の第三者認証制度について
1. 山根 理広委員 (民主)  
～コロナ対策について
1. 寺島 信寿委員 (公明)  
～ポストコロナに向けた就業支援について
1. 広田 まゆみ委員 (民主)  
～北海道グローバル戦略について

○2月1日(火) 開議 午後1時10分  
散会 午後2時9分  
第7委員会室  
委員長 梶谷 大志 (民主)

## 議 事

1. 指定管理者の候補者選定に関する報告聴取の件 [経済部次長兼経済企画局長報告]
1. 北海道におけるまん延防止等重点措置に関する報告聴取の件 [経済部次長報告]

## 質 疑

1. 山根 理広委員 (民主)  
～指定管理者の候補者選定について

## 質 問

1. 広田 まゆみ委員 (民主)  
～コロナ禍前後の北海道の雇用環境の変化と対策について
1. 寺島 信寿委員 (公明)  
～スタートアップについて

○2月24日(木) 開議 午前10時13分  
散会 午前11時36分  
第7委員会室  
委員長 梶谷 大志 (民主)

## 議 事

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [経済部長、企業局長説明]
1. 新型コロナウイルス感染症による影響調査の結果概要に関する報告聴取の件 [経済部次長兼経済企画局長報告]
1. 「北海道小規模企業振興条例（改正案）」及び「新たな北海道小規模企業振興方策（案）」に関する報告聴取の件 [地域経済局長報告]
1. 北海道経済構造の転換を図るための企業立地の促進及び中小企業の競争力の強化に関する条例施行規則の一部改正（素案）に関する報告聴取の件 [産業振興局長報告]

## 質 疑

1. 広田 まゆみ委員（民主）  
～「北海道小規模企業振興条例（改正案）」及び「新たな北海道小規模企業振興方策（案）」について

## 質 問

1. 寺島 信寿委員（公明）  
～創業の促進について

○3月23日（水） 開議 午前10時13分  
散会 午前10時27分  
第7委員会室  
委員長 梶谷 大志（民主）

## 付託案件の審査

- 議案第31号  
北海道経済部手数料条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)
- 議案第32号  
北海道小規模企業振興条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)
- 議案第33号  
北海道労働審議会条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)
- 議案第48号ないし第51号  
公の施設の指定管理者の指定に関する件  
(原案可決)

## 議 事

1. 付託議案審査の件

1. 道外調査実施の件 [決定]
1. 北海道経済構造の転換を図るための企業立地の促進及び中小企業の競争力の強化に関する条例施行規則の一部改正（案）に関する報告聴取の件 [産業振興局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 農 政 委 員 会

○1月12日（水） 開議 午後1時15分  
散会 午後2時7分  
第10委員会室  
委員長 船橋 賢二（自民）

## 開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、農政部長]

## 議 事

1. 令和3年度国費補正予算及び令和4年度国費予算概算決定に関する報告聴取の件 [農政部長報告]
1. 令和4年度畜産物価格等に関する報告聴取の件 [生産振興局長報告]
1. 令和4年産米の「米生産の目安」に関する報告聴取の件 [生産振興局長報告]
1. 「畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律施行条例（仮称）（素案）」等に係る意見募集結果に関する報告聴取の件 [生産振興局長報告]
1. 北海道農業農村整備推進方針の改定（素案）に関する報告聴取の件 [農村振興局長報告]

## 質 疑

1. 植村 真美委員（自民）  
～令和3年度国費補正予算及び令和4年度国費予算概算決定について
1. 中司 哲雄委員（自民）  
～令和4年度畜産物価格等について（意見）
1. 本間 勲委員（自民）  
～令和4年産米の「米生産の目安」について

## 質 問

1. 植村 真美委員（自民）  
～水田活用の直接支払交付金について

国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金  
に関する件（原案可決）

○2月1日（火） 開議 午後1時7分  
散会 午後1時47分  
第10委員会室  
委員長 船橋 賢二（自民）

### 請願の審査

請願第1号  
「日米貿易交渉での食料輸入拡大の中止を求め  
る意見書」の提出を求める件  
(継続審査)

### 議事

1. 国における農地施策の見直しに関する報告聴  
取の件 [農業経営局長報告]  
1. 令和4年普及奨励等となった農業技術の概要  
に関する報告聴取の件  
[技術普及課首席普及指導員報告]

### 議事

1. 付託議案審査の件  
1. 意見案発議の件 [決定]  
1. 北海道農業農村整備推進方針の改定（案）に  
関する報告聴取の件 [農村振興局長報告]  
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件  
[決定]  
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

### 質疑

1. 白川 祥二委員（結志）  
～国における農地施策の見直しについて

### 質問

1. 鈴木 一磨委員（民主）  
～種バレイショの生産について

## 水産林務委員会

○1月12日（水） 開議 午後1時10分  
散会 午後1時28分  
第8委員会室  
委員長 佐藤 禎洋（自民）

○2月24日（木） 開議 午前10時9分  
散会 午前10時20分  
第10委員会室  
委員長 船橋 賢二（自民）

### 開議前

1. 新年の挨拶 [委員長、水産林務部長]

### 議事

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説  
明聴取の件 [農政部長説明]

### 議事

1. 令和4年度国費予算案の概要に関する報告聴  
取の件 [水産林務部長報告]  
1. 北海道森林づくり基本計画及び道有林基本計  
画に係る道民意見に関する報告聴取の件  
[水産林務部長、林務局長、森林環境局長兼  
全国育樹祭推進室長報告]

○3月23日（水） 開議 午前10時15分  
散会 午前10時25分  
第10委員会室  
委員長 船橋 賢二（自民）

### 付託案件の審査

議案第20号  
畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律施  
行条例案（原案可決）

議案第34号  
北海道農政部手数料条例の一部を改正する条例  
案（原案可決）

議案第40号

○2月1日（火） 開議 午後1時8分  
散会 午後1時17分  
第8委員会室  
委員長 佐藤 禎洋（自民）

### 開議前

1. 故川尻秀之委員の逝去を悼み黙禱

## 議 事

1. 議席の一部変更の件 [決定]
1. 北海道森林吸収源対策推進計画（素案）に関する報告聴取の件  
[林務局森林計画担当局長報告]
1. 「道民の森」の指定管理者候補者の選定結果に関する報告聴取の件  
[森林環境局長兼全国育樹祭推進室長報告]

○2月24日（木） 開議 午前10時10分  
散会 午前10時45分  
第8委員会室  
委員長 佐藤 禎洋（自民）

## 議 事

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件  
[水産林務部長、水産林務部次長、林務局長説明]
1. 北海道森林づくり基本計画（案）及び道有林基本計画（案）に関する報告聴取の件  
[林務局長、森林環境局長兼全国育樹祭推進室長報告]
1. 「北海道地域材利用推進方針」の改正に関する報告聴取の件 [林務局長報告]
1. 第6期「北海道における林業労働力の確保の促進に関する基本計画」（案）に関する報告聴取の件 [林務局長報告]
1. 北海道採種園整備方針（案）及び道有採種園整備計画（案）に関する報告聴取の件  
[森林計画担当局長報告]

○3月23日（水） 開議 午前10時16分  
散会 午前11時5分  
第8委員会室  
委員長 佐藤 禎洋（自民）

## 付託案件の審査

議案第52号

公の施設の指定管理者の指定に関する件  
(原案可決)

## 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 稚内水産試験場試験調査船「北洋丸」竣工式

出席の件 [決定]

1. 第8次栽培漁業基本計画（素案）に関する報告聴取の件  
[水産局水産基盤整備担当局長報告]
1. 第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会の基本計画に関する報告聴取の件  
[水産林務部技監報告]
1. 「北海道森林吸収源対策推進計画」（案）に関する報告聴取の件  
[林務局森林計画担当局長報告]
1. 胆振東部地震森林再生実施計画（案）に関する報告聴取の件  
[林務局森林計画担当局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 質 問

1. 吉田 正人委員（自民）  
～北海道日本海沿岸漁業振興会議からの要望等について

## 建設委員会

○1月12日（水） 開議 午後1時14分  
散会 午後1時33分  
第9委員会室  
委員長 千葉 英也（自民）

## 開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、建設部長]

## 議 事

1. 随時調査実施の件 [決定]
1. 令和4年度国費予算案に関する報告聴取の件  
[建設部長報告]
1. 道道岩見沢桂沢線の道路陥没に関する報告聴取の件  
[建設政策局施設保全防災担当局長報告]
1. 「北海道高齢者居住安定確保計画」（素案）に関する報告聴取の件 [住宅局長報告]

○2月1日（火） 開議 午後1時7分  
散会 午後1時24分  
第9委員会室  
委員長 千葉 英也（自民）

## 議 事

1. 千歳川遊水地群完成式出席報告の件  
[委員長報告]
1. 指定管理者の候補者選定に関する報告聴取の件  
[建設部長報告]

## 質 問

1. 星 克明委員（自民）  
～津波対策について
1. 中野渡 志穂委員（公明）  
～「北海道インフラゼロカーボン試行工事」について

○2月24日（木） 開議 午前10時13分  
散会 午前10時58分  
第9委員会室  
委員長 千葉 英也（自民）

## 議 事

1. 随時調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [建設部長説明]
1. 盛土による災害防止に向けた総点検結果に関する報告聴取の件 [建設政策局長報告]
1. 学校の通学路の安全確保に関する報告聴取の件 [土木局長報告]
1. 建築基準行政におけるデジタル化の推進に関する報告聴取の件 [住宅局長報告]
1. 「北海道住生活基本計画」（案）に関する報告聴取の件 [住宅局長報告]
1. 「北海道高齢者居住安定確保計画」（案）に関する報告聴取の件 [住宅局長報告]

## 質 疑

1. 北口 雄幸委員（民主）  
～学校の通学路の安全確保について
1. 中野渡 志穂委員（公明）  
～「北海道高齢者居住安定確保計画」（案）について

## 質 問

1. 星 克明委員（自民）  
～建設産業における担い手確保等について

○3月23日（水） 開議 午前10時16分  
散会 午前10時55分  
第9委員会室  
委員長 千葉 英也（自民）

## 付託案件の審査

- 議案第35号  
北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)
- 議案第36号  
北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)
- 議案第37号  
都市計画法施行条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)
- 議案第41号  
訴えの提起に関する件 (原案可決)
- 議案第53号ないし第63号及び第69号  
公の施設の指定管理者の指定に関する件  
(原案可決)
- 議案第71号  
河川法に基づく一級河川の指定についての意見に関する件  
(原案可決)

## 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 旭川東神楽道路開通式出席の件 [決定]
1. 根室市域の沿岸における高潮浸水想定区域の指定に関する報告聴取の件 [土木局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

## 質 疑

1. 北口 雄幸委員（民主）  
～付託議案について

## 文 教 委 員 会

○1月12日（水） 開議 午後1時15分  
散会 午後2時55分  
第11委員会室  
委員長 吉川 隆雅（自民）

## 開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、教育部長]

## 議 事

1. 令和4年度(2022年度)文部科学関係予算(案)の概要に関する報告聴取の件

[教育部長、学事課長報告]

1. 「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」調査結果のポイントに関する報告聴取の件

[学校教育局指導担当局長兼学校教育局新型コロナウイルス感染症対策担当局長報告]

1. 令和3年度学校における働き方改革北海道アクション・プランに係る取組状況調査結果に関する報告聴取の件 [教職員局長報告]

## 質 疑

1. 赤根 広介委員(結志)  
～令和4年度(2022年度)文部科学関係予算(案)の概要について

1. 大越 農子委員(自民)  
～「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」調査結果のポイントについて

1. 小泉 真志委員(民主)  
～令和3年度学校における働き方改革北海道アクション・プランに係る取組状況調査結果について

## 質 問

1. 大越 農子委員(自民)  
～道立近代美術館について

1. 松山 丈史委員(民主)  
～北海道立近代美術館について

1. 清水 拓也委員(自民)  
～高校の主権者教育について

1. 小泉 真志委員(民主)  
～北海道立青少年体験活動支援施設の指定管理について

○2月1日(火) 開議 午後1時7分  
散会 午後2時34分  
第11委員会室  
委員長 吉川 隆雅(自民)

## 議 事

1. 北海道におけるまん延防止等重点措置に関する報告聴取の件 [教育部長報告]

1. 指定管理者の候補者選定に関する報告聴取の件 [生涯学習推進局長報告]

## 質 疑

1. 赤根 広介委員(結志)  
～北海道におけるまん延防止等重点措置について

## 質 問

1. 大越 農子委員(自民)  
～道立高校の暑さ対策について

- ～児童生徒の生理問題について

1. 松山 丈史委員(民主)  
～高校の施設設備と長期休業について

1. 佐々木 大介委員(自民)  
～学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について

1. 小泉 真志委員(民主)  
～教員の欠員について

1. 宮川 潤委員(共産)  
～特別支援学校の設置基準等について

○2月24日(木) 開議 午前10時13分  
散会 午前11時30分  
第11委員会室  
委員長 吉川 隆雅(自民)

## 議 事

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [教育部長、学事課長説明]

1. 令和5年度全国高等学校総合体育大会北海道実行委員会第2回総会に関する報告聴取の件 [学校教育局長報告]

1. 「これからの高校づくりに関する指針」の検証結果に関する報告聴取の件 [学校教育局高校配置担当局長報告]

1. 学校の通学路の安全確保に関する報告聴取の件 [学校教育局指導担当局長兼学校教育局新型コロナウイルス感染症対策担当局長報告]

1. 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の北海道版結果報告書に関する報告聴取の件

[学校教育局指導担当局長兼学校教育局新型コロナウイルス感染症対策担当局長報告]

## 質 疑

1. 佐々木 大介委員（自民）  
～「これからの高校づくりに関する指針」の検証結果について
1. 大越 農子委員（自民）  
～令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の北海道版結果報告書について

## 質 問

1. 大越 農子委員（自民）  
～道立近代美術館について  
～教員の確保について
1. 小泉 真志委員（民主）  
～コロナ禍の学校の対応について

○3月2日（水） 開議 午後1時40分  
散会 午後6時20分  
第11委員会室  
委員長 吉川 隆雅（自民）

## 開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介

## 議 事

1. 青少年体験活動支援施設ネイパル指定管理者公募に関する調査報告に関する報告聴取の件  
[教育部長報告]

## 質 疑

1. 清水 拓也委員（自民）  
～青少年体験活動支援施設ネイパル指定管理者公募に関する調査報告について
1. 小泉 真志委員（民主）  
～青少年体験活動支援施設ネイパル指定管理者公募に関する調査報告について
1. 赤根 広介委員（結志）  
～青少年体験活動支援施設ネイパル指定管理者公募に関する調査報告について
1. 安藤 邦夫委員（公明）  
～青少年体験活動支援施設ネイパル指定管理者公募に関する調査報告について
1. 宮川 潤委員（共産）  
～青少年体験活動支援施設ネイパル指定管理者公募に関する調査報告について

○3月7日（月） 開議 午後1時6分  
散会 午後2時14分  
第11委員会室  
委員長 吉川 隆雅（自民）

## 議 事

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [教育部長、学事課長説明]

## 質 問

1. 清水 拓也委員（自民）  
～道立青少年体験活動支援施設の指定管理者の公募について
1. 松山 丈史委員（民主）  
～ネイパルをめぐる調査について
1. 赤根 広介委員（結志）  
～指定管理者制度に係わる諸問題について

○3月23日（水） 開議 午前10時30分  
散会 午後3時45分  
第11委員会室  
委員長 吉川 隆雅（自民）

## 付託案件の審査

- 議案第91号ないし第95号  
公の施設の指定管理者の指定に関する件  
(原案可決)
- 議案第64号ないし第68号  
公の施設の指定管理者の指定に関する件  
(原案可決)

## 請願の審査

- 請願第6号  
私立学校の保護者負担を軽減するとともに教育環境の改善のための私学助成を充実することを求める件  
(継続審査)
- 請願第13号  
道立高校の定員内は受検者全員を合格させることを求める件  
(継続審査)
- 請願第20号  
ゆたかな私学教育の実現を求める私学助成に関する件  
(継続審査)
- 請願第21号  
「私立学校生徒の学費無償化」を求める件

(継続審査)

請願第22号

北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求め  
る件 (継続審査)

## 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件  
[決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件  
[決定]

## 質 疑

1. 清水 拓也委員 (自民)  
～付託議案について
1. 小泉 真志委員 (民主)  
～付託議案について
1. 赤根 広介委員 (結志)  
～付託議案について
1. 宮川 潤委員 (共産)  
～付託議案について
1. 松山 丈史委員 (民主)  
～付託議案について

## 質 問

1. 清水 拓也委員 (自民)  
～特別支援学校におけるスクールバスについて
1. 小泉 真志委員 (民主)  
～学校における食育推進体制の整備について
1. 大越 農子委員 (自民)  
～学校における女性教職員の活躍推進について

# 特別委員会

## 産炭地域振興・エネルギー問題 調査特別委員会

○1月13日(木) 開議 午前10時10分  
散会 午前10時36分  
第7委員会室  
委員長 田中 芳憲(自民)

### 開議前

1. 新年の挨拶 [委員長、経済部長]

### 議事

1. 令和4年度予算政府案等の概要に関する報告  
聴取の件 [環境・エネルギー局長報告]

### 質問

1. 広田 まゆみ委員(民主)  
～省エネルギー推進に向けた取組について

○2月2日(水) 開議 午前10時6分  
散会 午前10時59分  
第7委員会室  
委員長 田中 芳憲(自民)

### 議事

1. 「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動  
計画【第Ⅲ期】」の改定素案に関する報告聴取  
の件 [環境・エネルギー局長報告]

### 質問

1. 笠井 龍司委員(自民)  
～洋上風力の取組状況について
1. 広田 まゆみ委員(民主)  
～省エネ・新エネ促進行動計画【第Ⅲ期】の改  
定素案等について  
～北海道における非効率石炭火力フェードアウト  
について

○2月24日(木) 開議 午後1時10分  
散会 午後1時21分  
第7委員会室  
委員長 田中 芳憲(自民)

### 議事

1. 副委員長辞任の件 [決定]
1. 副委員長互選の件  
副委員長当選者 小泉 真志
1. 議席の一部変更の件 [決定]
1. 理事の一部変更の件 [決定]
1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説  
明聴取の件 [経済部長、危機管理監説明]

○3月23日(水) 開議 午後1時8分  
散会 午後2時45分  
第7委員会室  
委員長 田中 芳憲(自民)

### 請願の審査

請願第9号

寿都町における特定放射性廃棄物最終処分場誘  
致の文献調査についての件 (継続審査)

請願第18号

石狩市厚田区聚富・望来と石狩市八幡町高岡八  
の沢及び当別町西当別風力発電事業に反対を求  
める件 (継続審査)

請願第24号

北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設  
建設地選定に係る概要調査断念についての件  
(継続審査)

請願第25号

北海道における特定放射性廃棄物最終処分施設  
建設地選定に係る調査中止及び最終処分地の受  
入れをしないことを求める件 (継続審査)

請願第26号

寿都町・神恵内村での特定放射性廃棄物最終処  
分施設建設地選定に係る文献調査の取りやめに  
ついての件 (継続審査)

### 議事

1. 「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動  
計画【第Ⅲ期】」の改定案に関する報告聴取の  
件 [環境・エネルギー局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件  
[決定]

### 質疑

1. 村田 憲俊委員(自民)

～「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画【第Ⅲ期】」の改定案について

1. 菊地 葉子委員（共産）

～「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画【第Ⅲ期】」の改定案について

## 質 問

1. 池端 英昭委員（民主）

～幌延深地層研究センターを使用するNUMO等との共同研究計画について

## 北方領土対策特別委員会

- 1月13日（木） 開議 午前10時15分  
散会 午前10時45分  
第8委員会室  
委員長 中野 秀敏（自民）

## 開 議 前

1. 新年の挨拶  
[委員長、北方領土対策本部長]

## 議 事

1. 「北方領土の日」特別啓発期間に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]
1. 「北方領土の日」署名活動参加の件 [決定]
1. 令和4年度（2022年度）予算政府案の概要に関する報告聴取の件  
[北方領土対策局長報告]
1. 北方四島交流等事業における新型コロナウイルス感染症安全対策に関する報告聴取の件  
[北方領土対策局長報告]

## 質 問

1. 大越 農子委員（自民）  
～北方領土返還要求運動について

- 2月2日（水） 開議 午前10時11分  
散会 午前10時15分  
第8委員会室  
委員長 中野 秀敏（自民）

## 議 事

1. 北海道立北方四島交流センターに係る指定管理者の候補者選定に関する報告聴取の件

[北方領土対策本部長報告]

1. 2021年度北方領土動画コンテストの実施結果に関する報告聴取の件

[北方領土対策局長報告]

- 2月24日（木） 開議 午後1時8分  
散会 午後1時15分  
第8委員会室  
委員長 中野 秀敏（自民）

## 議 事

1. 「北方領土の日」署名活動参加報告の件  
[委員長報告]
1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [北方領土対策本部長説明]

- 3月23日（水） 開議 午後1時7分  
散会 午後1時31分  
第8委員会室  
委員長 中野 秀敏（自民）

## 付託案件の審査

議案第42号

公の施設の指定管理者の指定に関する件  
(原案可決)

## 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 「北方領土の日」特別啓発期間の取組等に関する報告聴取の件  
[北方領土対策局長報告]

## 質 問

1. 大越 農子委員（自民）  
～北方領土問題について
1. 藤川 雅司委員（民主）  
～北方領土問題について

## 新幹線・総合交通体系対策特別委員会

- 1月13日（木） 開議 午前10時13分  
散会 午前10時52分  
第9委員会室  
委員長 吉田 正人（自民）

## 開 議 前

1. 新年の挨拶

[委員長、総合政策部交通企画監]

**議 事**

1. 令和4年度予算政府案等の概要に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]
1. 公共交通利用促進ミーティングの開催結果に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]
1. 北海道新幹線並行在来線対策協議会第11回ブロック会議（後志地域）の開催結果に関する報告聴取の件  
[交通政策局鉄道担当局長兼新幹線担当局長報告]

**質 疑**

1. 梅尾 要一委員（自民）  
～令和4年度予算政府案等の概要について
1. 佐藤 禎洋委員（自民）  
～北海道新幹線並行在来線対策協議会第11回ブロック会議（後志地域）の開催結果について
1. 山根 理広委員（民主）  
～北海道新幹線並行在来線対策協議会第11回ブロック会議（後志地域）の開催結果について

○2月2日（水） 開議 午前10時8分  
散会 午前10時40分  
第9委員会室  
委員長 吉田 正人（自民）

**開 議 前**

1. 故川尻秀之委員の逝去を悼み黙禱

**議 事**

1. 議席の一部変更の件 [決定]
1. 令和3年度第2回北海道交通・物流連携会議物流対策ワーキンググループの開催結果に関する報告聴取の件  
[交通政策局物流港湾担当局長]
1. 航空路線の動きに関する報告聴取の件  
[航空局長]

**質 疑**

1. 山根 理広委員（民主）  
～令和3年度第2回北海道交通・物流連携会議物流対策ワーキンググループの開催結果につ

いて

**質 問**

1. 赤根 広介委員（結志）  
～交通需要喚起策について

○2月24日（木） 開議 午後1時7分  
散会 午後2時1分  
第9委員会室  
委員長 吉田 正人（自民）

**議 事**

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [交通政策局長説明]
1. 札幌圏の大雪に係る公共交通機関の対応状況等に関する報告聴取の件  
[交通政策局長報告]
1. 北海道新幹線並行在来線対策協議会第12回ブロック会議（後志地域）の開催結果に関する報告聴取の件  
[交通政策局鉄道担当局長兼新幹線担当局長報告]

**質 疑**

1. 赤根 広介委員（結志）  
～札幌圏の大雪に係る公共交通機関の対応状況等について
1. 山根 理広委員（民主）  
～北海道新幹線並行在来線対策協議会第12回ブロック会議（後志地域）の開催結果について

○3月23日（水） 開議 午後1時7分  
散会 午後1時39分  
第9委員会室  
委員長 吉田 正人（自民）

**議 事**

1. 令和2年度道管理空港の空港別収支の試算結果に関する報告聴取の件  
[航空局空港戦略担当局長報告]

**質 問**

1. 赤根 広介委員（結志）  
～地域交通の確保について

## 人口減少問題・地方分権 改革等調査特別委員会

散会 午後1時16分  
第4委員会室  
委員長 白川 祥二（結志）

○1月13日（木） 開議 午前10時11分  
散会 午前10時17分  
第4委員会室  
委員長 白川 祥二（結志）

### 開議前

1. 新年の挨拶  
[委員長、総合政策部地域振興監]

### 議事

1. 令和4年度地方創生関連予算政府案等の概要  
に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]

○2月2日（水） 開議 午前10時5分  
散会 午前10時23分  
第4委員会室  
委員長 白川 祥二（結志）

### 議事

1. ほっかいどう地域づくりチャレンジャーネット  
ワークに関する報告聴取の件  
[地域創生局長報告]

### 質疑

1. 寺島 信寿委員（公明）  
～ほっかいどう地域づくりチャレンジャーネット  
ワークについて
1. 中司 哲雄委員（自民）  
～ほっかいどう地域づくりチャレンジャーネット  
ワークについて

○2月24日（木） 開議 午後1時7分  
散会 午後1時12分  
第4委員会室  
委員長 白川 祥二（結志）

### 議事

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説  
明聴取の件 [総合政策部地域振興監説明]

○3月23日（水） 開議 午後1時5分

### 議事

1. 道と札幌市の連携による人口減少対策の取組  
状況に関する報告聴取の件  
[地域創生局長報告]

### 質疑

1. 中司 哲雄委員（自民）  
～道と札幌市の連携による人口減少対策の取組  
状況について

## 少子・高齢社会対策特別委員会

○1月13日（木） 開議 午前10時12分  
散会 午前10時21分  
第6委員会室  
委員長 松山 丈史（民主）

### 開議前

1. 新年の挨拶 [委員長、少子高齢化対策監]

### 議事

1. 令和4年度（2022年度）予算政府案の概要に  
関する報告聴取の件 [保健福祉部次長報告]

○2月2日（水） 開議 午前10時5分  
散会 午前10時28分  
第6委員会室  
委員長 松山 丈史（民主）

### 議事

1. 北海道ケアラー支援条例（仮称）（素案）に係  
る道民意見提出手続き（パブリックコメント）  
実施結果に関する報告聴取の件  
[高齢者支援局長報告]

### 質問

1. 宮川 潤委員（共産）  
～保育施設及び介護施設等における新型コロナ  
ウイルス感染症対策について

○2月24日(木) 開議 午後1時7分  
散会 午後1時20分  
第6委員会室  
委員長 松山 丈史(民主)

#### 議 事

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [少子高齢化対策監説明]

#### 質 問

1. 瀧上 綾子委員(民主)  
～流産や死産を経験した方への支援について

○3月23日(水) 開議 午後1時6分  
散会 午後1時30分  
第6委員会室  
委員長 松山 丈史(民主)

#### 付託案件の審査

議案第19号  
北海道ケアラー支援条例案 (原案可決)

#### 請願の審査

請願第12号  
子ども医療費無料化を求める件 (継続審査)

#### 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 意見案発議の件 [決定]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]

#### 質 問

1. 船橋 賢二委員(自民)  
～コロナ禍における介護保険事業所への支援について

### 食と観光対策特別委員会

○1月13日(木) 開議 午前10時13分  
散会 午前10時36分  
第5委員会室  
委員長 沖田 清志(民主)

#### 開 議 前

1. 新年の挨拶 [委員長、経済部観光振興監]

#### 議 事

1. 令和4年度予算政府案の概要に関する報告聴取の件  
[経済部観光振興監、農政部食の安全推進監報告]

#### 質 問

1. 村田 光成委員(自民)  
～どうみん割事業等について
1. 木葉 淳委員(民主)  
～新しい旅のスタイル及びどうみん割について

○2月2日(水) 開議 午前10時5分  
散会 午前10時11分  
第5委員会室  
委員長 沖田 清志(民主)

#### 議 事

1. 道内における野鳥からの高病原性鳥インフルエンザウイルスの確認に関する報告聴取の件  
[食の安全推進局長報告]

○2月24日(木) 開議 午後1時10分  
散会 午後2時12分  
第5委員会室  
委員長 沖田 清志(民主)

#### 議 事

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件  
[経済部観光振興監、農政部食の安全推進監説明]
1. 第5期「北海道アウトドア活動振興推進計画」(案)に関する報告聴取の件  
[観光局長報告]
1. アドベンチャートラベルに対応した「新しいガイド制度のあり方」中間取りまとめ(案)に関する報告聴取の件 [観光局長報告]
1. 「バリアフリー観光推進方策」(案)に関する報告聴取の件 [観光局誘客担当局長報告]
1. 新しい旅のスタイルに関する報告聴取の件  
[観光局誘客担当局長報告]
1. 「北海道有機農業推進計画(第4期)」(案)に

関する報告聴取の件

[食の安全推進局長報告]

1. 北海道の食品ロス発生量の推計（令和元年度分）等に関する報告聴取の件

[食の安全推進局長報告]

## 質 疑

1. 真下 紀子委員（共産）  
～新しい旅のスタイルについて  
～北海道の食品ロス発生量の推計（令和元年度分）等について

## 質 問

1. 小岩 均委員（民主）  
～高病原性鳥インフルエンザについて

○3月23日（水） 開議 午後1時4分

散会 午後1時10分

第5委員会室

委員長 沖田 清志（民主）

## 議 事

1. 「令和3年度上期北海道観光入込客数調査」の概要に関する報告聴取の件 [観光局長報告]

## 北海道地方路線問題調査特別委員会

○1月13日（木） 開議 午後1時11分

散会 午後1時31分

第4委員会室

委員長 喜多 龍一（自民）

## 開 議 前

1. 新年の挨拶  
[委員長、総合政策部交通企画監]

## 議 事

1. J R北海道に対する国の支援の状況に関する報告聴取の件  
[交通政策局鉄道担当局長兼新幹線担当局長報告]

## 質 疑

1. 赤根 広介委員（結志）  
～J R北海道に対する国の支援の状況について

○2月2日（水） 開議 午後1時17分

散会 午後1時52分

第4委員会室

委員長 喜多 龍一（自民）

## 議 事

1. 根室本線対策協議会 J R 根室線富良野～新得間関係市町村長会議の開催結果に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]

## 質 疑

1. 鈴木 一磨委員（民主）  
～根室本線対策協議会 J R 根室線富良野～新得間関係市町村長会議の開催結果について
1. 真下 紀子委員（共産）  
～根室本線対策協議会 J R 根室線富良野～新得間関係市町村長会議の開催結果について
1. 本間 勲委員（自民）  
～根室本線対策協議会 J R 根室線富良野～新得間関係市町村長会議の開催結果について（意見）

○2月24日（木） 開議 午後2時30分

散会 午後3時42分

第4委員会室

委員長 喜多 龍一（自民）

## 議 事

1. 令和4年第1回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [総合政策部交通企画監説明]
1. 札幌圏の大雪に係る J R 北海道の対応状況等に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]
1. 国土交通省による「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」の設置に関する報告聴取の件  
[交通政策局鉄道担当局長兼新幹線担当局長報告]

## 質 疑

1. 三好 雅委員（自民）  
～札幌圏の大雪に係る J R 北海道の対応状況等について
1. 真下 紀子委員（共産）  
～札幌圏の大雪に係る J R 北海道の対応状況等

について

1. 三好 雅委員（自民）  
～国土交通省による「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」の設置について
1. 赤根 広介委員（結志）  
～国土交通省による「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」の設置について
1. 真下 紀子委員（共産）  
～国土交通省による「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」の設置について

○3月23日（水） 開議 午後2時55分  
散会 午後3時1分  
第4委員会室  
委員長 喜多 龍一（自民）

## 議 事

1. J R北海道における札幌圏大雪による大規模輸送障害の検証と改善策などに関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]

## 予算特別委員会

○3月11日(金) 開会 午後5時14分  
散会 午後5時24分  
第1委員会室  
委員長 笠井 龍司(自民)

- ① 委員長に笠井龍司委員(自民)、副委員長に松山丈史委員(民主)を選出。
- ② 付託議案に対する審査方法について、3分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、総合政策部、保健福祉部、出納局、道立病院局、選挙管理委員会、人事委員会、公安委員会及び監査委員、第2分科会は委員15人、所管は環境生活部、建設部、企業局、教育委員会及び収用委員会、第3分科会は委員15人、経済部、農政部、水産林務部、労働委員会、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁業管理委員会とする。  
各分科会に付託する議案は、別紙付託議案一覧のとおりとすること、先議に係る議案及び各分科会の審査における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員は、別紙分科委員名簿のとおりとする。

### ○第1分科会(委員15人)

小泉 真志(民主)	宮下 准一(自民)
渡邊 靖司(自民)	浅野 貴博(自民)
松本 将門(民主)	宮川 潤(共産)
中野渡志穂(公明)	菅原 和忠(民主)
丸岩 浩二(自民)	吉川 隆雅(自民)
沖田 清志(民主)	赤根 広介(結志)
八田 盛茂(自民)	角谷 隆司(自民)
高橋 文明(自民)	

### ○第2分科会(委員15人)

寺島 信寿(公明)	武田 浩光(民主)
星 克明(自民)	村田 光成(自民)
宮崎アカネ(民主)	小岩 均(民主)
中川 浩利(民主)	佐藤 禎洋(自民)
千葉 英也(自民)	花崎 勝(自民)
松山 丈史(民主)	安藤 邦夫(公明)
滝口 信喜(結志)	中司 哲雄(自民)
本間 勲(自民)	

### ○第3分科会(委員15人)

滝口 直人(自民)	内田 尊之(自民)
瀧上 綾子(民主)	荒当 聖吾(公明)
新沼 透(結志)	桐木 茂雄(自民)
清水 拓也(自民)	三好 雅(自民)
佐藤 伸弥(結志)	須田 靖子(民主)
高橋 亨(民主)	平出 陽子(民主)
富原 亮(自民)	藤沢 澄雄(自民)
大谷 亨(自民)	

- ④ 各分科会に分科委員長及び分科副委員長各1人を置くことを決定。
- ⑤ 付託議案の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。
- ⑥ 質疑・質問の方法等について、通告の形式により行うこと、補正予算先議に係る通告は、各派の質疑・質問時間の範囲内で、審査日の前日までに提出すること、発言の順位は本会議の一般質問に準じることを決定。
- ⑦ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑧ 本委員会の運営に当たり、正・副委員長、各分科会の正・副委員長及び分科会正・副委員長の配分のない会派から1人の理事をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することを決定。なお、諸派についても理事会に出席願うこととし、委員長の許可を得て発言することができるものとする。
- ⑨ 委員の異動等について、申出は原則、当日の理事会開催前までに提出することとし、委員の交代は議長の辞任許可及び補充指名を受けること、分科委員の所属変更は、委員長の承認を受け行うことを決定。

○3月14日(月) 開会 午後1時3分  
散会 午後3時5分  
第1委員会室  
委員長 笠井 龍司(自民)

- ① **議案第75号ないし第89号(先議案件)**を一括議題とし、質疑に入り、  
**渡邊 靖司委員(自民)**から、
  - 1 道路除雪経費について  
・今年度の道路除雪経費の執行状況及び今後の

- 執行見込み
  - ・道路除雪の今後の取組
- 2 生活福祉資金貸付事業費補助金について
  - ・これまでの貸付状況
  - ・償還開始に向けたサポートなどの今後の取組
- 3 保健福祉関係の義務的経費について
  - ・減額補正の要因
  - ・感染症検査助成費の増額の内容及び今後の対応
- 4 PCR等検査無料化推進事業費について
  - ・事業の進捗状況
  - ・検査が可能な登録事業所数及び検査キット確保の見込み
- 5 中小企業総合振興資金貸付金について
  - ・資金需要の見込み方
  - ・今年度の利用状況及び減額要因に対する認識
  - ・現下の経済情勢の分析
  - ・中小・小規模事業者の経営支援に対する今後の取組
  - ・制度改正に向けた考え
- 6 産地生産基盤パワーアップ事業などについて
  - ・当初予算と補正予算別の過去3か年の執行率
  - ・執行率が低い要因
  - ・地域の事業が先送りされている現状の受け止め及び今後の対応
  - ・年度内早期に対象地域の調整を行い、効果的に予算執行すべきとの考えに対する見解
- 7 財政運営について
  - ・税収増の要因分析及び現状認識
  - ・道税収入増に対する減債基金への積立額の考え方
  - ・積立留保額の解消に向けた減債基金への積み戻し額の考え方
  - ・昨年度まで行ってきた繰上償還との手法の違い及び来年度以降の取組
  - ・財政調整基金の残高に対する認識及び財務体質改善に向けた今後の取組

等について

**小泉 真志委員（民主）** から、

- 1 財政運営について
  - ・新型コロナウイルス感染症による経済社会活動の停滞等が令和3年度道税収入に及ぼした影響に関する分析
  - ・令和3年度当初予算における予算金利設定の考え方及び当初予算と実績との乖離要因

- ・減債基金100億円の積み戻しによる実質公債費比率の改善効果
  - ・比率改善に向けた今後の取組
  - ・財政調整基金への積立金の捻出方法
  - ・財政調整基金の確保に向けた今後の取組
  - ・臨時財政対策債を発行中止とした考え方及び発行中止による利子負担の減少状況
  - ・財政基盤の確立に向けた取組
  - 2 生活福祉資金貸付について
    - ・社会福祉協議会の安定的な事業運営のための取組
    - ・特例貸付の返済に係る道の取組
  - 3 中小企業総合振興資金貸付金について
    - ・令和3年度の資金需要の見込み方及び見込みと結果の相違点の分析
    - ・分析結果の中小企業施策への反映
  - 4 国民健康保険特別会計について
    - ・増額補正の要因
  - 5 ふるさと寄附基金について
    - ・ふるさと寄附基金積立金及び事業費の増額要因
    - ・ふるさと納税のさらなる獲得に向けた今後の取組
  - 6 新エネルギー導入加速化基金について
    - ・減額補正の要因
    - ・ゼロカーボン北海道の実現に向けた施策に対し、基金を積極的に活用できるよう用途の拡大などを検討すべきとの考えに対する所見
- 等について

**赤根 広介委員（結志）** から、

- 1 行財政問題について
  - ・法人2税と地方消費税の収入の伸びの差が生じる要因分析
  - ・道税収入の確保に係る所見
  - ・直近10年間の予算積算金利及び実績金利
  - ・公債費と予算編成方針との関係
  - ・道債の予算積算金利の積算方法に対する見解
- 2 生活福祉資金貸付事業について
  - ・生活福祉資金特例貸付の貸付原資及びこれまでの貸付実績
  - ・令和17年4月の償還終了までに要する道社協の件数等の事務費が令和3年度補正予算に計上されていることに対し、予算単年度主義に抵触しないかという考えに対する見解
  - ・道社協の適切な事業執行に対する担保

- 3 PCR等検査無料化推進事業などについて
  - ・検査キットの不足により円滑に検査を受けることができない状況が続いた原因及び事業の進捗の分析内容
  - ・検査体制整備の今後の取組
  - ・1日当たりの検査処理能力
  - ・検査の目詰まり改善の可能性及び対処方法
- 4 中小企業総合振興資金貸付金について
  - ・資金繰りが厳しくなるおそれがある中小企業に対する対応
- 5 産地生産基盤パワーアップ事業等について
  - ・事業計画の実現可能性の見極めに対する見解
- 6 ふるさと寄附基金について
  - ・企業版及び個人別のふるさと納税額
  - ・基金の活用内容
- 7 未来人材応援基金について
  - ・国際情勢が不透明さを増す中での今後の運営
- 8 新エネルギー導入加速化基金について
  - ・ゼロカーボン北海道の実現に当たっての基金の位置づけ

等について

**宮川 潤委員（共産）**から、

- 1 生活福祉資金貸付事業について
  - ・緊急小口資金及び総合支援資金の各年度の貸付件数及び貸付額
  - ・償還業務の実施状況と体制について、道社協と随時協議し、必要な対策を講じるべきとの考えに対する見解
- 2 国民健康保険事業特別会計について
  - ・今年度及び来年度分の道全体の納付金額
  - ・来年度の国保事業費納付金算定における市町村納付金縮減への取組
  - ・市町村の財政負担軽減と加入者の国保料引下げに向けた今後の取組
- 3 苫小牧東部地域開発及び石狩湾新港地域開発について
  - ・一般会計借入金を圧縮するために行った努力及びその成果
  - ・現状からの転換の必要性及び今後の対策
- 4 新エネルギー導入加速化基金について
  - ・減額補正の要因
  - ・既存施設を含めたZEB化の加速化に向けた取組

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長、総合政策部地域振興監、保健福祉部長、保健福祉部新型

コロナウイルス感染症対策監、経済部長、農政部長、建設部長、地域創生局長兼官民連携推進室長、福祉局長、健康安全局国保担当局長、産業振興局長、環境・エネルギー局長、財政課長、財政課資金担当課長、税務課長及び中小企業課金融担当課長から答弁があって、質疑を終結。

- ② 先議に係る議案に対する意見調整の結果、議案第79号及び第80号は意見の一致をみるに至らなかったことを報告。
- ③ 次に、議案第79号及び第80号を問題とし、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することに決定。
- ④ 次に、議案第75号ないし第78号及び第81号ないし第89号を問題とし、採決に入り、原案のとおり可決することを諮り、いずれも異議なく決定。
- ⑤ 先議に係る議案に対する審議経過及び結果に関する委員長報告については委員長に一任することに決定。
- ⑥ 委員長から、先議に係る付託案件に対する審査の終了に当たり、挨拶があつて閉会。

## 第 1 分 科 会

**○3月11日（金）** 開会 午後5時25分  
散会 午後5時36分  
第1委員会室  
第1分科委員長  
宮下 准一（自民）

- ① 分科委員長に宮下准一委員（自民）、分科副委員長に松本将門委員（民主）を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、渡邊靖司委員（自民）、小泉真志委員（民主）、赤根広介委員（結志）、中野渡志穂委員（公明）を選出。

**○3月16日（水）** 開議 午前10時  
散会 午後5時53分  
第1委員会室

第1分科委員長  
宮下 准一（自民）

① 道立病院局所管に対する質疑に入り、  
浅野 貴博委員（自民）から、

- 1 フレイル外来について
  - ・受診状況と効果に対する認識
  - ・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が講じられたことによる受診抑制への影響に対する認識
  - ・今後の取組
- 2 道立病院におけるコロナ対応について
  - ・患者の受入れ状況
  - ・体制強化の方法
  - ・体制整備への認識と今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、病院事業管理者、道立病院部長、道立病院局次長及び経営改革課長兼指定管理室長から答弁があつて、道立病院局所管に関する質疑を終結。

② 保健福祉部所管に対する質疑に入り、  
吉川 隆雅委員（自民）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・保健所の体制整備への対応方法
  - ・入院病床確保に対する現状認識と対応状況
  - ・医療関係者による施設療養者等への支援内容
  - ・自宅療養者に対応可能な医療機関と薬局の数及びオンライン診療実績と今後の対応
  - ・苫小牧市医療提供ステーションに係る設置の考え方と今後の対応
  - ・小児ワクチン接種に係る保護者等への不安解消の取組及び接種体制構築を含めた相談への対応
  - ・北海道ワクチン接種センターの開設以降の地域別や年代別の接種実績
  - ・道警職員や潜在看護師などへの追加接種実施の対応状況及びエッセンシャルワーカーの接種に対する認識
  - ・ワクチン接種センターの運営期間延長に向けた検討状況
  - ・追加接種の加速化に向けた取組
  - ・PCR等無料検査推進事業の実績と効果及び次年度予算計上の考え方
  - ・無料検査キットの確保やさらなる検査事業所の確保に向けた対応
  - ・高齢者施設等の感染防止対策の徹底に向けた

取組

- ・保育所等の休園を避けるための感染防止対策の徹底に向けた取組
  - ・今後の対応
- 2 生活困窮者への支援について
    - ・令和元年度以降の自立相談支援機関への新規相談件数
    - ・生活福祉資金貸付制度における特例貸付の実績
    - ・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の内容と利用状況
    - ・住居確保給付金の利用状況
    - ・自立相談支援機関による訪問相談の実施状況
    - ・自立相談支援機関の現状の受け止めと今後の対応
    - ・今後の取組

- 3 ケアラー支援について
  - ・道民への普及啓発を含めた具体的な取組
  - ・障がいのある人を支えるケアラー及び障がいを持つ本人への支援策の内容
  - ・ヤングケアラー実態調査の実施時期と内容
  - ・ヤングケアラーへの具体的支援内容
  - ・今後の対応

等について

小泉 真志委員（民主）から、

- 1 ケアラー支援について
  - ・実態調査結果への認識
  - ・回答回収率の他県との差に対する認識
  - ・新年度に実施する実態調査の目的と実施方法
  - ・小学生の調査方法への所見
  - ・ヤングケアラーや教職員の理解度を広げるための方策
  - ・相談支援体制の構築方法
  - ・具体的なオンラインサロンの設置方法
  - ・育児支援の基準年齢引上げに対する所見及び市町村における子育て世帯訪問支援臨時特例事業の早期導入に向けた所見
  - ・ヤングケアラー及び若者ケアラーに対する支援方法
  - ・ケアマネージャーへの調査の有効性に対する所見
  - ・計画策定までの支援内容
- 2 医療的ケア児の支援について
  - ・医療的ケア児支援センターの役割
  - ・センターの支援体制

- ・コーディネーターの地域偏在に対するセンターの支援体制
- ・医療的ケア児及び家族のニーズの把握方法
- ・医ケアカフェの増設に対する所見
- ・福祉避難所の確保状況
- ・医療的ケア児が災害時に入院した場合の費用負担割合
- ・医療機器類等の助成に係る市町村間の差の解消に向けた所見
- ・道立学校への通学支援を講じることの所見
- ・安心して子どもを生み育てることができる社会の実現に向けた所見

等について

**渡邊 靖司委員（自民）** から、

- 1 チャイルド・デス・レビューについて
  - ・モデル事業の概要と取組体制
  - ・制度の周知方法
  - ・これまでの取組経過
  - ・事業開始後の課題
  - ・今後の取組
- 2 アレルギー疾患対策について
  - ・主な疾患別の患者の状況
  - ・医療機関を対象とした実態調査の結果を踏まえた課題
  - ・北海道アレルギー疾患医療拠点病院の役割
  - ・今後の取組
- 3 道立江差高等看護学院について
  - ・被害学生や元学生への損害賠償額の提示を行う根拠と内容
  - ・金銭面以外の学生への救済策の進捗状況
  - ・専任の学院長と副学院長配置後の取組と効果
  - ・例年と比較した新年度の学生の入学予定者数
  - ・指導に当たる教員の体制確保への認識
  - ・今後の取組への認識

等について

**松本 将門委員（民主）** から、

- 1 看護職員等に関する処遇改善について
  - ・看護職員等処遇改善事業補助金に対する認識
  - ・補助金における道の役割
  - ・各医療機関への周知状況と具体的な対応内容
  - ・制度における課題
  - ・今後の取組

等について

**浅野 貴博委員（自民）** から、

- 1 バリアフリー推進について

- ・バリアフリー観光への保健福祉部が果たしてきた役割と関与の在り方
- ・これまでの取組と課題の認識
- ・情報発信状況の認識と今後の改善方法
- ・民間団体との連携への認識と今後の対応
- ・来年度の取組

等について

**赤根 広介委員（結志）** から、

- 1 児童福祉について
  - ・児相職員の配置増員の取組と職員の質の向上に向けた取組
  - ・弁護士配置による児相の法的業務に係る体制確保の取組状況
  - ・直近の一時保護の状況と環境整備の取組及び今後の対応
  - ・道内児相と道警察との情報共有状況及びチェック機能の状況
  - ・体制強化や関係機関との連携強化の取組状況
  - ・ICTを活用した業務の見える化や効率化などの改善に向けた取組状況
  - ・今後の取組内容
  - ・国のソーシャルネットワーキングサービスによる相談体制構築事業の内容と道として関わり方
  - ・特定妊婦の市町村における把握や支援状況の確認方法と支援体制整備の取組状況
  - ・児相による虐待事案への対応を審査する第三者評価制度導入に向けた取組状況と今後の対応
  - ・児童虐待防止対策の今後の取組と決意
- 2 新型コロナウイルス感染症対策と保健福祉政策について
  - ・高齢者及びその他の区分ごとのワクチンの追加接種状況と受け止め
  - ・ブレークスルー感染の状況
  - ・新年度予算におけるワクチン接種センター設置費用の計上の有無と検討状況
  - ・予算額における対応日数
  - ・陰性結果の未報告件数と認識及びその原因の把握方法と改善に向けた取組
  - ・おおよその検査件数と改善に向けた方策
  - ・従来 of 積極的疫学調査を再開するための判断基準の有無と濃厚接触者の追跡を行う必要がないとの考えに対する見解
  - ・新たな変異株や感染症の出現に備えるための

## 検査体制への課題と認識

- ・道立衛生研究所の検査体制強化に向けた取組
- ・新年度の医療機関再開支援事業の制度設計の変更の有無及びHEPAフィルターつき空気清浄機が補助対象となる理由と国や道における評価
- ・HEPAフィルターつき空気清浄機を飲食店へ設置することへの見解
- ・第6波における医療療養体制の新たな問題や課題
- ・自宅療養者等支援事業費予算の増額要因
- ・自宅療養者への食料や生活必需品セットの単価と委託先
- ・食料や生活必需品セットの配送遅れの原因と改善に向けた取組
- ・自宅療養の体制強化に向けた今後の取組
- ・訪問診療や介護などにおけるハラスメントを含む問題への認識
- ・従事者の安全を守る方策を社会全体で考える必要があるとの考えに対する見解と今後の対応
- ・他職種連携協議会における事案の把握状況と道からの問題提起の状況
- ・経口治療薬の配備状況と使用頻度及び副作用の有無を含む投与実績
- ・宿泊療養施設の4月以降の運営方法と運用面における問題の有無
- ・各宿泊療養施設との契約状況
- ・臨時医療施設の運営体制に対する検討状況と実際の運営を想定した試験運用の実施の有無
- ・臨時医療施設の設置期間の今後の取扱い
- ・保健・医療提供体制確保計画の見直しを含めた体制の確保への所見

等について

### 中野渡 志穂委員（公明）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・医療提供体制の状況
  - ・自宅療養者への支援充実に対する所見
  - ・高齢者施設等へのワクチン接種の進捗状況
  - ・追加接種の促進への取組
- 2 発達障がい等の受診待機等について
  - ・具体的な対応と有識者会議での議論の内容
  - ・今後の取組
- 3 不妊治療への保険適用について
  - ・周知の取組方法

## ・今後の取組

- 4 児童虐待の未然防止について
  - ・新規拡充事業の内容と実施市町村数
  - ・市町村への支援方法
  - ・困窮世帯への支援方法
  - ・今後の取組
- 5 遠隔医療の促進について
  - ・これまでの取組状況
  - ・取組による効果への見解
  - ・遠隔医療への認識と今後の取組
- 6 ドクターヘリについて
  - ・これまでの成果の認識と実績
  - ・出動できなかった場合の理由
  - ・ランデブーポイント確保の考え方と対応方法
  - ・離島における役割の認識
  - ・運行の課題
  - ・道消防防災ヘリとの連携方法

等について

### 菅原 和忠委員（民主）から、

- 1 スモンについて
  - ・病気の原因と内容
  - ・全国及び道内の発症状況と現在の患者数
  - ・国の患者救済の取組を受けた患者への対応
  - ・スモン基金の取組
  - ・今後の患者への支援
- 2 新型コロナウイルスワクチン接種について
  - ・接種の状況
  - ・未接種者への対応
  - ・3回目接種が遅れている原因
  - ・接種促進の取組

等について

### 沖田 清志委員（民主）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策等について
  - ・宿泊療養施設の最大時と直近の使用率
  - ・使用率が低くなった要因
  - ・宿泊療養施設の医療提供機能への転換と施設併設への所見
  - ・医療用抗原検査キットの有害性への認識
  - ・情報の周知徹底に向けた今後の取組

等について

### 宮川 潤委員（共産）から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・オミクロン株に係る対処方法と従来の感染症対策との相違点
  - ・療養形態別の患者数及び療養者数

- ・自宅療養者の健康状態の把握頻度と食料配付の今後の対応
  - ・自宅療養者への食料配付体制整備に対する見解
  - ・保健所が行ってきた行政検査を病院に委託する可能性への認識
  - ・PCR等検査無料化推進事業及び検査事業所の今後の展望
  - ・発熱外来設置箇所の推移及び増やすべきとの意見に対する見解
- 2 保健所について
- ・積極的疫学調査の変遷
  - ・積極的疫学調査縮小の理由は保健師の人員不足が原因との考えに対する見解
  - ・新型インフルエンザ対策総括会議報告書に対する認識
  - ・報告書を受けて実施した対応
  - ・感染症危機管理体制をどの時点から強化すべきかに対する認識と新型インフルエンザ対策総括提言との差異
  - ・現在の道立保健所及び衛生研究所の職員体制
- 3 地域医療について
- ・病床機能再編事業の概要
  - ・各年度ごとの病床削減実施医療機関数
  - ・新型コロナウイルス感染症の入院受入れ病院及び市町村で唯一の病院における病床削減の予定
  - ・公立・公的医療機関の役割に対する見解
- 4 保育士・介護士の処遇改善について
- ・有資格者数及び実就労者数
  - ・今後の需要及び就職者数の差の見通し
  - ・国の処遇改善策の概要
  - ・国の処遇改善策の実効性
  - ・有資格者の就業促進に向けた有効な方策
- 5 ケアラー支援について
- ・推進計画策定及び環境整備の時期
  - ・事業者支援の取組方法
  - ・積極的な財政上の措置への考え方
  - ・一層の取組の必要性
- 6 加齢性難聴に伴う補聴器購入費助成について
- ・難聴者に対する補聴器購入助成の現状
  - ・認知症と難聴との関係性に係る認識
  - ・補聴器購入費助成を実施している自治体数とその内容
  - ・加齢に伴う難聴者に対する助成制度の検討へ

## の見解

- ・独自支援を実施する市町村の状況把握をすべきとの考えに対する見解

等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長、保健福祉部新型コロナウイルス感染症対策監、保健福祉部少子高齢化対策監、地域医療推進局長、健康安全局長、感染症対策局長、福祉局長、高齢者支援局長、子ども未来推進局長、感染症対策局次長、感染症対策局医療体制担当局長、感染症対策局地域支援担当局長、福祉局障がい者支援担当局長、総務課政策調整担当課長、地域医療課長、医務業務課長兼感染症対策課参事、医務業務課看護政策担当課長、地域保健課長、感染症対策課長、感染症対策課参事、感染症対策課感染症予防対策担当課長、感染症対策課医療体制担当課長、感染症対策課療養体制担当課長、感染症対策課地域支援担当課長、地域福祉課長、地域福祉課法人運営担当課長、障がい者保健福祉課長、障がい者保健福祉課精神医療担当課長、高齢者保健福祉課長、高齢者保健福祉課介護運営担当課長、子ども子育て支援課長及び子ども子育て支援課自立支援担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、保健福祉部所管に関する質疑を終結。

○3月17日(木) 開議 午前10時1分  
散会 午後5時39分  
第1委員会室  
第1分科委員長  
宮下 准一(自民)

## ① 総合政策部所管に対する質疑に入り、 渡邊 靖司委員(自民)から、

- 1 航空政策について
  - ・コロナ禍前と対比した道内空港に係る航空機の利用者数の状況
  - ・航空需要回復に向けた取組の視点
  - ・空港所在自治体からの要望への対応
  - ・航空需要回復に向けた取組への考え方
- 2 丘珠空港について
  - ・利活用に対する最近の行政間における取組や今後の展望
  - ・丘珠紋別路線への取組や考え方
  - ・道が描く道内航空路線の将来像と達成の時期
- 3 交通政策について
  - ・大雪に伴う大規模運休検証結果の概要
  - ・今回の報告を中間報告とした理由
  - ・中間報告に対する評価
  - ・利用者目線の的確な情報提供の重要性への認識

- ・今後の対応
- 4 官民連携の推進について
  - ・ほっかいどう応援団の参加状況と支援の輪の拡大に向けた取組
  - ・具体的な企業との連携内容
  - ・今後の取組の重点事項
  - ・ここ数年のふるさと納税の実績とその評価
  - ・令和元年度からの企業版ふるさと納税の実績とその評価
  - ・来年度の官民連携の拡大に向けた取組
- 5 まん延防止等重点措置の対応等について
  - ・感染状況の認識と延長要請を行わない理由
  - ・措置解除を全道一律で判断した理由及び地域別の感染状況と病症使用状況に対する認識
  - ・措置の効果への認識
  - ・感染再拡大時の対応も含む今後の対応
- 6 国際情勢について
  - ・現在のワンストップ相談窓口の状況
  - ・今後の避難者に対する情報発信の考え方
  - ・道営住宅の確保における具体的な調整や検討の状況及び現在可能な支援の内容
  - ・今後の対応

等について

**小泉 真志委員（民主）** から、

- 1 総合交通政策について
  - ・根室線富良野―新得間のあるべき交通体系に向けた議論の内容
  - ・根室本線対策協議会関係市町村幹事会に観光関係者や観光施策の専門家及び有識者が参加したことはなかったにもかかわらず徹底的な検討が行われたとする認識
  - ・北海道交通政策総合指針の重点戦略における具体的な取組を踏まえた路線存続と維持への所見
  - ・石勝線災害時のトラックによる代替輸送の検証有無
  - ・今後に向けた検証の有無
  - ・大型免許保有者の減少による災害時の対応への影響
  - ・2024年4月1日からの時間外労働の制限により輸送力が低下する中での対応の可否
  - ・トラック運転手への負担が増す中でのトラックによる代替輸送や船舶輸送への対応の可否
  - ・強靱で持続可能な物流ネットワークの構築に向けた路線存続への所見

- ・札幌圏の大雪に係る中間報告への認識と道として必要な対策や支援を講じることへの所見等について

**吉川 隆雅委員（自民）** から、

- 1 道のデジタル化取組方針について
  - ・情報システム整備予算に係る課題の認識
  - ・デジタル化推進に向けたシステム更新経費の取扱いを含めた成果指標の考え方
  - ・中小企業の受注機会の確保拡大に向けた取組方針とパソコン全庁一括調達方針との整合性の考え方
  - ・北海道オープンデータポータルサイトへの機械判別可能なデータの掲載割合を高める取組の加速化に対する見解
  - ・オープンデータのダウンロード数を成果指標として設定することへの見解
  - ・効果的な活用につながるデータを公開するための今後の取組
  - ・テレワーク推進の成果指標をより高く具体的に設定すべきとの考えに対する見解
  - ・外部からのデジタル人材の活用方針
  - ・デジタル人材育成に際しての重点分野の選定に係る考え方
  - ・今後の対応
- 2 ドローンの利活用について
  - ・ドローン活用実証事業実施の背景と必要性及び具体的な事業展開の予定
  - ・フィールドでの実証事業の実施体制や仕組み
  - ・実証事業の成果流出に係る懸念への対処方法
  - ・道内における中長期的なドローン利活用方針
- 3 Society5.0の推進について
  - ・北海道Society5.0推進計画への取組内容と成果
  - ・市町村業務のデジタル化に向けた支援内容
  - ・本道IT産業の成長促進に向けた支援の方法
  - ・道の推進計画が果たす役割及び国の計画との整合性に係る見解
  - ・北海道Society5.0推進計画の推進に向けた取組
- 4 恐竜・古生物化石の活用について
  - ・これまでの北海道恐竜・化石ネットワーク研究会の活動における課題の認識
  - ・今後の北海道恐竜・化石ネットワーク研究会の運営方法
  - ・みんなおいでよ！恐竜・化石大陸ほっかいど

う展2022の成果及びイベントが地域振興に寄与した点への見解

- ・来年度における恐竜・古生物化石を活用した地域活性化の取組

等について

**松本 将門委員（民主）** から、

1 クラウドファンディングの活用について

- ・基本的認識
- ・過去の取組実績への認識
- ・ダムカード作成事業の進め方に対する見解
- ・来年度事業の事業数や目標額などへの認識
- ・来年度事業の目標額設定への考え方
- ・事業の実施及び事後確認に当たっての官民連携推進室の関わり方の認識
- ・来年度事業の追加実施の必要性への認識

2 道総研との連携について

- ・公的試験研究機関が担ってきた基礎的研究と基盤的な研究に対する認識及び研究部門に対するトップマネジメント維持の方法への認識
- ・道総研が担う役割に対する道の窓口と組織の在り方や業務の進め方などへの認識
- ・今後の連携の進め方への認識

等について

**浅野 貴博委員（自民）** から、

1 対ロシア交流について

- ・道におけるロシアの位置づけ
- ・庁内連絡会議の構成部局とこれまでの対応内容
- ・サハリン事務所の設置理由及び果たすべき役割
- ・極東ロシアに居住する道民の安全確保に係る対応
- ・在日ウクライナ大使館からの姉妹都市関係解消の呼びかけに対する文書授受の有無と認識及び要請があった場合の対応方策
- ・今後の対ロシア交流の在り方

2 移住促進等について

- ・地方への移住に対する首都圏の若者の意識変化への認識
- ・若者の地方移住への関心の高まりを受けた移住促進のこれまでの取組
- ・イベントや情報発信等の取組実績
- ・卓球用品企業との協定を軸とした留萌市の取組に対する評価とこの取組に対しての協力内

容及び移住促進に向けた受入れ市町村との連携の取組

- ・首都圏等への本道の魅力発信事業と地元高校の存続を目指す自治体関係者の取組との関係性
  - ・効果的な移住促進や関係人口の創出に戦略的に取り組む必要性への見解及び今後の取組
- 3 公共交通の利用促進などについて
- ・軽油引取税の減免措置を講じてほしいとの要望に対する認識と今後の対応
  - ・ぐるっと北海道事業のこれまでの販売期間と実績
  - ・ぐるっと北海道事業に対する事業者からの要望
  - ・事業者からの要望を踏まえた運用面での改善点
  - ・ぐるっと北海道事業における交通モード連携の内容
  - ・交通事業者間の連携強化に向けた取組
- 4 離島振興について
- ・これまでの取組
  - ・北海道離島振興計画における施策の達成状況への認識
  - ・離島振興法の改正・延長に対する認識とこれまでの取組
  - ・離島における灯油高騰に対する認識と対応
  - ・今後の取組

等について

**赤根 広介委員（結志）** から、

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・これまでの対策の効果に対する認識
- ・第6波において見えてきた課題
- ・まん延防止等重点措置の措置要請の判断のタイミングに対する認識
- ・オミクロン株に合った対策の具体的な内容
- ・対策を十分に講じることができたとの認識の有無
- ・措置の再延長の要請を不要と判断するに当たって見込んだ感染再拡大のリスクと国との調整内容
- ・需要喚起策の迅速な再開に向けた検討の指示の根拠
- ・まん延防止等重点措置の国への要請判断基準やレベル運用の考え方の変更の有無
- ・今後の取組

## 2 ゼロカーボン北海道の実現に向けた施策の推進について

- ・デジタルとゼロカーボンの掛け合わせの視点の新年度予算編成や事業構築への反映状況と予算編成段階における全庁的な共有状況
- ・重点政策をより大きな視点で政策的に推進する必要性に対する見解

## 3 交通政策について

- ・災害に強い交通戦略の取組状況
- ・大雪による交通障害への一連の対応の改善点
- ・JRだけでは解決できない課題の認識と道としての対応方法
- ・雪害対策強化に向けた今後の取組
- ・交通需要の回復に向けた交通事業者や市町村からの意見内容とその検討結果や知事の考え方の反映状況
- ・ぐるっと北海道の再開に向けた考え方と事業の在り方への見解
- ・ぐるっと北海道の3月22日からの再開の可否
- ・新千歳空港の国際航空路線の再開に向けたワーキングチームの取組状況と海外との交流再開に向けた国の動向の把握状況
- ・道内空港における往来の活発化を見据えた感染防止対策や水際対策への対応方法
- ・航空需要の段階的な回復に向けた取組
- ・周辺自治体も含めた地域間連携の取組イメージ
- ・交通需要の段階的な回復に向けた道筋と具体的な手法への所見

等について

**中野渡 志穂委員（公明）** から、

### 1 経済財政諮問会議による報告書について

- ・報告内容の受け止め
- ・今後の政策展開

### 2 地方創生とデジタルについて

- ・地域創生の取組への認識と成果
- ・地域格差の要因への認識
- ・日本海地域の振興に向けた課題認識と今後の取組
- ・デジタルで解決すべき地域課題の内容
- ・具体的な取組の展開方向
- ・今後の取組

### 3 若年層の定住に向けた環境づくりについて

- ・コロナ禍前後における人口移動の状況
- ・若年層の流出が大きい要因

- ・転出超過を抑える手法とこれまでの取組
- ・今後の取組

## 4 ウクライナ情勢の道内への影響等について

- ・各分野における影響の把握状況
- ・今後の対応

等について

**沖田 清志委員（民主）** から、

### 1 新型コロナウイルス感染症対策等について

- ・まん延防止措置解除の判断に至った理由
- ・解除の判断に整合が取れないことに対する所見
- ・第7波が来た場合のまん延防止等重点措置を要請する病床使用率の基準
- ・各振興局や地域ごとの病床使用率と感染状況
- ・まん延防止等重点措置を解除できないような病床使用率の高い地域の有無
- ・道独自対策を検討することに対する所見
- ・地域経済の回復や活性化につながる重点施策の考え方

### 2 地域創生について

- ・地域づくり総合交付金の新年度予算編成の考え方
- ・重点政策に掲げた内容を別予算措置としない考え方
- ・新年度の重点施策の予算を別枠にすべきとの考えに対する所見
- ・地域活性化に資する予算の増額に対する必要性の認識と地域支援に向けた取組

### 3 北海道 Society 5.0の推進について

- ・これまでの取組と課題
- ・課題と成果の内容の違い
- ・北海道コロナ通知システムが機能していないことに対する認識
- ・北海道コロナ通知システムの感染防止対策としての効果の有無
- ・北海道コロナ通知システムの評価及び改善点の有無並びによりよいものに改善する必要性への認識
- ・推進により道民生活に寄与する具体例を示す必要性への所見

### 4 道政運営について

- ・各計画等の意義や進捗管理に対する認識と見直しに向けた取組

### 5 新千歳空港の機能強化について

- ・直近の取組内容

- ・滑走路延長の必要性の認識
- ・用地の早期処分に向けた取組方法
- ・3本目の滑走路設置に対する所見
- ・JRのスルー化の必要性の認識と今後の取組

等について

**宮川 潤委員（共産）**から、

- 1 国際交流事業等について
  - ・ウクライナへ人道支援を実施することへの見解
  - ・来年度予算案におけるロシア関連事業で経済に対する事業の予算額と内容
  - ・ロシアに対する国の姿勢への認識と経済協力事業等を行わないことへの見解
- 2 北海道新幹線について
  - ・トンネル本坑からの発生土を石狩市内の中間処理施設に運ぶ方針とした経緯と理由
  - ・産業廃棄物処理される発生土の想定量と処理方法
  - ・建設残土の再資源化の取扱いと再資源化された土砂が無害であることの確認方法
  - ・残土の産廃処理に伴うコスト
  - ・住民への情報公開を機構に働きかけることへの見解
  - ・鉄道整備事業費負担金におけるこれまでの道負担累計と総負担額
  - ・工事実施計画の変更回数と認可額の変化及び当初の総工事費試算額との差
  - ・鉄道・運輸機構から示される工事費の妥当性の検証方法
  - ・知事意見の実行内容の把握状況
  - ・道民負担が増大しないよう機構に働きかけることへの見解

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長、総合政策部次世代社会戦略監、総合政策部地域振興監、総合政策部交通企画監、総合政策部次長兼政策局企画担当局長、政策局長、国際局長、次世代社会戦略局長、地域創生局長兼官民連携推進室長、交通政策局長、航空局長、政策局次長、国際局ロシア担当局長、次世代社会戦略局ICT推進担当局長、次世代社会戦略局科学技術振興担当局長兼科学技術振興課長、交通政策局鉄道担当局長兼新幹線担当局長、官民連携推進室参事、政策局参事、計画推進課長、国際課長兼多文化共生担当課長、国際課ロシア担当課長、デジタルトランスフォーメーション推進課長、デジタルトランスフォーメーション推進課地域デジタル担当課長、情報政策課長、地域戦略課地域創生担当課長、地域政策課長兼胆振東部地震災害復興支援担当課長、地域政策課移住交流担当課長、地域政策課未来人材

担当課長、交通企画課長、交通企画課公共交通支援担当課長、交通企画課地域交通計画担当課長、交通企画課鉄道企画担当課長、交通企画課新幹線推進担当課長、航空課長兼航空ネットワーク担当課長及び航空課空港戦略担当課長から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、総合政策部所管に関する質疑を終結。

## ② 出納局所管に対する質疑に入り、

**丸岩 浩二委員（自民）**から、

- 1 財務会計トータルシステムの見直しについて
  - ・現行システムの運用状況と見直しを判断した経緯
  - ・現行システムが有している機能
  - ・新たなシステム導入に伴い付加される機能
  - ・国の自治体情報システム標準化による道の財務会計システム見直しへの影響と他県の状況
  - ・システム見直しの手法
  - ・現行システムのセキュリティー確保と安定稼働の維持に対する考え
  - ・新たなシステムのセキュリティー確保に向けた対応の考え
  - ・全庁アンケートの実施結果と意見の概要
  - ・今後の見直しの検討方法

等について質疑、意見及び要望があり、会計管理者兼出納局長、出納局次長及び総務課長から答弁があって、出納局所管に関する質疑を終結。

**○3月18日（金）** 開議 午前10時2分  
閉会 午後4時19分  
第1委員会室  
第1分科委員長  
宮下 准一（自民）

## ① 総務部所管に対する質疑に入り、

**丸岩 浩二委員（自民）**から、

- 1 指定管理者制度について
  - ・制度導入の背景や経緯及び制度の狙い
  - ・制度の全庁的な利用状況
  - ・2期以上連続して同一の指定管理者となっている施設の数
  - ・繰り返し同一の指定管理者が選ばれる理由や事情
  - ・公平性確保のための制度的工夫
  - ・指定管理者となっている団体での道職員の再就職状況とその選定手続の調査に対する見解
  - ・原因究明や管理者の再選考などの適切な事後

- 処理のための制度的な工夫の検討
- ・今後の対応
- 2 Smart道庁の取組について
  - ・本年2月からのモバイルワークの先行実施の業務内容及び対象業務選定の理由
  - ・モバイルワークのメリットと職員への周知の方法
  - ・リバーズメンタリングの考え方と活用方法
  - ・電子データを基本とする仕事の進め方の具体的なイメージと目指す狙い
  - ・道民が成果を実感するための対応
  - ・新年度からのSmart道庁の取組の進め方
- 3 財政運営について
  - ・当初予算における道税収入見込みの考え方
  - ・新たな取組による収入未済額の縮減効果の見込額
  - ・令和4年度当初予算における一般財源総額の令和3年度対比の状況
  - ・財政見通しに差が生じた理由と中長期的な収支見直し策定の考え方
  - ・計画期間中の収支不足額の遡減に向けた取組
  - ・今後の財政運営の取組
- 4 職員表彰制度等について
  - ・制度の狙いや概要
  - ・表彰基準の明確化に向けた取組
  - ・最近の表彰の実績
  - ・表彰件数の大幅な引上げを検討することに対する見解
  - ・所属長からの具申の年間件数及び受賞割合の実績
  - ・管理職員の表彰制度等に向けた取組姿勢の評価
  - ・各所属独自の表彰制度検討に対する見解
  - ・職員の意欲を引き出すための表彰制度以外での検討状況
  - ・インセンティブの在り方も含めた抜本的見直しに対する見解
- 5 北海道史の編さんについて
  - ・今回の編さん方針
  - ・対象時期設定の考え方
  - ・業務を進めるための編さん体制
  - ・正確かつ公平とするための取組状況
  - ・デジタルライブラリーでの公開のメリットと道民への周知方法
  - ・広く活用されるための取組

- 6 知事公邸等の在り方検討について
  - ・あり方研究会からの意見や課題を踏まえた知事公邸の在り方
  - ・副知事公邸や職員宿舎の今後の取扱い
  - ・公館や緑地の今後の取扱

等について

**小泉 真志委員（民主）** から、

- 1 指定管理者制度について
  - ・道教委の顧問弁護士に外部調査を実施させたことに対する認識と事実の究明に至っていない中で指定管理者選考を進めたことに対する所見
  - ・新たに判明した事実に対する指定管理者制度所管部の見解
  - ・強制力のない第三者調査委員会による調査の有効性に対する所見
  - ・専門性がある方に事実解明をしてもらうべきとの考えに対する見解
  - ・ネイパル指定管理料の削減に対する認識と大幅減額では意欲と能力のある民間事業者の参入機会確保にはならないとの考えに対する所見
  - ・大幅減額では意欲と能力のある民間事業者の参入機会確保にはならないとの考えに対する所見
  - ・積算基準の妥当性及び指定管理者への応募数の減少に対する見解
  - ・積算基準の見直しに対する所見
  - ・事実が明らかになるまで道教委の直営とすべきとの考えに対する見解
  - ・実行ある再発防止策の構築に対する考え
- 2 財政運営について
  - ・行財政運営の基本方針における質の一層の向上の意味と具体的な取組内容
  - ・道債残高が史上初めて6兆円を超えた要因分析
  - ・収支対策を実効あるものとするための投資的経費の取舍選択の取組方法
  - ・地方債発行を抑制すべきとの考えに対する認識と令和7年度までの地方債発行額を示すべきとの考えに対する所見
  - ・定量的道債残高目標により計画的縮減に努めるべきとの考えに対する所見

等について

**浅野 貴博委員（自民）** から、

- 1 北方領土問題について
  - ・領土交渉の直近の関連する動きを含めた現状認識
  - ・平成30年度以降の北方領土隣接地域振興等基金の運用益と補助金額及び事業内容
  - ・補助財源の確保と基金活用の在り方に対する取組内容
  - ・第8期北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画の今後の在り方と次期計画の在り方に対する認識
  - ・今後の取組

等について

**松本 将門委員（民主）** から、

- 1 職場環境の整備について
  - ・安全衛生委員会の開催状況と議論内容
  - ・安全衛生委員会の対応とトイレ洋式化整備未了庁舎の今後の対応
  - ・安全衛生委員会の議論の状況と変化に対応できない職員への対応
- 2 人事施策について
  - ・人事施策基本方針改訂に向けた現時点における認識
  - ・新規採用者確保や新年度及び年度内の欠員解消や業務の繁閑に対する取組
  - ・これまでの取組の具体的な効果
- 3 組織機構について
  - ・組織機構改正に当たっての基本的な考え方
  - ・組織の再編や事務事業の見直しに当たっての政策評価の反映状況
  - ・組織体制の分かりやすさへの認識
  - ・組織名称に対する認識
  - ・今後の組織機構改正の在り方

等について

**赤根 広介委員（結志）** から、

- 1 行財政運営について
  - ・指揮室における時間外勤務の実態と1か月の最長の職員の時間数
  - ・100時間を超え面接指導を行った職員数と結果及び面談実施人数と実施割合
  - ・面接指導が行われなかった理由
  - ・面談が確実に実施されるための対応方法
  - ・メンタルヘルスによる長期間療養中の職員数と対応及びスマートフォンを活用した対応方法
  - ・職員の歯の健康に対する取組状況と歯科検診

実施に向けた見解

- ・歯科検診実施に向けた取組状況
  - ・職員の健康管理に向けた取組
  - ・過去5年の採用試験における受験者数・競争率・採用辞退率の推移
  - ・魅力ある職場づくりへのこれまで及び国の通知を踏まえた今後の取組
  - ・実質公債費比率改善に向けた今後の取組
  - ・今後の財政運営の取組
- 2 S m a r t道庁について
    - ・モバイルワーク普及や促進のための職員の不安解消に向けた取組
    - ・今後の取組
  - 3 防災減災対策について
    - ・雪害対応検証チームの具体的な検証内容
    - ・J R北海道が運輸局に報告した中間報告の内容と受け止め
    - ・自衛隊の派遣要請を行うことの検討に対する見解
    - ・今週末の悪天候に対する対応方針
    - ・実効性のある対策の取りまとめに向けた取組の所見
    - ・J Rに検証時期を早めるよう求める等の毅然とした今後の対応の必要性への所見
    - ・今後の防災減災の取組
  - 4 指定管理者制度について
    - ・第三者調査と道実施の調査との違い及び調査内容
    - ・指定管理者が自主財源を確保できる仕組みの検討状況
    - ・指定管理者の安定的な運営に向けた対応

等について

**中野渡 志穂委員（公明）** から、

- 1 火災発生時の備えについて
  - ・避難訓練実施に当たっての建物管理者の義務
  - ・地域単位の実施への認識
  - ・実施促進に向けた取組等
- 2 女性に配慮した避難所運営について
  - ・道の防災会議における女性委員の割合と女性視点の防災の取組における現状と課題
  - ・避難所における女性への配慮
  - ・女性の視点を取り入れた取組と避難生活後の対応等
- 3 公宅について
  - ・公宅の個数と老朽度合い並びに利用率と改修

の考え方

- ・老朽化した公宅の利用状況の把握と知事部局、教育庁、道警の相互利用への認識
- ・活用に向けた今後の対応と国際情勢を踏まえた避難者の空き公宅への受入れに対する見解

#### 4 札幌医科大学による地域医療への貢献について

- ・医師の派遣要請への対応と実績
- ・遠隔医療の取組
- ・今後の支援への考え方

等について

**菅原 和忠委員（民主）** から、

##### 1 大雪対策について

- ・過去と比較した今冬の札幌圏における降雪や積雪の状況
- ・札幌市からの支援要請の内容と対応及び札幌市以外からの支援要請の状況
- ・北海道雪害対策連絡部での議論内容とその活用
- ・交通障害等の雪害に対する受け止めと今後の対応
- ・融雪被害の発生防止に向けた事前対策
- ・大雪障害に備えるための連携体制の構築と検証に基づいた対策を講じるべきとの考えに対する所見

##### 2 消防防災ヘリコプターについて

- ・運航に係る職員配置と人数編成及び時間帯
- ・直近5年間において防災ヘリ運航時間外に関係機関が対応した実績
- ・関係機関との調整による対応の遅れや業務への支障の有無及び協議会等での意見
- ・平成26年度の24時間運航体制の中断から再開まで8年間を要した理由
- ・共同運航開始に向けて要した延べ人員と期間及び費用
- ・消防防災ヘリの運航業務への専従期間と人員計画及び操縦士や整備士の育成
- ・消防防災ヘリの運航再開に時間や費用を要したことへの受け止めと今後中断させないための取組

等について

**宮川 潤委員（共産）** から、

##### 1 指定管理者制度について

- ・指定管理者の業務内容の評価と指定への考え
- ・利用者住民からの評価を踏まえた厳格な手続

方法への認識

- ・選定委員選任に当たっての目的と基準
- ・ネイパルの選定委員の実態と利害関係者の有無
- ・選定委員の選任方法の見直しへの見解
- ・指定管理費の積算方法
- ・適正な委託費設定への見解
- ・指定管理者制度の見直し

##### 2 雪害対策について

- ・雪害対策連絡部会議の開催が遅くなった理由
- ・被害の予見可否及びJRや自治体との連絡体制の現状
- ・検証チームの検証内容と今後の対策
- ・各自自治体との連携による対応への見解
- ・救急車への影響
- ・大規模雪害時の対応における優先順位の考え方

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部職員監、総務部危機管理監、総務部次長兼行政局長、人事局長、財政局長、危機対策局長、北方領土対策本部北方領土対策局長、文書課道史編さん室長、財産課長、改革推進課長、人事課長、人事課職員活躍担当課長兼人事局参事、人事課給与服務担当課長、職員厚生課長、財政課長、財政課資金担当課長、税務課長、税務課税務対策担当課長、大学法人課長、危機対策課長、危機対策課防災教育担当課長、危機対策課消防担当課長、危機対策課防災航空室長及び北方領土対策課長から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、総務部所管に関する質疑を終結。

## 第 2 分科会

○3月11日（金） 開会 午後5時26分  
散会 午後5時36分  
第2委員会室  
第2分科委員長  
小岩 均（民主）

- ① 分科委員長に小岩均委員（民主）、分科副委員長に村田光成委員（自民）を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、星克明委員（自民）、宮崎アカネ委員

(民主)、滝口信喜委員(結志)、寺島信寿委員(公明)を選出。

○3月16日(水) 開議 午前10時  
散会 午後4時31分  
第2委員会室  
第2分科委員長  
小岩 均(民主)

① 建設部所管に対する質疑に入り、

村田 光成委員(自民)から、

1 住宅・建築物に関するゼロカーボンの取組について

- ・ZEHの普及状況
- ・本道におけるZEH化への考え方
- ・ZEHモデルの具体的な検討内容
- ・道内住宅のZEH化に向けた取組
- ・ZEB化の取組と建築物の省エネ基準との関係
- ・ZEB化に向けた検討内容と効果の見込み
- ・道有施設の脱炭素化に向けた取組方法
- ・市町村への技術的支援の対応方法
- ・取組を進めるための体制づくり
- ・今後の取組

2 流域治水対策について

- ・流域治水プロジェクトの参画者と取組内容及び策定状況
- ・道が管理する河川の整備状況
- ・将来の気候変動を考慮した治水対策
- ・今後の治水対策

3 土砂災害対策について

- ・土砂災害警戒区域等の指定状況及び指定の見直し
- ・住民への周知方法
- ・砂防施設の整備状況
- ・今後の取組

等について

中川 浩利委員(民主)から、

1 建設部における脱炭素化の取組について

- ・ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組と決意
- ・道有施設に関する具体的な対策
- ・道有施設の建て替え等の進捗状況
- ・庁舎のZEB化に向けた予算や課題に対する認識

- ・きた住まいる推進事業の目的
- ・道営住宅における見解
- ・真駒内アリーナの改築に対する見解
- ・真駒内アリーナの改築費用等に関する建設部の情報提供に対する認識

等について

滝口 信喜委員(結志)から、

1 気候変動対策について

- ・建設分野における取組
- ・脱炭素化に向けた取組の工事積算への反映に対する見解
- ・ロードヒーティングにおける今後の対応
- ・建築物省エネ法の改正予定の内容
- ・道有建築物の脱炭素化に向けた新年度の取組
- ・脱炭素化の取組の民間建築物への普及方法

2 建設産業の振興について

- ・現状における課題認識
- ・担い手確保の取組状況
- ・建設部発注工事における週休2日の取組状況
- ・令和4年度の設計労務単価と引上げ状況
- ・施工時期の平準化に対する取組
- ・昨年の外国人労働者の雇用状況と外国人材の活用についての考え方
- ・建設部土木技術職員の採用状況と年齢構成及び技術の継承対策
- ・今後の取組

等について

寺島 信寿委員(公明)から、

1 建設産業の担い手確保について

- ・道内建設業の就業者数と年齢構成の推移
- ・働き方改革や業界のイメージアップに対する取組
- ・ICTを活用した工事の取組状況
- ・今後の対応

2 建設部におけるデジタル化の推進について

- ・北海道Society 5.0推進計画に対する認識とこれまでの取組
- ・道路の維持管理における情報の電子化
- ・維持管理情報の活用に対する課題認識と取組方法
- ・今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、建設部長、建設部建築企画監、土木局長、住宅局長、建築局長、建設政策局施設保安防災担当局長、建設政策局建設業担当局長、建設政策課長、建設政策課政策調整担当課長、維持管理防災課維持担当課長、建設管理課

長、建設管理課建設業担当課長、建設管理課技術管理担当課長、河川砂防課長、都市環境課長、建築指導課長、計画管理課長、建築保全課長、建築整備課長及び建築整備課設備・環境担当課長から答弁があつて、建設部所管に関する質疑を終結。

## ② 環境生活部所管に対する質疑に入り、

**千葉 英也委員（自民）**から、

- 1 北海道地球温暖化防止活動推進員制度について
  - ・推進員の活動内容と効果
  - ・推進員の選定基準と経費負担
  - ・今後の取組
- 2 省エネ普及啓発活動について
  - ・地球温暖化防止に資する活動内容と効果
  - ・ほっかいどう・省エネ3Sキャンペーンの取組内容
  - ・地域特性を考慮した普及啓発活動
  - ・今後の取組
- 3 ナッジを活用した行動変容について
  - ・脱炭素社会に向けた行動変容促進事業委託業務の募集背景と業務内容
  - ・中間報告における情報入手方法と結果
  - ・検証結果と活用の方向性
- 4 ゼロカーボン北海道の推進について
  - ・道民の温室効果ガスの排出に係る意識向上に向けた認識
  - ・温室効果ガス排出量の見える化に係る取組
  - ・家庭部門における再エネの導入
  - ・市町村の温暖化対策計画の策定や地域の合意形成に対する支援
  - ・脱炭素化の取組の方向性と成果の発信方法
- 5 地球温暖化対策推進計画の改定について
  - ・1年で改定することとなった経緯
  - ・新たな温室効果ガスの削減目標値の設定に係る考え方
  - ・補助指標の設定の狙いと対象指標選定の考え方
  - ・地域脱炭素促進区域の設定基準に係る国での検討状況
  - ・今後の取組
- 6 成年年齢引下げに伴う消費者トラブルについて
  - ・成年年齢の引下げに至った背景
  - ・成年年齢引下げによる変更点
  - ・若年層が巻き込まれやすい消費者トラブルの

特徴

- ・未成年の取消権が非適用となった場合に想定されるトラブルの内容
- ・若年層の消費トラブルに係る対策
- ・今後の取組

等について

**武田 浩光委員（民主）**から、

- 1 ゼロカーボン北海道の実現について
  - ・部門別のCO<sub>2</sub>排出量
  - ・北海道地球温暖化対策推進計画の具体的な見直し内容と決定時期
  - ・計画見直しの経緯と新たなCO<sub>2</sub>削減目標の設定根拠
  - ・現計画の削減目標の内訳と原子力発電所の稼働を考慮していない趣旨
  - ・温室効果ガス削減等計画書等の提出及び公表の実績
  - ・業務部門における来年度の率先的な取組の内容
  - ・太陽光パネルの設置に向けた調査の内容
  - ・家庭部門における来年度の具体的な取組内容
  - ・暖房の効率的な利用を促す効果的な情報発信等に係る具体的な検証方法
  - ・ゼロカーボンシティー宣言を行った道内市町村数及び市町村に対する支援内容
  - ・公用車におけるFCVとEVの導入台数と次世代自動車化に向けた取組の方向性及び導入目標
  - ・今後の展開

等について

**星 克明委員（自民）**から、

- 1 動物愛護管理センターについて
  - ・関係団体等との協議状況
  - ・情報発信の取組方法
  - ・センター機能の確保に向けた取組内容
  - ・早期実現に向けた今後の対応
- 2 PCB廃棄物処理事業に関する国からの要請について
  - ・要請の内容
  - ・処理見込量と処理の見通し
  - ・処理事業の安全性
  - ・室蘭市の受け止め
  - ・今後の対応
- 3 ヒグマ対策について
  - ・北海道ヒグマ管理計画の改定内容

- ・出没対策の方向性
  - ・適正な管理と狩猟期間の見直しの方向性
  - ・ヒグマの知識と情報の発信に係る取組の方向性
  - ・今後の対策
- 4 2030年冬季オリンピック・パラリンピックの招致について
- ・札幌市と連携した機運醸成の取組の方向性
  - ・ウィンタースポーツの普及に向けた取組
  - ・障がい者のウィンタースポーツの環境整備に係る取組
  - ・招致に向けた今後の取組
- 5 飲酒運転の根絶について
- ・道内における飲酒運転による事故の状況とその認識
  - ・これまでの取組
  - ・違反者の保健指導受診率が低調であることに対する取組
  - ・有識者からの意見の内容
  - ・効果的な手法の検討内容
  - ・今後の取組
- 6 縄文世界文化遺産について
- ・世界遺産登録後の取組状況
  - ・官民連携による取組の状況
  - ・今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、環境生活部ゼロカーボン推進監、環境局長、ゼロカーボン推進局長、くらし安全局長、文化局長、環境局自然環境担当局長、ゼロカーボン推進局気候変動対策担当局長、循環型社会推進課環境保全担当課長、自然環境課動物管理担当課長、ゼロカーボン戦略課長、ゼロカーボン戦略課ゼロカーボン推進担当課長、気候変動対策課長、気候変動対策課気候変動適応担当課長、道民生活課交通安全担当課長、消費者安全課長、文化振興課縄文世界遺産推進室長及びスポーツ振興課オリンピック・パラリンピック連携室長兼東京オリンピック連携課競技開催支援担当課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

**○3月17日（木）** 開議 午前10時1分  
散会 午後4時10分  
第2委員会室  
第2分科委員長  
小岩 均（民主）

① **環境生活部所管に対する質疑**を継続し、  
**宮崎 アカネ委員（民主）**から、

- 1 パートナーシップ制度について
- ・北海道人権施策推進懇談会での性的マイノリティーに係る意見の内容及び課題認識
  - ・制度導入に対する考え
  - ・制度導入を検討している市町村における議論の状況
  - ・道の取組内容と各市町村における課題の把握状況
  - ・性的マイノリティーの方々の人権に対する理解を深めるための目標の設定状況
  - ・共生社会北海道の実現の見通しと取組
  - ・制度の導入に対する見解

等について

**滝口 信喜委員（結志）**から、

- 1 ゼロカーボン北海道について
- ・環境生活部所管の新規事業の内容及び期待される効果
  - ・地方公共団体実行計画の枠組みと道内市町村の策定状況
  - ・北海道地球温暖化防止対策条例の見直し方針
  - ・地域脱炭素合意形成支援事業の対象市町村の選定基準と数
  - ・専門家が必要とする資格及び2050年度までの継続の見通し
  - ・脱炭素社会に向けた行動変容促進事業及び気候変動対応推進事業の拡充内容
  - ・循環資源利用促進税の導入による効果
  - ・税込と基金残高の見通し
  - ・循環税を活用した補助事業の拡大の必要性
  - ・補助率及び補助限度額の見直しに係る見解
  - ・ゼロカーボン北海道が果たす役割を分かりやすく示す必要性に対する認識

等について

**寺島 信寿委員（公明）**から、

- 1 ゼロカーボン北海道について
- ・CO<sub>2</sub>排出量の見える化を行うアプリケーションの活用方法及び収集データの有効活用
  - ・道内中小企業の脱炭素化に向けた取組
  - ・ゼロカーボンシティ宣言市町村数と宣言によるメリット
  - ・宣言市町村に対する支援
  - ・新たなCO<sub>2</sub>削減目標の算定根拠及び各分野の設定状況並びに目標達成に向けた取組
  - ・庁内各部と連携した取組の必要性
  - ・道庁全体での総合的な対策や支援の必要性

- ・地域活性化に向けた今後の取組

等について

**松山 文史委員（民主）** から、

- 1 道の率先行動による取組の加速化について
  - ・道有施設の駐車場等にEV充電器や次世代自動車のカーシェアリングを設置することに係る見解
- 2 ストリートピアノを中心とした文化振興について
  - ・文化財団補助金及び芸術文化活動補助金の目的と内容
  - ・文化芸術活動支援事業費補助金の事業実績及び対象範囲並びに予算の減額理由
  - ・ストリートピアノを活用した文化事業の助成に係る見解
- 3 野幌森林公園エリアの施設等について
  - ・北海道博物館における昆虫をテーマとした特別展の開催目的及び開催時期等の概要
  - ・特別展における昆虫食の展示の見直し
  - ・百年記念塔の解体工程
  - ・解体すべきとの結論に至った経過及び道民への周知方法
  - ・アンケート調査の対象人数
  - ・記念塔の建設に当たり期成会を発足させた理由及び記念塔の採納の決定者に係る所見
  - ・期成会の法人格の有無
  - ・記念塔の安全性及び自然崩壊とすることに対する見解

等について

**安藤 邦夫委員（公明）** から、

- 1 2030北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会について
  - ・招致に係る基本的な考え方
  - ・札幌市と道におけるこれまでの取組
  - ・招致を行う上での地元経済界との関わり
  - ・札幌市以外の競技開催市町村の協力を得るための札幌市との連絡調整の内容及び今後の連携の方向性
  - ・オリンピック・パラリンピックの開催意義及び道民の理解促進のための取組
  - ・真駒内屋内競技場の活用の方向性
  - ・招致に係る道の対応の方向性

等について

**中川 浩利委員（民主）** から、

- 1 札幌冬季オリンピック・パラリンピック招致

の取組について

- ・札幌市との連携や道としての取組状況及び関連予算の執行状況
- ・大会概要案に対する評価
- ・大会の開催によるメリットとデメリット
- ・開催に当たっての検証の必要性
- ・意向調査の速報値の受け止め
- ・札幌市民と札幌市以外の道民間における意向調査の判断材料の差異
- ・大会概要案の道民への説明と道が負担する費用や役割
- ・真駒内公園屋内競技場の改修費用の明示に対する考え
- ・改修費用を試算することができない理由
- ・札幌市と道の改修費用の協議状況
- ・改修と建て替えの検討など競技場の在り方に対する見解

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、環境生活部ゼロカーボン推進監、環境局長、ゼロカーボン推進局長、くらし安全局長、文化局長、スポーツ局長兼東京オリンピック連携局長、ゼロカーボン推進局気候変動対策担当局長、循環型社会推進課長、ゼロカーボン戦略課長、ゼロカーボン戦略課ゼロカーボン推進担当課長、気候変動対策課長、気候変動対策課気候変動適応担当課長、道民生活課長兼青少年担当課長、文化振興課長兼アイヌ政策課歴史文化担当課長及びスポーツ振興課オリンピック・パラリンピック連携室長兼東京オリンピック連携課競技開催支援担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、環境生活部所管に関する質疑を終結。

② **教育委員会所管に対する質疑**に入り、

**佐藤 禎洋委員（自民）** から、

- 1 道立学校ふるさと応援事業等について
  - ・年度別の寄附件数及び金額
  - ・制度改善の取組
  - ・周知の取組
  - ・寄附を活用した事業実績及び次年度の進め方
  - ・今後の取組
- 2 教員の働き方改革について
  - ・時間外在校等時間の直近の状況と昨年度と比較した傾向及び要因分析
  - ・市町村立学校の状況も把握する必要があるとの考えに対する認識
  - ・各市町村における公表状況及び促進に向けた取組
  - ・推進校の具体的な取組及び成果並びに普及啓

- 発の方法
- ・道民アンケート調査の結果
- ・教頭への支援策
- ・部活動の地域移行に向けたこれまでの取組
- ・実践研究の成果及び課題
- ・部活動改革の考え及び今後の支援
- ・今後の取組
- 3 幼児教育について
  - ・国の動きに対する認識
  - ・幼小連携・接続のこれまでの取組
  - ・モデル事業の成果
  - ・幼小連携・接続の課題
  - ・今後の取組
- 4 ヤングケアラーへの対応について
  - ・定義及び学校の役割
  - ・教職員の理解促進に向けた取組
  - ・スクールソーシャルワーカーの活用方法
  - ・相談窓口の周知に向けた取組
  - ・今後の取組
- 5 いじめ問題について
  - ・いじめの判断や認知の考え方
  - ・管理職に対する指導内容
  - ・市町村教委に対する指導助言の状況
  - ・被害を訴えやすい環境づくりへの取組
  - ・今後の取組
- 6 青少年体験活動支援施設の指定管理等について
  - ・検討会議の概要と今回の指定管理者選定に当たったの反映状況
  - ・負担金減額に対する認識
  - ・選定委員の選考の考え方
  - ・選定委員会の審査方法
  - ・ネイパル北見のみ候補者が変更となった理由
  - ・選定されなかった申請者への対応
  - ・調査委員会の構成と選任の方法
  - ・調査委員会の設置時期
  - ・調査結果報告のめど及び中間まとめの有無
  - ・関与した職員や管理的立場にあった者の処分時期
  - ・今回の不正行為を行った担当課管理職員の直属の上司の異動発令の経緯
  - ・幹部職員の具体的な行為及び受け止め
  - ・さきの指定管理の選定における幹部職員の関与の有無
  - ・第三者調査委員会の対象者

- ・生涯学習センター事業委託の一般競争入札を延期した理由
- ・次年度の対応
- ・今後の対応

等について

**武田 浩光委員（民主）** から、

- 1 高校生の防災教育について
  - ・防災教育の目的とこれまでの実績
  - ・高校生防災教育推進事業の具体的な取組
  - ・学年に応じた防災教育についての見解
  - ・一日防災学校における小中学校での実績
  - ・高校生防災サミットに原子力災害の専門家も加えるべきとの考えに対する見解
  - ・今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、教育部長兼教育職員監、学校教育監、総務政策局長兼幼児教育推進局長、学校教育局指導担当局長兼学校教育局新型コロナウイルス感染症対策担当局長、教職員局長、総務課法制・公務管理担当課長、教育政策課長、社会教育課長、幼児教育推進センター長、生徒指導・学校安全課長及び教職員課働き方改革担当課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○3月18日（金） 開議 午前10時1分  
閉会 午後4時36分  
第2委員会室  
第2分科委員長  
小岩 均（民主）

① **教育委員会所管に対する質疑**を継続し、  
**花崎 勝委員（自民）** から、

- 1 STEAM教育について
  - ・事業実施の背景や目的及び概要
  - ・三つのプロジェクトの内容及び狙い
  - ・SSH指定校における実践成果の反映状況
  - ・目指す人材と評価指標
  - ・今後の取組
- 2 高校のICT環境について
  - ・BYOD導入の判断理由
  - ・導入に向けた準備状況
  - ・端末購入が困難な生徒への対応及び保護者の負担軽減に向けた取組
  - ・学校に対する支援策
  - ・教員のICT活用指導力向上に向けたこれまでの取組及び今後の取組内容
  - ・今後の取組

3 令和5年度全国高等学校総合体育大会について

- ・大会開催の意義とこれまでの取組
- ・競技会場の決定状況と実施準備の進捗状況
- ・高校生活動の具体的な内容
- ・広報活動の内容
- ・今後の取組

4 普通科の魅力化・特色化について

- ・国の普通科改革に関する制度改正の概要
- ・本道における普通科の現状と課題
- ・新しい学科の教育活動の特色
- ・連携協力体制の内容
- ・新時代に対応した高等学校改革推進事業の概要
- ・今後の取組

等について

**宮崎 アカネ委員（民主）** から、

1 院内学級について

- ・病気などにより通学することが難しい子どもたちの教育機会の確保
- ・医療機関に隣接している特別支援学校における教育内容
- ・訪問教育の内容
- ・コロナ禍における教育機会の確保に関する現状と課題
- ・国への要望や小・中学校等と特別支援学校との連携の必要性に対する所見

2 金融教育について

- ・概要及び実施の背景
- ・教職員の研修等の準備状況
- ・外部講師の活用方法及びその際の授業の取扱
- ・中立性の担保に向けた方策
- ・SNS等を通じた勧誘への注意喚起
- ・子どもたちの未来像

等について

**千葉 英也委員（自民）** から、

1 世界遺産を活用した教育の推進について

- ・ふるさと教育のこれまでの取組
- ・世界遺産を活用した次世代育成事業の概要
- ・世界遺産の教育的効果を全道に波及させるための取組
- ・北東北の遺跡に対しても興味を持ってもらいたいとの考えに対する見解
- ・今後の取組

2 特別支援学校における教室不足について

- ・国の調査に対する認識
- ・これまでの教室不足への対応
- ・集中取組計画の内容及び進捗状況
- ・今後の対応

等について

**滝口 信喜委員（結志）** から、

1 いじめ問題について

- ・本道の状況
- ・重大事態の調査内容
- ・学校のいじめの定義の理解に対する見解
- ・学校のいじめの認知の考えに対する見解
- ・1000人当たりのいじめの認知件数
- ・いじめの認知件数と学校経営の評価との関連性
- ・教職員と保護者の意識の乖離の受け止め及び今後の取組
- ・早期発見・早期対応に対する見解
- ・学校が効果的に対処せず被害が深刻化した現状に対する見解
- ・いじめ重大事態への適切な対応に対する見解
- ・北海道いじめ防止取組プランにおける性的被害の位置づけ及びプランの補強に対する所見
- ・調査後の被害児童生徒及び保護者に対する対応並びに加害者に対する対応
- ・校長・教頭・教職員に対する研修の状況
- ・旭川市のいじめ重大事態の調査の現状と今後の対処及び遺族側の要望
- ・いじめ防止対策推進法などの理解が不十分との考えに対する見解
- ・令和3年2月時点のいじめ認知の判断
- ・いじめ重大事態調査を実施することとした理由
- ・令和元年6月に重大事態と認知しなかった理由
- ・いじめ根絶に向けた決意

2 不登校児童生徒への対応について

- ・オンライン授業の促進の取組
- ・不登校特例校設置に対する見解
- ・不登校児童生徒の把握状況

3 成年年齢18歳引下げについて

- ・高校生に対する指導
- ・これまでの取組状況及び今後の取組

4 指定管理者制度について

- ・当該管理職員のネイパルの課題に係る供述に対する認識

- ・ 5 施設の利用料金の実態
- ・ 選定における利用料金の設定の取扱い
- ・ 申請者乙からの申出に対する対応及び 4 年間のネイパルの経営状況並びに利用者満足度調査の結果
- ・ 前生涯学習推進局長の不正行為への加担の有無
- ・ 外部調査で判明しなかった理由及び調査報告書の信憑性
- ・ 前生涯学習推進局長のこれまでの答弁に対する対処
- ・ 地方公務員法違反の有無
- ・ 再選定における不正の有無
- ・ 前局長の選定委員との関わり
- ・ 事業者への説明及び支援体制
- ・ 再発防止の取組及び後任発令の時期
- ・ 知事部局に対する指定管理者制度の見直しの提案
- ・ 今後の対応

等について

**安藤 邦夫委員（公明）** から、

- 1 本道における病弱教育について
  - ・ 手稲養護学校三角山分校の概要及び児童生徒の在籍状況
  - ・ 教育活動の特色
  - ・ コロナ禍における教育活動
  - ・ I C T活用推進の必要性
  - ・ 今後の取組
- 2 青少年体験活動支援施設ネイパルの指定管理者の指定について
  - ・ ネイパルの指定管理者指定までの流れ及び申請団体が 1 団体であった場合の取扱い
  - ・ 全 6 施設を一括提案しなかった理由
  - ・ ネイパル砂川の審査に対する見解
  - ・ 新たな選考委員会において参考審査すべきとの考えに対する見解
  - ・ 新たな調査機関と設置済みの調査機関の違い
  - ・ 第三者機関による調査結果の展開
  - ・ 教育長の受け止め及び再発防止に向けた取組

等について

**松山 文史委員（民主）** から、

- 1 ネイパルをめぐる諸問題について
  - ・ 内部調査と外部調査の整合性
  - ・ 弁護士法人の調査におけるヒアリング対象者
  - ・ 報告書において結論に消長を来す可能性は極

めて低いとしているにもかかわらず第三者委員会を設置する理由

- ・ 公募資料作成を代行することの有無
- ・ 内部調査のヒアリングにおいて作成されたメモ書きの取扱い
- ・ 第三者調査委員会設置の法的根拠
- ・ 位置づけ
- ・ 委員報酬
- ・ 契約の締結者
- ・ 委員の守秘義務
- ・ 守秘義務に関する法的根拠
- ・ 臨床心理士の守秘義務違反に対する罰則の有無
- ・ 第三者調査委員会の法的な強制力の有無
- ・ 住民監査請求申立ての有無
- ・ 第三者調査委員会委員の選任の妥当性
- ・ 臨床心理士を調査委員会に入れる必要性
- ・ 教育委員による調査
- ・ 職員の処分時期
- ・ 教育長の任命責任

等について

**寺島 信寿委員（公明）** から、

- 1 いじめ問題について
  - ・ 調査の進捗状況
  - ・ 旭川市教委に対するこれまでの指導助言や支援の内容
  - ・ 今後の指導や支援の内容
  - ・ いじめ根絶に向けた今後の取組
- 2 SNSを活用した相談事業について
  - ・ 昨年度及び本年度の利用状況
  - ・ 生徒のニーズ
  - ・ 今後の取組
- 3 北海道 C L A S S プロジェクトについて
  - ・ 取組の概要
  - ・ これまでの取組状況
  - ・ 今年度の取組の成果
  - ・ 今後の取組

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、教育部長兼教育職員監、学校教育監、総務政策局長兼幼児教育推進局長、学校教育局長兼 I C T 教育推進局長、学校教育局高校配置担当局長、学校教育局指導担当局長兼学校教育局新型コロナウイルス感染症対策担当局長、学校教育局特別支援教育担当局長、総務課法制・公務管理担当課長、社会教育課長、文化財・博物館課長、高校教育課長兼 I C T 教育推進課長、高校教育課企画・支援担当課長、義務教育課長兼 I C T 教育推進課 I C T 教育推進担当課長（義務教

育)、特別支援教育課長兼ICT教育推進課ICT教育推進担当課長(特別支援教育)、高校総体推進課長及び生徒指導・学校安全課長から答弁があつて、教育委員会所管に関する質疑を終結。

## 第 3 分 科 会

○3月11日(金) 開会 午後5時26分  
散会 午後5時35分  
第3委員会室  
第3分科委員長  
内田 尊之(自民)

- ① 分科委員長に内田尊之委員(自民)、分科副委員長に洲上綾子委員(民主)を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、滝口直人委員(自民)、高橋亨委員(民主)、新沼透委員(結志)、荒当聖吾委員(公明)を選出。

○3月16日(水) 開議 午前10時1分  
散会 午後4時44分  
第3委員会室  
第3分科委員長  
内田 尊之(自民)

① **水産林務部所管に対する質疑**に入り、  
**滝口 直人委員(自民)**から、

- 1 ウクライナ情勢による影響について
  - ・道内における令和2年度のロシアからの木材輸入量の状況と今後の影響
  - ・ロシアからの輸入水産物と輸入が停滞した場合の影響と対応
  - ・ロシアとの漁業交渉への影響と今後の対応
- 2 水産分野におけるゼロカーボンの推進について
  - ・スマート水産業の推進に向けた取組
  - ・藻場・干潟等の機能回復につながる漁業者等の取組に対する支援の具体的な内容
  - ・漁業系廃棄物の発生量と処分方法
  - ・漁網の再資源化の課題と対応

- ・国における水産基本計画や漁港漁場整備長期計画におけるブルーカーボンの位置付け
  - ・今後の取組
- 3 日本海沿岸漁業の振興対策について
    - ・クロマグロのTAC配分に対する今後の対応
    - ・クロマグロの遊漁対策に対する国や道の対応
    - ・日本海南部海域のニシン資源の回復に向けた取組
    - ・日本海沿岸漁業の振興に対する今後の取組
  - 4 森林環境贈与税について
    - ・参考となる活用事例
    - ・路網等の整備に向けた取組
    - ・間伐材の有効利用に向けた取組
    - ・市町村における譲与税活用に対する課題
    - ・新たな協議会の設立時期と協議会を通じた市町村に対する森林づくりの支援
  - 5 森林吸収源対策推進計画について
    - ・森林吸収量の目標数値設定の考え方
    - ・伐採木材製品の利用による炭素固定量の目標数値設定の考え方
    - ・植林の推進に向けた取組
    - ・今後の取組

等について

**高橋 亨委員(民主)**から、

- 1 ダイオキシンを含む2・4・5-T系除草剤について
  - ・道内の廃棄における所管部
  - ・埋設廃棄を知り得た時期
  - ・政府に対する対応
  - ・埋設廃棄の対象自治体に対する情報交換の内容
  - ・国の指示と異なる埋設処分を行ったことに対する対応
  - ・関係部局との連携状況
  - ・会議開催の経緯
  - ・関係部局との会議における協議内容
  - ・現地調査の実施状況
  - ・埋設廃棄物質の埋設調査の報告を国に求めなかった理由
  - ・道民に公表していない理由と管理に対する認識
  - ・今後の取組
  - ・問題意識に関する所見
- 2 今後のロシアとの漁業交渉等について
  - ・ロシアのウクライナ侵攻状況下における漁業

- 交渉に対する情報
- ・地元漁協に対する説明の状況
- ・漁業補償に対する国との協議内容
- ・ロシアとの漁業交渉が頓挫した場合の影響
- ・ロシア漁船への影響
- ・今後の課題に対する対策

等について

**桐木 茂雄委員（自民）** から、

- 1 木育の推進について
  - ・木育マイスター育成の取組
  - ・教育機関と連携した取組
  - ・道民の自発的な木育活動の促進に向けた取組
  - ・企業等と連携した取組
  - ・今後の取組
- 2 林業・木材産業の振興について
  - ・道内の林業従事者数と新規就業者数の推移
  - ・北森カレッジの3期生確保の取組と合格者の出身地及び年代
  - ・卒業生の就業先確保の取組と1期生の内定状況及び就業先の定着に向けた取組
  - ・道内における令和2年度の道産木材供給量と用途及び建築材として利用される針葉樹製材の出荷量と内訳
  - ・供給力強化に向けた取組
  - ・HOKKAIDO WOODブランドを活用した需要拡大の取組
- 3 胆振東部地震被災森林の再生について
  - ・被災森林の復旧に関する現状と課題及び実施計画の取りまとめ状況
  - ・効率的な森林再生に向けた路網整備の進め方
  - ・森林再生に向けた森林所有者への対応
  - ・被害木や植林などに対する支援
  - ・森林再生の加速に向けた今後の取組
- 4 道産水産物の消費拡大について
  - ・漁獲量が増加している魚種の漁獲量及び漁獲金額の推移
  - ・イワシやブリの家庭における購入額と全国対比
  - ・漁獲量が増加している魚種の消費拡大に向けた来年度の取組
  - ・道産水産物の消費拡大に向けた取組
  - ・道産水産物の道内港からの輸出の状況
  - ・輸出額増加の主な要因と対象国及び品目
  - ・輸出拡大に向けた今後の取組
- 5 赤潮対策について

- ・環境・生態系保全緊急対策事業による具体的な取組
- ・被害状況の調査の実施状況と調査結果を踏まえた対策
- ・赤潮発生予察手法の開発に向けたスケジュールと体制
- ・ロードマップ作成の考え方
- ・今後の対応

等について

**平出 陽子委員（民主）** から、

- 1 「北海道森林づくり条例」のさらなる推進について
  - ・2016年の渡島地方における一般民有林の風倒被害状況と対応
  - ・市町村等との連携
  - ・森林環境譲与税の活用に向けた市町村への助言
  - ・災害に強い森林整備についての所見
  - ・森林整備予算の確保
  - ・風力発電用地で伐採される樹木が吸収するCO<sub>2</sub>の量
  - ・条例や基本計画等施策の進捗管理
  - ・地球温暖化対策に対応した関係部局との連携

等について

**新沼 透委員（結志）** から、

- 1 森林吸収源対策について
  - ・森林吸収量の推移と要因
  - ・森林吸収量の目標設定の考え方
  - ・森林の若返りに向けた森林整備の考え方
  - ・道産建築材の利用拡大に向けた取組
  - ・今後の取組

等について

**荒当 聖吾委員（公明）** から、

- 1 クリーンラーチについて
  - ・クリーンラーチの長所
  - ・増殖及び普及に向けた所見
  - ・森林吸収量を増加させる森林づくりの取組
- 2 ウッドショックについて
  - ・建築用木材の供給不足の状況分析
  - ・価格高騰の影響を受ける企業に対しての対応
  - ・サプライチェーンの強化に向けた対策
  - ・道産建築材の供給力強化に向けた今後の取組

等について

**佐藤 伸弥委員（結志）** から、

- 1 漁業振興について

- ・アキサケの来遊状況と近年の推移
- ・アキサケの資源回復に向けた取組
- ・アキサケの遊漁対策の検討状況
- ・試験研究機関の役割と連携に対する考え方

## 2 スマート水産業について

- ・これまでの取組
- ・スマート水産業の推進に向けた課題と今後の取組
- ・推進方針の策定に向けた考え方

等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長、水産局長、林務局長、森林環境局長兼全国育樹祭推進室長、水産林務部技監、水産局水産基盤整備担当局長、林務局森林計画担当局長、総務課長、総務課企画調整担当課長、水産経営課水産支援担当課長、水産経営課水産食品担当課長、水産振興課長、漁業管理課長、漁業管理課サケマス・内水面担当課長、漁業管理課国際漁業担当課長、林業木材課長、林業木材課木材産業担当課長、林業木材課林業振興担当課長、森林計画課長、森林整備課長、森林整備課路網整備担当課長、治山課長、森林活用課長、森林活用課首席普及指導員兼林業普及担当課長及び道有林課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、水産林務部所管に関する質疑を終結。

## ② 農政部所管に対する質疑に入り、

**桐木 茂雄委員（自民）** から、

- 1 道産チーズの振興について
  - ・国内におけるチーズの生産量と消費動向及び輸入量
  - ・工房チーズの状況
  - ・道内チーズ工房に対する支援内容
  - ・競争力強化に向けた取組内容
  - ・生産振興と消費拡大に向けた今後の取組
- 2 生乳対策について
  - ・生産量と今後の処理見込みに対する認識
  - ・生産抑制による農家への影響
  - ・今後の消費拡大対策
  - ・生産現場の意見に対する受け止め
  - ・今後の酪農経営に関する所見
- 3 高病原性鳥インフルエンザについて
  - ・今シーズンの全国の家禽飼養農場と道内の野鳥における発生状況
  - ・養鶏場への侵入防止策に対する取組状況と発生防止に向けた今後の対応方法
- 4 農業農村整備の着実な推進について
  - ・国に対する要望額と予算額の推移と令和4年度予算の見通し
  - ・請負業者の現場技術者建設機械等の不足に対

する対応方法

- ・建設業における現状と課題に対する対応方法
- ・夏工事の取組による状況と効果
- ・農業農村整備の着実な推進に向けた今後の取組内容

等について

**須田 靖子委員（民主）** から、

- 1 農畜産物の安定生産について
  - ・道内の暗渠排水の整備状況と老朽化による機能低下防止方法
  - ・自給率向上の課題に対する取組方法
  - ・スマート農業の推進を図る情報通信環境の整備に向けた今後の取組内容
  - ・牛乳乳製品の消費拡大に対する所見
  - ・生産抑制による酪農家の不安を払拭するための今後の取組内容

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、農政部長の安全推進監、農政部次長、食の安全推進局長、生産振興局長、農政部技監、農政課長、畜産振興課家畜衛生担当課長、農村設計課長、事業調整課長、農村計画課長及び農地整備課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

**○3月17日（木）** 開議 午前10時2分  
散会 午後5時28分  
第3委員会室  
第3分科委員長  
内田 尊之（自民）

## ① 農政部所管に対する質疑を継続し、

**滝口 直人委員（自民）** から、

- 1 水田活用の直接支払交付金の見直しについて
  - ・道内の水田の面積と転作面積及び作物の作付状況
  - ・北海道農業再生協議会水田部会における実態調査結果
  - ・見直しによる地域への影響に対する認識
  - ・検証作業の進捗状況
  - ・多年生牧草に対する緊急助成の設定方法と令和5年度以降の対応方法
  - ・基盤整備に対する対応方法
  - ・今後の転作作物の具体的な作付の方向性
  - ・地域の実情を踏まえた対策方法
- 2 稲作農業の振興について
  - ・地域の実態に対応した基盤整備の取組方法
  - ・米粉製造の機械や施設整備への支援に対する

認識

- ・道民に対する御飯食の普及方法
  - ・米の輸出拡大に向けた取組内容
  - ・本道稲作農業に対する今後の振興策
- 3 担い手育成対策について
- ・近年の新規就農者数の推移と今後の見通し
  - ・新規参入者の参入地域と営農形態
  - ・新規就農者に対する令和4年度の対策
  - ・親元就農及び新規参入者の課題と支援方法
  - ・担い手確保に向けた今後の取組内容
- 4 担い手を支える多様な人材について
- ・農業分野における外国人技能実習生の人数と監理団体別の受入れ人数
  - ・コロナ禍前との受入れ人数の比較と地域からの意見
  - ・代替人材の確保方法と支援策
  - ・多様な人材確保に向けたこれまでの対応
  - ・人材確保に向けたこれまでの取組内容と今後の取組方法

等について

**新沼 透委員（結志）** から、

- 1 生乳の需給について
- ・本道における生乳生産量の推移とコロナ禍による直近の需給状況
  - ・バターや脱脂粉乳の在庫量と生乳生産に過剰が生じる危険性
  - ・需給調整機能の検討状況
  - ・バターにおける需給調整機能
  - ・安定生産に向けた取組内容
  - ・コロナ禍の影響を受けた本道酪農が営農を続けるための取組内容

等について

**清水 拓也委員（自民）** から、

- 1 本道畑作農業の持続的発展について
- ・畑作経営の収支動向と主要畑作物の生産状況の推移
  - ・主要畑作物の需要動向の推移
  - ・北海道畑作農業の持続的発展を考える懇談会での検討状況
  - ・多様な輪作体系の確立に向けた推進方法
  - ・今後の取組
- 2 和牛振興について
- ・道内における和牛飼養の現状と課題
  - ・全国和牛能力共進会北海道大会に向けた関係機関等との連携状況

- ・和牛改良の取組内容
- ・生産者を指導する技術者の育成方法
- ・北海道大会の成功に向けた今後の取組

- 3 第4期北海道有機農業推進計画（案）について

- ・計画案に対する道民からの意見
- ・第3期計画の課題に対する認識と第4期計画の重点取組や新たな要素
- ・有機農業取組面積の目標設定の考え方
- ・来年度以降の取組内容と今後の対応

- 4 「ゼロカーボン北海道」における農業分野の取組について

- ・農業分野における温室効果ガス排出量の現状
- ・環境保全型農業の取組による温室効果ガスの削減効果
- ・農業農村整備事業における温室効果ガスの削減効果
- ・家畜排せつ物由来のメタンの排出削減と活用に対する対策
- ・牛の消化管内発酵によるメタンの削減に向けた研究開発内容
- ・温室効果ガスの削減に向けた今後の取組

等について

**荒当 聖吾委員（公明）** から、

- 1 食料の安全保障について
- ・食料自給率が低い状況である中での食料の安定供給への影響に対する所見
  - ・道内の農地利用状況や荒廃農地の現状
  - ・優良農地の確保に向けたこれまでの対策
  - ・道産農産物の消費拡大に向けた今後の取組
  - ・食料供給地域である本道農業が果たす役割
- 2 道産小豆の生産振興について
- ・道産小豆の生産状況と需給動向
  - ・実需者への安定供給に向けた取組内容
  - ・輸入品から道産小豆への転換を図るための取組方法
  - ・小豆の生産振興に向けた今後の取組内容
- 3 農業農村整備事業について
- ・スマート農業の普及促進に必要な整備内容
  - ・水田地域における大区画化の整備実績と整備率
  - ・国営事業と道との連携に向けた調整方法
  - ・農業農村整備関係予算の国からの措置状況と評価

- ・今後の取組

等について

**佐藤 伸弥委員（結志）** から、

- 1 持続可能な畑作農業の確立について
  - ・てん菜の生産状況と直播栽培の普及状況
  - ・直播栽培に係るこれまでの対応状況と今後の対応方向
  - ・種バレイショ生産状況と労働負担の課題及び生産農家の確保に向けた取組状況
  - ・諸外国におけるジャガイモシストセンチュウの発生ほ場での種バレイショ生産再開の動向に対する認識
  - ・持続可能な本道畑作農業の確立に向けた課題と対応
- 2 酪農の家族経営への支援について
  - ・道内におけるバルククーラーの導入実態
  - ・規制に伴う酪農家への周知方法
  - ・フロンガスを使用しているバルククーラーの使用期限と制約
  - ・代替フロン対応のバルククーラー整備に伴う導入事業内容と要件
  - ・設備投資に伴う酪農家への影響と今後の対応
  - ・家族経営の酪農家に対するバルククーラー更新への支援
- 3 スマート農業について
  - ・地域からの問合せへの対応方法
  - ・窓口対応の充実に向けた課題
  - ・今後の推進方法

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、農政部長の安全推進監、食の安全推進局長、生産振興局長、農業経営局長、農村振興局長、生産振興局技術支援担当局長、農政課長、農政課政策調整担当課長、食品政策課長、農産振興課長、農産振興課水田担当課長、技術普及課長、技術普及課首席普及指導員、農業経営課長、農地調整課長、農村設計課長、農村計画課長、農村計画課国営調整担当課長及び農地整備課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、農政部所管に関する質疑を終結。

## ② 経済部所管に対する質疑に入り、

**三好 雅委員（自民）** から、

- 1 道内産業の振興について
  - ・商工業振興審議会における議論
  - ・ゼロカーボン北海道の実現に向けた企業立地補助金の見直し
  - ・デジタルトランスフォーメーションの推進に向けた企業立地補助金の充実

- ・新しい働き方への支援
- ・宇宙関連の立地に対する支援
- ・投資形態の多様化への対応方法
- ・中小企業競争力強化促進事業による支援内容
- ・ポストコロナに向けた中小企業支援の見直し
- ・大規模事業所の再編等による影響を受けた中小企業等への支援
- ・今後の対応

## 2 「観光立国北海道の再構築」に向けた施策展開について

- ・観光関連産業の回復に向けた国への働きかけ
- ・国の検討状況等
- ・どうみん割の再開
- ・飲食需要の回復に向けた取組
- ・教育旅行支援事業の成果と今後の生かし方
- ・戦略的なプロモーション活動の取組方法
- ・大々的なプロモーションの展開方法
- ・統一プロモーションの展開方法
- ・来年度におけるアドベンチャートラベルの事業展開
- ・アドベンチャートラベルに対応したガイドの育成と確保
- ・地域の魅力を活かした観光地づくり事業を増額した狙いと今後の対応
- ・ポストコロナを見据えた安全・安心な観光の情報発信事業の取組内容と事業実施の狙い
- ・今後の取組

## 3 食産業の振興について

- ・道産食品の消費喚起対策の成果
- ・今こそ食べよう北海道キャンペーンの取組結果
- ・高島屋との包括連携協定による今後の取組
- ・どさんこプラザ羽田空港店とあべのハルカス店の現在の状況
- ・今後の店舗展開の進め方
- ・道産食品の販路拡大に向けた考え方
- ・道産食品の輸出状況
- ・輸出額の回復要因
- ・輸出拡大に係る今年度の事業実績
- ・輸出拡大に向けた今後の取組
- ・食関連産業の振興

等について

**淵上 綾子委員（民主）** から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・第三者認証に係る国への要望内容

- ・認証取得店の緩和
  - ・第三者認証制度の改善
  - ・第三者認証の取得拡大
  - ・第三者認証を取得しない事業者に対する働きかけ
  - ・第三者認証を取得した事業者への支援
  - ・事業継続への新たな支援策
- 2 各種支援金・補助金等について
    - ・相談対応
  - 3 労働者協同組合法について
    - ・道の認識
    - ・今後の取組
  - 4 学生等の就職活動について
    - ・学歴フィルターに係るガイドライン
    - ・公正な採用選考の基本の徹底
    - ・履歴書の性別欄
  - 5 北海道人権施策推進基本方針の反映について
    - ・北海道雇用・人材対策基本計画への人権上の課題の反映
    - ・次回改定へ向けた反映の検討
    - ・観光のくまびろ行動計画への北海道人権施策推進基本方針の反映
  - 6 観光施策について
    - ・アドベンチャートラベルにおける人権への意識醸成
    - ・LGBTQツーリズムに対する考え方
    - ・雪害の影響と雪害対策
  - 7 フリーランスについて
    - ・フリーランスの現状に対する認識
    - ・法的保護の拡充に向けた国への働きかけ
    - ・フリーランスへの支援
  - 8 インボイス制度について
    - ・小規模事業者への支援
  - 9 企業誘致について
    - ・首都圏からの本社機能移転に係る今後の対応
    - ・北海道産業振興条例に基づく企業立地の助成対象

等について

**清水 拓也委員（自民）** から、

- 1 北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画の見直しについて
  - ・道内の省エネルギーの動向と目標値見直しの考え方
  - ・目標達成に向けた省エネの促進やエネルギー源転換の取組

- ・道内の新エネルギーの導入状況と目標見直しの考え方
  - ・新エネルギー導入加速化基金のこれまでの成果等を踏まえた検討
  - ・新たな基金事業の重点と支援方策
  - ・太陽光発電の導入促進に向けた取組
  - ・適正な事業実施の確保に向けた考え方
  - ・洋上風力の導入に向けた課題解消への取組
  - ・省エネルギー・新エネルギーの導入促進を図るための今後の取組
- 2 北海道小規模企業振興条例等について
    - ・条例及び方策に基づくこれまでの取組内容と成果
    - ・小規模企業の状況把握と条例の改正への反映
    - ・小規模企業における経営体質の強化に係るこれまでの取組と今後の対応
    - ・事業承継の円滑化に係るこれまでの取組と今後の促進方法
    - ・創業や新事業展開の促進に係るこれまでの取組と今後の支援
    - ・大学発のスタートアップ企業の創出への関わりと創業の促進
    - ・成果指標の達成状況と新たな指標設定の考え方
    - ・今後の小規模企業への支援
  - 3 働き方改革の推進と人材の確保について
    - ・道内における雇用情勢や経済状況への認識
    - ・処遇改善の促進に向けた取組
    - ・道内企業における働き方改革の取組への支援
    - ・道内における就業者の状況と道外への人材流出の状況及び現状を踏まえた認識
    - ・女性や高齢者などへの就業促進に向けた取組と今後の対応
    - ・U I J ターンの取組強化
    - ・異業種チャレンジ奨励事業の進捗状況と今後の取組
    - ・外国人材に対する認識と今後の取組
    - ・今後の対応

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、経済部観光振興監、経済部食産業振興監、経済部次長兼経済企画局長、食関連産業局長、観光局長、地域経済局長、産業振興局長、環境・エネルギー局長、労働政策局長兼産業人材担当局長、観光局誘客担当局長、経済企画課長、経済企画課参事、経済企画課企業活動支援担当課長、食産業振興課長、食産業振興課食ブランド担当課長、観光振興課長、観光振興課観光地づくり担当課長、観光振興課誘

客推進担当課長、観光振興課観光事業担当課長、観光振興課アドベンチャートラベル担当課長、中小企業課長、産業振興課長、産業振興課立地担当課長、環境・エネルギー課長、環境・エネルギー課省エネ・新エネ促進室長、雇用労政課長、雇用労政課就業担当課長、働き方改革推進室長及び産業人材課長から答弁があって、議事進行の都合により散会。

○3月18日(金) 開議 午前10時2分  
閉会 午後4時18分  
第3委員会室  
第3分科委員長  
内田 尊之(自民)

① 経済部所管に対する質疑を継続し、  
須田 靖子委員(民主)から、

- 働き方改革について
  - 高齢者の就業支援の方法
  - テレワーク環境整備事業によるテレワーク導入実績と予算の執行状況
  - テレワーク導入に向けた支援
  - 地域別最低賃金制度に対する認識
- 物価高騰について
  - 道の物価安定策と輸入食品の高騰に対応した負担軽減策
  - 燃油価格高騰対策に対する認識と消費者対策
- どうみん割について
  - 事業の中止継続・再開判断と判断基準
  - 観光業界への支援策に対する考え方
- 火力発電について
  - 道内の火力発電所の状況
  - 釧路火力発電所の騒音問題に対する対応
  - 今後の取組

等について

新沼 透委員(結志)から、

- 食の輸出拡大戦略について
  - 道産食品の輸出額の公表が遅れている理由と公表時期
  - 国際情勢等の変化に伴う道産食品の輸出への影響と対策
  - 道内食品製造業の経営における物流面での影響と対応
- 観光振興について
  - 新型コロナウイルス感染症による北海道観光への影響
  - 宿泊業の休業と廃業の状況

- ソフト・ハード両面におけるバリアフリー観光の進捗状況
  - 観光施設における心のバリアフリー認定制度の取組
  - ユニバーサルツーリズム推進事業費減額に係る見解
  - 「クリーン×セーフティ北海道」に向けたの新年度の具体的な取組内容
  - アウトドア活動の振興におけるウイズコロナとポストコロナ時代を見据えた取組内容
  - SDGsの目標との関連
  - 2023年のアドベンチャートラベル・ワールドサミットの開催
  - 新しいガイド制度の強化内容とガイドの資格基準
  - 国際水準のガイド育成と目標
  - 苫小牧市からのIR誘致に係わる現地調査報告書の説明内容と市の説明者及び道の担当
  - 知事への報告内容と反応
  - 候補地の特定
  - 知事からの指示の有無
  - どうみん割の事業実績と効果
  - 事業の停止や再開の基準と再開に向けた考え方
  - 総合政策部との連携方法とワーケーション誘致の取組強化
- 感染症対策と経済活動の両立について
    - 北海道スタイルの定着に対する認識
    - 北海道スタイルの定着度合いの把握に対する考え方
    - 具体的な把握の方法
    - 北海道飲食店感染防止対策認証制度の認証率
    - 国が検討している新たな行動制限緩和の内容
    - 認証取得のメリットに対する認識
    - 飲食店における感染予防策の徹底に向けた今後の対応
    - 民間企業におけるBCPの策定状況
    - 未策定の企業に対する策定支援内容
    - 事業者に対する協力金の支給実績
    - 飲食店に対する時短要請中心の重点措置に係る見解
    - コロナ通知システムの今後の運用方針

等について

荒当 聖吾委員(公明)から、

- デジタル需要の獲得について

- ・道内 I T 企業の取組
- 2 「次世代データセンター」の誘致について
  - ・ユーザーとなる関連事業者への働きかけ
  - ・市町村との連携
  - ・今後の取組
- 3 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組について
  - ・北海道省エネ・新エネ促進行動計画における省エネルギー及び新エネルギーの見直し考え方と目標達成に向けた取組
  - ・今後の取組
- 4 賃上げの実現に向けた取組について
  - ・経済財政諮問会議における報告書の受け止めと本道における実態
  - ・正規・非正規の処遇格差の是正に向けた取組
  - ・職場復帰支援や成長産業への労働移動に対する取組
  - ・道内企業の業績回復と向上に向けた対応
- 5 中小・小規模企業への支援について
  - ・道の無利子融資の利用実績と利用の多い業種及び返済と据置期間
  - ・収益改善と借入金の返済に向き合う事業者への支援
  - ・休廃業に対する今後の対応
- 6 ウクライナ情勢の道内への影響等について
  - ・道内企業への影響と相談実績
  - ・燃油価格高騰への対応
  - ・水産加工業への影響と対策
  - ・今後の対応

等について

**高橋 亨委員（民主）** から、

- 1 燃油の高騰への対処について
  - ・トリガー条項に対する見解
  - ・トリガー条項を発動した場合の本道の地方税等への影響
  - ・国の備蓄放出に対する見解
  - ・物流関係への支援に対する認識とこれまでの対策
  - ・業界団体へのヒアリング結果
  - ・今後の対策
- 2 原発への新たな脅威について
  - ・原子力規制委員会の委員長発言に対する見解
  - ・原発を取り巻く情勢の変化
  - ・泊原発の警備体制
  - ・外部及び内部のリスク

- ・リスク説明の必要性の考え方とエネルギー供給の方向性の再検討に係る認識
- 3 コロナ通知システムについて
  - ・利用実績
  - ・システムの目的と評価
  - ・通知事例件数
  - ・今後のシステム利用
  - ・システムの抜本的な見直し等について

**佐藤 伸弥委員（結志）** から、

- 1 道内経済について
  - ・現下の道内経済の状況分析
  - ・今後の情勢変化に合わせた経済対策
  - ・道内企業の対ロシア貿易の推移
  - ・ウクライナ情勢関連中小企業者等総合相談窓口の相談実績
  - ・相談企業に対する支援
- 2 中小企業対策について
  - ・D X の道内実態の把握
  - ・2025年の崖に対する認識と対処
  - ・中小企業に対する D X 支援
  - ・中小企業の休廃業と解散件数の 5 年間の推移
  - ・倒産件数との対比
  - ・道内及び各地域別の後継者不在率の 5 年間の推移
  - ・年代別の後継者不在率の状況
  - ・北のふるさと事業承継支援ファンドの利用状況
  - ・ファンドの申込み期間及び存続期間を 2 年間延長した理由
  - ・事業承継の今後の取組方針
- 3 労働政策について
  - ・北海道の就業状況
  - ・ナッジを活用した事業実施の効果検証と結果
  - ・市町村が実施する就労支援事業への活用
  - ・同一労働同一賃金に係る来年度の取組
  - ・テレワークの普及に向けた今後の方針と見解
  - ・「北海道雇用・人材対策基本計画」に基づく新年度の取組
- 4 次世代データセンターについて
  - ・道内の立地状況
  - ・誘致場所の考え方
  - ・全国一高い電気料金の問題に対する考え方
  - ・用地確保に係る民間不動産投資信託の活用に対する所見

- ・意向調査の対象と調査後の取扱い
  - ・庁内横断的組織の必要性
- 5 エネルギー政策について
- ・原子力発電環境整備機構からの調査報告内容
  - ・文献調査の報告書の送付時期
  - ・報告書受理後の手続
  - ・2月28日の記者会見での官房長官の発言に対する見解
  - ・北海道省エネ・新エネ促進行動計画に係る有識者検討会議の構成
  - ・会議での意見の反映
  - ・会議を常設諮問機関とすべきと考えることに対する見解
  - ・改定案における削減率の深掘り
  - ・省エネルギー・新エネルギー促進事業の内容及び実施に伴うCO<sub>2</sub>削減効果
  - ・太陽光発電設備のオンサイトPPAモデル等のメリットとデメリット及び道内における導入例
  - ・新エネ導入加速化基金に係る議会議論
  - ・基金事業における実績額が大きい3事業の内容及び総額
  - ・新エネルギー導入加速化基金条例の規定及び制定趣旨に照らした基金の使われ方に対する見解
  - ・基金規模の決定に伴う企業局との話合い
  - ・行動計画の目標達成への基金の寄与
  - ・2050年を見据えたロードマップ達成への決意等について

**平出 陽子委員（民主）** から、

- 1 災害級の雪害が北海道経済に及ぼす影響について
- ・北海道災害対策連絡本部の設置に係る経済部の関わりと雪害による道内への影響
  - ・本道における被害状況に対する認識
  - ・経済への影響に係る実態把握と分析に向けた調査の必要性

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、経済部観光振興監、経済部次長兼経済企画局長、経済部次長、食関連産業局長、観光局長、地域経済局長、産業振興局長、環境・エネルギー局長、労働政策局長兼産業人材担当局長、経済企画局次長、観光局誘客担当局長、総務課長、経済企画課長、経済企画課経済調査担当課長、経済企画課事業支援担当課長、経済企画課参事、経済企画課企業活動支援担当課長、国際経済課長、食産業振興課長、観光振興課長、観光振興課国際戦略担当課長、観光振興課観光地づくり

担当課長、観光振興課観光事業担当課長、観光振興課アドベンチャートラベル担当課長、中小企業課長、中小企業課金融担当課長、産業振興課立地担当課長、環境・エネルギー課長、環境・エネルギー課エネルギー政策担当課長、環境・エネルギー課省エネ・新エネ促進室長、雇用労政課就業担当課長及び働き方改革推進室長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、経済部所管に関する質疑を終結。

## 予算特別委員会

○3月22日（火） 開議 午後1時26分  
閉会 午後5時57分  
第1委員会室  
委員長 笠井 龍司（自民）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 各分科会において保留された事項について、**知事に対する総括質疑**に入り、**三好 雅委員（自民）**から、
  - 1 まん延防止等重点措置の対応等について
    - ・感染防止対策と経済回復の両立を目指す今後の対応
  - 2 新型コロナウイルス感染症対策について
    - ・ワクチン追加接種の加速化や小児への接種に関する情報発信、高齢者施設や保育所等への対策、医療提供体制の拡充にも取り組むべきとの考えに対する見解
  - 3 「観光立国北海道の再構築」に向けた施策展開について
    - ・都道府県独自の観光需要拡大策の継続や地域ブロックへの拡大実施を認める国の方針を踏まえ、引き続きどうみん割事業を実施すべきとの考えに対する今後の対応
  - 4 食産業の振興について
    - ・食産業に対する現状認識
    - ・道産食品の販路拡大に向けた今後の取組
  - 5 地球温暖化対策推進計画の改定について
    - ・好循環につながる脱炭素化の取組への積極的な支援が必要との考えに対する見解
  - 6 北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画の見直しについて
    - ・最近の状況を踏まえた省エネルギーや新エネ

ルギー導入の必要性に対する考え

- ・ウクライナ情勢に端を発したエネルギー価格や需要への大きな影響を踏まえ、本道におけるエネルギー供給の強靱性を高めることが重要との認識を現在策定中の計画に反映させ、計画を強力に推進する必要があるとの考えに対する見解
  - ・最近のエネルギー供給に関する状況の変化の受け止め及びエネルギーの安定供給確保への今後の取組
- 7 水田活用の直接支払交付金の見直しについて
- ・将来に向けた展望を持って農業経営ができるよう必要な支援を国に求めていくべきとの考えに対する見解
- 8 2030年冬季オリンピック・パラリンピックの招致について
- ・札幌市による意向調査の速報結果の受け止め及び招致に向けた今後の取組
- 9 交通対策について
- ・大雪による大規模輸送障害の検証に関する中間報告内容の受け止め及び今後の対応
- 10 指定管理者制度について
- ・指定管理者選定手続に関する不正事件の再発防止策の検討とその結果を踏まえた制度運用の開始時期
- 11 知事公邸等の在り方検討について
- ・知事公邸等の在り方検討の今後の進め方及び居住区域の活用方法に対する見解
- 12 職員表彰制度等について
- ・新しい課題に挑戦する職員の必要性和現在の表彰制度等に対する認識及び今後の対応
- 13 道のデジタル化取組方針について
- ・道庁のデジタル化への思いと取組
- 14 官民連携の推進について
- ・来年度に向けての官民連携の取組の進め方
  - ・新たな連携の取組の創出への所見
- 15 道内産業の振興について
- ・新型コロナウイルス感染症の影響やロシアによるウクライナ侵攻を契機とした国際情勢の変化により激動する経済状況の中での道内産業の振興に対する考え
- 16 ウクライナ情勢による影響について
- ・漁業関係者の操業確保に向けた今後の対応
- 17 国際情勢について
- ・ロシアの新たな方針発表の受け止め及び今後

の対応

- ・ウクライナからの避難民に対する具体的な支援内容
- ・支援の充実に向けた今後の取組

等について

**中川 浩利委員（民主）** から、

- 1 道政運営について
  - ・道政運営の評価
  - ・任期の残り1年の取組
- 2 地域創生について
  - ・重点施策であるデジタル化や脱炭素化は地域づくり総合交付金とは別枠で予算措置して取り組むべきとの考えに対する所見
  - ・昨年度と同額の予算計上となっている交付金について、創設目的に沿った特色ある地域づくり支援や地域活性化に向け、さらなる増額が必要との考えに対する所見
  - ・地域支援の来年度の取組
- 3 北海道 Society 5.0について
  - ・推進する担当部署がそれぞれの取組に対し、課題の把握や改善を促す体制づくりが必要との考えに対する所見
- 4 新型コロナウイルス感染症対策等について
  - ・まん延防止等重点措置終了の判断理由及び今後の適用基準
  - ・道民の理解、協力を得られるための説明責任
  - ・第三者認証の取得促進の取組に係る所見
- 5 観光施策について
  - ・地域ブロックへの拡大など「どうみん割」の4月29日以降の対策への見解
  - ・冬季観光について、雪害が起きた場合に早期復旧できる体制構築への取組
  - ・冬の観光地としても選ばれる北海道となるよう道内外や世界にPRしていく必要があるとの考えに対する所見
- 6 物価高騰について
  - ・物価安定や引下げ策への取組
  - ・輸入食品高騰についても、企業や消費者に対する負担軽減策が必要との考えに対する所見
  - ・燃油高騰に対するトリガー条項発動への認識
  - ・道民生活への影響を最小限に抑えるよう早期に燃油価格の高騰への対処に取り組むべきとの考えに対する所見
- 7 総合交通政策について
  - ・各線区を有効活用する可能性について徹底的

な検証を行った上で検討協議を進めるべきとの考えに対する所見

- 8 農畜産物の安定生産について
  - ・食料自給率の向上への今後の取組に係る所見
- 9 今後のロシアとの漁業交渉等について
  - ・日ロ漁業交渉の認識及び今後の取組
  - ・国からの支援を積極的に要請すべきとの考えに対する所見
- 10 北海道人権施策推進基本方針の反映について
  - ・計画の改定が先のため計画へ反映させられない人権問題については、その間の支援策に取り組むべきとの考えに対する所見
- 11 ゼロカーボン北海道の実現について
  - ・削減目標の実現に向けて重点的に取り組む施策及びその理由
- 12 札幌冬季オリンピック・パラリンピック招致の取組について
  - ・札幌オリパラ開催の意義
  - ・札幌市が行ったアンケート結果への受け止め
  - ・令和4年度における招致に向けた機運醸成の取組
  - ・財政負担に関して積極的に必要な情報を道民に示すべきとの考えに対する所見
- 13 指定管理者制度について
  - ・不正行為の全貌解明及び道民の信頼回復に向けた所見

等について

**赤根 広介委員（結志）** から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・ポストコロナへ向かうために必要な医療提供体制に対する見解
  - ・これまで得た知見や本道の特性を踏まえたレベル運用及びまん延防止等重点措置の対策の在り方に対する見解
  - ・これまでの第6波の感染状況と病床使用率の相関性などを分析し、国の方針が示されるまでの間、暫定的でも道独自のまん延防止等重点措置の在り方を対策として検討していくべきとの考えに対する見解
  - ・第三者認証制度の普及目標を設定して取り組むべきとの考えに対する見解
  - ・科学的データに基づく地域事情にあった感染症対策を講じる必要があるとの考えに対する見解
- 2 ゼロカーボン北海道について

・予算の在り方の認識及びゼロカーボン北海道に向けた取組の強化

- ・ゼロカーボン北海道の実現に向けて政策的に推進する必要があるとの考えに対する見解
- 3 エネルギー政策について
  - ・有識者会議を省エネ・新エネ促進条例に位置づけ常設の諮問機関とすべきとの考えに対する見解
  - ・新エネ導入加速化基金を活用した事業の今後の展開方針
- 4 スマート水産業について
  - ・本道水産業の持続的な発展に向けた取組への決意
- 5 食の輸出拡大戦略について
  - ・道産食品の輸出への影響とその対策について、取組の必要性は認めるものの、目先の円安や原油高などの情勢変化に対応できていないことに対する所見
- 6 観光振興について
  - ・北海道らしいIRのコンセプトが示されない理由
  - ・どうみん割の今後の取組
  - ・感染が再拡大した場合の需要喚起策の取扱い
- 7 次世代データセンターについて
  - ・全国との電気料金の格差を埋める新たな補助制度検討に対する見解
- 8 防災減災対策について
  - ・本道の防災減災対策への今後の取組
- 9 指定管理者制度について
  - ・原因究明及び再発防止策
  - ・指定管理者制度の見直しに対する所見

等について

**安藤 邦夫委員（公明）** から、

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ・自宅療養をする重症化リスクの高い高齢者等の対策への取組
  - ・ワクチンの追加接種の促進に向けた取組
- 2 ゼロカーボン北海道について
  - ・ゼロカーボン北海道の実現には道庁各部が連携した総合的な取組が不可欠との考えに対する所見
  - ・ゼロカーボン北海道の実現に向けた具体的な支援策
- 3 遠隔医療の促進について
  - ・ICTを活用した遠隔医療の今後の取組

- 4 デジタル需要の獲得について
  - ・道内 I T 企業の成長に向けた今後の取組
- 5 2030北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会について
  - ・札幌市による意向調査の速報結果の受け止め
  - ・招致に向けた今後の取組

等について

**宮川 潤委員（共産）** から、

- 1 指定管理者制度について
  - ・制度見直しを行ってもなお不祥事発生を防げなかったことの受け止め
  - ・組織的不正が行われたことは重大だと強く受け止めるべきとの考えに対する見解
  - ・再発防止の検討課題として、天下り事業者が選定された経緯をはじめ、天下りの席がある事業者で指定管理者が固定される癒着の構造の検証を行う必要があるという視点も加わるのかに対する所見
  - ・選定委員の自浄作用が発揮されなかったことに対する受け止め
  - ・選定委員の人選に関する在り方の見直しの必要性に対する見解
  - ・制度そのものの検証の必要性
  - ・利害関係が疑われる選定委員の選任の在り方、選定委員に宣誓させる等の透明性の確保など、早期是正に向けた検討を行うべきとの考えに対する所見
- 2 保健所について
  - ・検証報告書で保健所の組織や人員体制の強化を欠落させたことへの評価
  - ・検証報告書に保健所の組織や人員体制の強化を盛り込まなかった理由
  - ・「発生前の体制強化」と「社会情勢に合わせた見直し」の内容
  - ・保健所体制の強化、保健師増員に転じるべきとの考えに対する見解
  - ・社会情勢に合わせた結果が保健所体制の弱体化になったとの考えに対する所見
  - ・今後は発生前の段階から体制強化を図るべきとの考えに対する所見
- 3 地域医療について
  - ・病床機能再編支援事業において、稼働率の高い病床を削減するほど給付金が上がる仕組みは、住民の医療を守ることと矛盾するという考えに対する所見

- ・地域に不可欠な病院の病床削減はすべきではないという考えに対する所見
- ・国から一方的に統廃合の対象と名指しされた公立・公的病院は、各圏域の中核として地域医療を支えているとの考えに対する評価
- ・国からの一方的な病院の統廃合は容認できない考えに対する見解

等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があつて、総括質疑を終結。

- ③ 付託議案に対する意見調整は、理事会で行うことに決定。
- ④ 理事会において付託議案に対する意見調整の結果、議案第1号、第3号、第6号、第7号、第11号、第12号、第14号、第17号、第22号及び第90号は意見の一致をみるに至らなかった旨の報告の後、沖田清志委員（民主）外2名から議案第1号については撤回し、組替えの上再提出を求める動議が提出され、討論に入り、宮川潤委員（共産）から討論の後、動議の採決に入り、起立採決の結果、起立少数をもって動議を否決することに決定。  
次に、議案第1号を問題とし、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することに決定。  
次に、議案第3号、第6号、第7号、第11号、第12号、第14号、第17号、第22号及び第90号を問題とし、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することに決定。  
次に、議案第2号、第4号、第5号、第8号ないし第10号、第13号、第15号、第16号及び第18号を問題とし、原案のとおり可決することを諮り、いずれも異議なく決定。
- ⑤ 付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。
- ⑥ 委員長から、付託案件に対する審査の終了に当たり、挨拶があつて閉会。

資 料
-----

### 第 1 回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決年月日	公布年月日	公 布 番 号
北海道安心こども基金条例の一部を改正する条例	R4. 2. 25	R4. 3. 8	北海道条例第 1 号
北海道ケアラー支援条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第 2 号
畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律施行条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第 3 号
北海道職員のサービスの宣誓条例及び北海道公安委員会及び方面公安委員会の委員並びに北海道地方警察職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第 4 号
北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第 5 号
北海道職員等の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第 6 号
北海道恩給条例等の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第 7 号
北海道総合政策部手数料条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第 8 号
住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第 9 号
北海道立自然公園条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第10号
北海道立看護学院条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第11号
北海道後期高齢者医療財政安定化基金条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第12号
北海道国民健康保険財政安定化基金条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第13号
北海道経済部手数料条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第14号
北海道小規模企業振興条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第15号
北海道労働審議会条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第16号
北海道農政部手数料条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第17号
北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第18号
北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第19号

件名	議決年月日	公布年月日	公布番号
都市計画法施行条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第20号
北海道公安委員会手数料条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第21号
北海道高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	R4. 3. 24	R4. 3. 31	北海道条例第22号

北海道議会議員表

令和4年2月

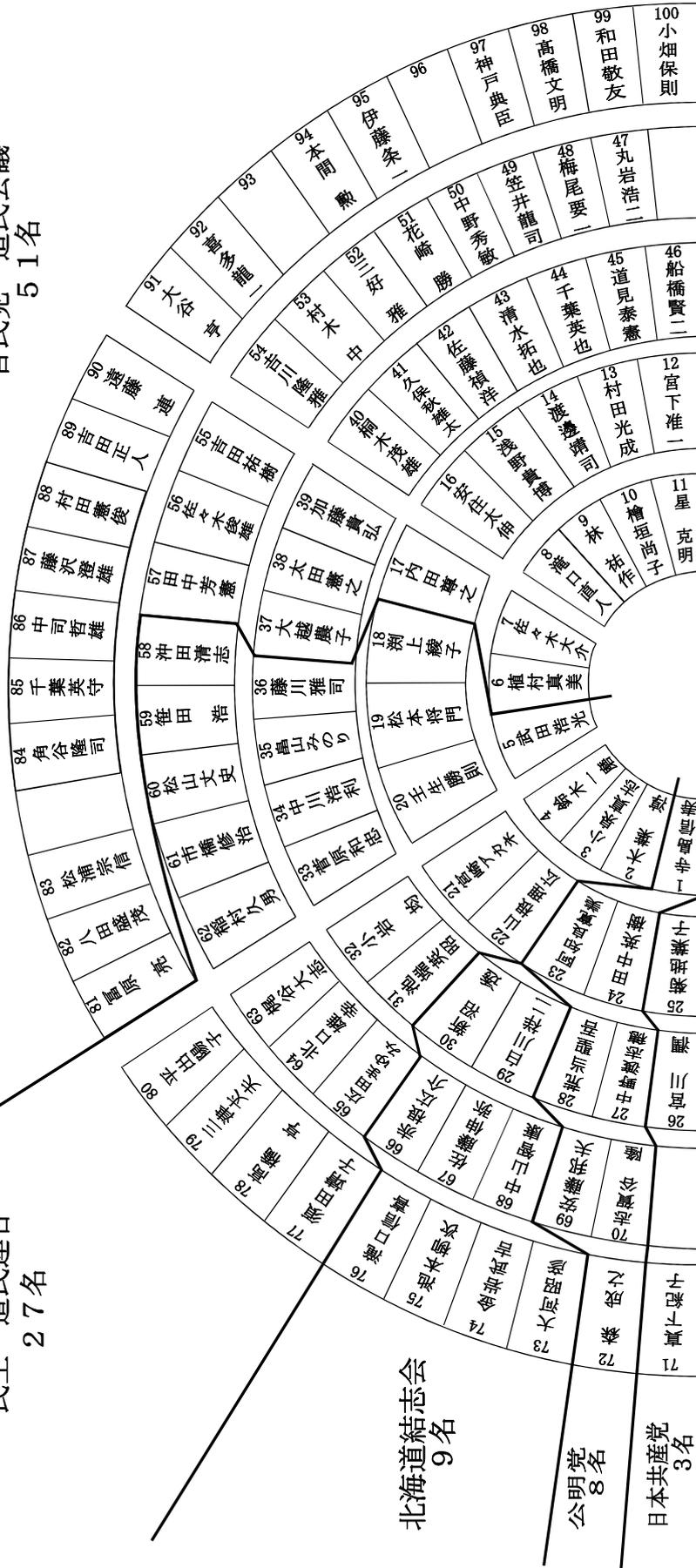
自民党・道民会議  
51名

民主・道民連合  
27名

北海道結志会  
9名

公明党  
8名

日本共産党  
3名



71	藤原 隆	議員
72	藤原 隆	議員
73	藤原 隆	議員
74	藤原 隆	議員
75	藤原 隆	議員
76	藤原 隆	議員
77	藤原 隆	議員
78	藤原 隆	議員
79	藤原 隆	議員
80	藤原 隆	議員
81	藤原 隆	議員
82	藤原 隆	議員
83	藤原 隆	議員
84	藤原 隆	議員
85	藤原 隆	議員
86	藤原 隆	議員
87	藤原 隆	議員
88	藤原 隆	議員
89	藤原 隆	議員
90	藤原 隆	議員
91	藤原 隆	議員
92	藤原 隆	議員
93	藤原 隆	議員
94	藤原 隆	議員
95	藤原 隆	議員
96	藤原 隆	議員
97	藤原 隆	議員
98	藤原 隆	議員
99	藤原 隆	議員
100	藤原 隆	議員

演壇

議長 事務局長 事務局職員

議を続けているが緊張は続いており、米英の警戒感は強まっている。

## 1月の出来事

- 3日 ○道内は、強い冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に各地で暴風雪となった。JRは札幌―旭川間の特急を含め計127本を運休し、計約1万8千人に影響が出た。札幌と道北を結ぶ都市間高速バスの運休も相次ぎ、年始にUターンする帰省客の足が混乱した。
- 8日 ○札幌市は、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」に市在住者2人が感染したと発表した。市在住者の同株への感染確認は初めて。
- 13日 ○道議会は、誰でも自由に弾くことができる「ストリートピアノ」を議会庁舎1階に設置した。音楽に触れる機会や親しみのある議会を創出する狙いで、オープニング式典を開いた。ピアノは1991年に製造されたヤマハ製のアップライトピアノで、昨春に道内出身の匿名希望の男性が議会関係者を通じて寄贈を申し出たという。
- 19日 ○札幌市は、住民基本台帳に基づく今年1月1日現在の市内の人口が外国人を含め、前年同期より907人少ない196万668人になったと発表した。政令指定都市に移行した1972年4月以降、1月1日現在の人口が減少に転じるのは初めて。人口増を支えてきた人口流入による「社会増」が減少し、死亡数から出生数を差し引いた「自然減」を補えなくなったのが要因。
- 19日 ○JR北海道は、暴風雪の影響で、11日からの6日間合計で全列車の約3分の1にあたる約2600本が運休し、約45万6千人に影響が出たと明らかにした。荒天による一連の運休本数としては過去10年で最多という。
- 23日 ○米 국무省は、ロシアによるウクライナへの侵攻の懸念が強まっているとして、ウクライナの米大使館の職員家族に退避命令を出した。英国も一部大使館職員を退避させる。米メディアによるとバイデン米大統領は東欧・バルト諸国に数千人規模の米軍派遣も検討。米国はロシアと協
- 27日 ○政府は、新型コロナウイルス対応のまん延防止等重点措置を北海道に適用し、道は全道を対象区域として飲食店への営業時間短縮要請などの対策を始めた。期間は2月20日までの25日間で、感染力の強いオミクロン株による感染第6波の抑止を目指す。道内への重点措置適用は昨年8月以来で4回目。
- 28日 ○有識者でつくる日本ジオパーク委員会は、貴重な地形や地質が残る自然公園「日本ジオパーク」として、「十勝岳」（上川管内上富良野町、美瑛町）を認定した。道内でジオパークに認定されるのは6地域目。4年ごとに実施する再認定審査は、道内では「三笠」（三笠市）と「とちかち鹿追」（十勝管内鹿追町）が対象となり、ともに再認定が決まった。
- 28日 ○JR北海道が廃止・バス転換を求めてきた根室線富良野―新得間（81.7キロ）の沿線4市町村の首長は、富良野市内で会議を開き、同区間の存続を断念し、バス転換の議論を進めていくことを確認した。来月から各市町村で住民説明会を開き、理解を求めていく。
- 30日 ○北朝鮮は午前7時52分（日本時間同）ごろ、内陸部から日本海に向けて弾道ミサイル1発を発射した。日本政府が発表した。最高高度は約2千キロに達し、約30分間で約800キロ飛行した。通常より高い角度で打ち上げる「ロフテッド軌道」で発射したとみられる。日本全土を射程に収める中距離以上の弾道ミサイルの可能性があり、政府は「烈度の高い弾道ミサイル」と異例の表現で非難、警戒を強化した。北朝鮮のミサイル発射は今年に入り7回目。韓国の文在寅大統領は、北朝鮮が2018年に決定した大陸間弾道ミサイル（ICBM）発射や核実験の中止措置が「破棄目前」だと指摘、ICBMなどの実験再開に危機感を表明した。

## 2月の出来事

- 2日 ○東京都知事を13年半務め、タカ派政治家の代表格として知られた元衆院議員で作家の石原慎太郎さんが1日午前、東京都大田区の自宅で死去した。89歳。神戸市出身。
- 3日 ○2030年度末の北海道新幹線札幌延伸に伴い、JR北海道から経営分離される並行在来線の函館線長万部一小樽間(140.2キロ)の存廃を巡り、道と沿線9市町の協議会会合が、後志管内倶知安町内で開かれ、長万部一余市間の鉄道を廃止・バス転換することを確認した。この日の会合で同管内ニセコ、蘭越、黒松内の3町が正式に全線バス転換支持を表明し、仁木町以南の7町がバス転換で一致した。余市一小樽間については、小樽市が態度を保留。第三セクターによる同区間の鉄道維持を主張する同管内余市町と個別協議を続ける。これにより明治時代に開通し、かつては函館と札幌を結ぶ基幹路線の役割を担った長万部一小樽間(通称・山線)の大部分の廃線が決まり、道内鉄道史の大きな転換点となる。
- 4日 ○第24回冬季オリンピック北京大会は、北京市の国家体育場(通称「鳥の巣」)で開会式が行われ、開幕した。新型コロナウイルスの影響で1年延期された昨夏の東京五輪に続き、感染対策で厳戒態勢が敷かれる中、91カ国・地域から約2900人の選手が参加。米英などは人権問題を理由に政府代表を派遣しない「外交ボイコット」を決定し、混沌とした世界情勢を映し出す形で雪と氷のスポーツの祭典が始まった。
- 8日 ○道内は7日、前日の記録的な大雪により、JR札幌駅発着の特急を含む728本が終日運休となるなど札幌圏を中心に交通機関のダイヤが大幅に乱れた。札幌市内の降雪は収まったが、道路の除排雪が追いつかず、路線バスの運休や渋滞が各地で相次いだ。JR北海道は除雪に時間を要しているとして、8日も札幌駅発着を中心に始発からほぼ終電まで計512本の運休を決めた。
- 17日 ○スピードスケート女子1000メートルで、前回平昌大会銅メダルの高木美帆(日体大職、帯南商高出)が1分13秒19の五輪新記録で滑り、個人種目で自身初めての金メダルを獲得した。今大会では500メートル、1500メートル、団体追い抜き銀メダルに続く4個目で、冬季の日本勢最多を更新した。通算では7個目のメダル。
- 18日 ○政府は、新型コロナウイルス感染症対策本部を持ち回りで開き、まん延防止等重点措置について、北海道など17道府県への適用を3月6日まで延長すると決めた。
- 24日 ○ロシアのプーチン大統領は、テレビ演説を行い、ロシアがウクライナ東部で独立を承認した親ロシア派地域からの要請を受け、ロシア軍が現地で軍事作戦を開始すると表明した。ウクライナ軍との紛争が続く東部の平和維持が目的で、プーチン氏は「ロシアはウクライナの土地を占領するつもりはない」と述べたが、欧米はロシアによるウクライナ領土への事実上の侵攻とみなし、対ロ批判を強めるのは確実だ。
- 24日 ○全道の住民基本台帳ネットワーク(住基ネット)上の人口が1月31日現在、517万8千人となり、前年同期より4万7千人減ることが、道のまとめで分かった。住基ネット上の数値は、毎年夏に総務省が発表する住民基本台帳に基づく人口動態調査の参考値ともいえ、同規模の減少となれば、過去10年で最大の減少幅となる。
- 27日 ○韓国軍合同参謀本部は、北朝鮮が同日午前7時52分ごろ、首都平壤の順安(スナン)付近から東方向の日本海に向けて弾道ミサイルと推定される飛翔体1発を発射したと発表した。北朝鮮のミサイル発射は今年8回目。
- 27日 ○米欧主要国は26日、ウクライナへの侵攻を加速するロシアへの経済制裁として、国際決済ネットワーク「国際銀行間通信協会(SWIFT)」から特定のロシアの銀行を排除すると発表した。最も厳しい経済制裁の一つで、輸出入に伴う代金の決済が困難になる。岸田文雄首相は27日、「日本も取り組みに加わる」と明らかにした。

### 3月の出来事

- 1日 ○札幌市は、新型コロナウイルスのオミクロン株の派生株でより強い感染力がある「BA・2」に、市内在住の30代女性が感染したことを確認したと発表した。道によると、道内での「BA・2」の感染確認は初めてで、市は市中感染の可能性があるとみている。
- 3日 ○北海道議会は、ロシアによるウクライナ侵攻を非難し、攻撃停止や即時撤退を求める決議を全会一致で可決した。決議では、北方領土問題を抱える地域として経済・人的交流でつながりを深めてきた歴史があるとしつつ、「力による一方的な現状変更は看過できず、これまで積み上げてきた関係を無にしかねない」と批判した。
- 16日 ○午後11時36分ごろ、宮城県登米市や福島県相馬市などで震度6強の地震があった。17日までの共同通信の取材によると、両県で計3人が死亡し、けが人は12県の160人超に上った。ほかに宮城県で死亡した1人について警察などが地震との関連を調べている。気象庁によると震源地は福島県沖で、震源の深さは57キロ。マグニチュード(M)7.4と推定される。
- 17日 ○岸田文雄首相は参院予算委員会で、ロシアが実効支配している北方領土について「法的根拠のない占拠であり、不法占拠されているという立場だ」と明言した。首相は、ロシアのウクライナ侵攻を受け、日ロ関係について「平和条約を締結するべく外交を進めてきたが、従来通りにこうした関係を続けていくことは難しい状況になっている」と説明した。
- 22日 ○政府は、新型コロナウイルス対策で18都道府県に適用していたまん延防止等重点措置を全て解除した。道は独自対策に移行し、全道の飲食店への営業時間短縮要請を終了させる一方、年度末の人流増を見据えて基本的な対策の継続を呼び掛ける。
- 24日 ○北朝鮮は午後2時33分ごろ、首都平壤の順安(スナン)付近から大陸間弾道ミサイル(ICBM)1発を発射した。日本政府によると、ミサイルは71分後の午後3時44分ごろ、北海道渡島半島の西約150キロの日本海にある排他的経済水域(EEZ)内に落下。飛行機や船舶の被害は確認されていない。
- 25日 ○札幌市で2019年7月、安倍晋三首相(当時)の参院選での街頭演説中にヤジを飛ばし、道警の警察官に違法に排除されたとして、男女2人が道に計660万円の損害賠償を求めた訴訟の判決が札幌地裁であった。広瀬孝裁判長は、警察官による排除行為の大半について違法とし、「憲法が保障する『表現の自由』を侵害した」と判断。道に対し、慰謝料などとして計88万円を2人に支払うよう命じた。
- 27日 ○2030年度末の北海道新幹線札幌延伸に伴いJR北海道から経営分離される並行在来線函館線長万部一小樽間(140.2キロ)の沿線9市町と道は後志管内倶知安町で会合を開き、同区間の鉄路廃止と全線バス転換を正式決定した。1904年(明治37年)に全面開通した路線は1世紀余りで役割を終える。今後はバス転換の時期や経路が焦点となる。
- 27日 ○旭川市内の公園で昨年3月、中学2年の広瀬爽彩さん=当時(14)=が凍死して見つかった問題で、いじめの有無を調査していた旭川市教委の第三者委員会は6項目についてあったことを認め、遺族側に伝えた。一連の問題を巡り、第三者委がいじめを認定するのは初めて。
- 30日 ○札幌市議会は、市が招致活動を進める2030年冬季五輪・パラリンピックについて、「札幌市が未来に向けてさらなる飛躍をするための絶好の機会」などとして、招致の実現を目指す決議案を自民党、民主市民連合、公明党の賛成多数で可決した。
- 31日 ○札幌市西区山の手の三角山で、ヒグマの生態調査をしていた札幌市の男性2人がクマに襲われ、それぞれ頭と腕に重傷を負った。札幌西署などによると、道内で人がクマに襲われたのは今年初めて。

# その先の、道へ。北海道

**北海道議会時報**  
**第74巻第1号**

編集 北海道議会事務局政策調査課  
〒060-0002  
札幌市中央区北2条西6丁目  
TEL 011-204-5691  
E-Mail [gikai.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:gikai.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp)  
発行 令和4年（2022年）7月8日